

# 津市サンデルタ香良洲外装改修工事

## 図面リスト

建築工事				電気設備工事		機械設備工事	
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-01	表紙・図面リスト	A-17	改修・屋根、外壁改修箇所 詳細図	E-01	電気設備工事特記仕様書1	M-01	機械設備 特記仕様書 1
A-02	改修特記仕様書-(1)	A-18	改修・キープラン(1階)	E-02	電気設備工事特記仕様書2	M-02	機械設備 特記仕様書 2
A-03	改修特記仕様書-(2)	A-19	改修・キープラン(2階)	E-03	電気設備工事特記仕様書3	M-03	機械設備 1階平面図・平面詳細図
A-04	改修特記仕様書-(3)	A-20	改修・建具表-(1)	E-04	1階 電気設備図		
A-05	改修特記仕様書-(4)	A-21	改修・建具表-(2)	E-05	2階 電気設備図		
A-06	改修特記仕様書-(5)	A-22	改修・建具表-(3)				
A-07	附近見取図・仕上表・配置図兼仮設計画図	A-23	改修・建具表-(4)				
A-08	改修・1階平面図	A-24	改修・建具表-(5)				
A-09	改修・2階平面図	A-25	改修・建具表-(6)				
A-10	改修・既設立面図(1)	A-26	改修・1階・2階天井伏図				
A-11	改修・既設立面図(2)	A-27	改修・既設 自転車置場・既設ゲート				
A-12	改修・既設風除室 詳細図						
A-13	改修・キャノピーA・B平面図、立面図						
A-14	改修・図書館 矩計図						
A-15	改修・多目的ホール 矩計図						
A-16	改修・屋根A～C矩計図・各部詳細図						

特記事項	工事名称 津市サンデルタ香良洲外装改修工事	図面名称 表紙・図面リスト	原図：A 2	一級建築士事務所 大森建築設計事務所	図面番号 A-01
			縮尺	事務所登録 三重県知事 第1-259号 管理建築士 大森幸路 一級建築士 大臣登録 143376号	



防水改修工事

Table with 4 main sections: 1 アスファルト防水, 2 改質アスファルトシート防水, 3 合成高分子系ルーフィングシート防水, 4 塗膜防水. Each section contains detailed specifications for materials, methods, and construction details.

Table with 2 main sections: 5 既存防水層表面の仕上塗装の除去, 6 シーリング. It details the removal of existing coatings and the application of sealants, including material types and application methods.

Table with 3 main sections: ③ 改修工法等, ④ 外壁改修工事, and a detailed table for tile repair methods. It covers various repair techniques for tiles and exterior walls, including resin injection and grout replacement.

4 塗り仕上げ (4.2.2)(j) (表4.2.4(その1) (その2))	種 類	呼び名	仕上げ形状	工法																																
	薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材E	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状	吹付け																																
			・ 平坦ん状 ・ 凹凸状	こて																																
	厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材C	・ ゆず肌状 ・ 平坦ん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起し ・ 掻き落し	吹付け																																
・ 吹放し ・ 凸部処理			こて																																	
複層仕上塗材	・ 外装厚塗材Si ・ 外装厚塗材E	・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平坦ん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起し	吹付け																																	
		・ 吹放し ・ 凸部処理	こて																																	
塗膜防水仕上塗材	・ 複層塗材E ・ 複層塗材RE ・ 防水形複層塗材E ・ 防水形複層塗材RE	・ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸模様	ローラー 吹付け																																	
		・ 環境対応水系 アクリルゴム系外壁用塗膜防水 ・ 超速硬化ウレタン塗膜防水	ローラー塗り工法 (JISA6021)																																	
(4.6.6) (表4.6.7) (表4.2.5)	・ 外装厚塗材Cの上塗材がセメントスタッコ以外の場合 材所要量 ( kg/m <sup>2</sup> )  ・ マスチック塗材塗り ・ A種 ・ B種 仕上材塗り ( )  <b>複層仕上塗材の上塗材の種類</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>樹脂種類</th> <th>溶媒種類</th> <th>外 観</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ アクリル系</td> <td>・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック ・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ シリカ系</td> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ ポリウレタン系</td> <td>・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック ・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ アクリルシリコン系</td> <td>・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック ・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ ふっ素系</td> <td>・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック ・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> </tbody> </table> (注) 艶無及びメタリックは、可とう形複層塗材、防水形複層塗材、及び可とう形改修塗材には適用しない。  (4.6.3) 既存塗膜等の除去及び下地処理 <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>処理範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ サンダー工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 高圧水洗工法</td> <td>屋根、外壁、軒裏</td> </tr> <tr> <td>・ 塗膜はく離剤工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 水洗い工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ デッキブラシ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 高圧ポンプ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> (4.6.4) 下地調整 <input checked="" type="radio"/> C-1 ・ <input type="radio"/> C-2 ・ <input type="radio"/> CM-2 ・ E ・ ( )				樹脂種類	溶媒種類	外 観	・ アクリル系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック ・ 艶有 ・ 艶無	・ シリカ系	・ 水系	・ 艶無	・ ポリウレタン系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック ・ 艶有 ・ 艶無	・ アクリルシリコン系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック ・ 艶有 ・ 艶無	・ ふっ素系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック ・ 艶有 ・ 艶無	工法	処理範囲	・ サンダー工法		・ 高圧水洗工法	屋根、外壁、軒裏	・ 塗膜はく離剤工法		・ 水洗い工法		・ デッキブラシ		・ 高圧ポンプ	
樹脂種類	溶媒種類	外 観																																		
・ アクリル系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック ・ 艶有 ・ 艶無																																		
・ シリカ系	・ 水系	・ 艶無																																		
・ ポリウレタン系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック ・ 艶有 ・ 艶無																																		
・ アクリルシリコン系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック ・ 艶有 ・ 艶無																																		
・ ふっ素系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック ・ 艶有 ・ 艶無																																		
工法	処理範囲																																			
・ サンダー工法																																				
・ 高圧水洗工法	屋根、外壁、軒裏																																			
・ 塗膜はく離剤工法																																				
・ 水洗い工法																																				
・ デッキブラシ																																				
・ 高圧ポンプ																																				

7 網戸 (5.2.3)(e)	・ 可動式 ・ 固定式 防虫網の材質 ・ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製 網目 ・ 16メッシュ ・ 18メッシュ	
	8 樹脂製建具 (5.3.2)~(5.3.5) (表5.3.1)~ (表5.3.3)	性能等級等 ・ A種 ・ B種 ・ C種  ・ 防音ドアセット、防音サッシ(等級 ) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ(等級 ) ガラス ・ 複層ガラス ・ ( ) 建具枠見込寸法 ・ 図示(図面番号: ) 水切り ・ 図示(図面番号: ) ぜん板 ・ 図示(図面番号: ) 丁番 ・ 改修標準仕様書(表5.7.3)による ・ 図示(図面番号: )
	9 鋼製建具 (5.4.2) (5.4.3) (5.4.4)	鋼製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 外部に面する建具の耐風圧 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 防音ドアセット、防音サッシ(等級 ) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ(等級 ) ・ 耐震ドアセット(等級 ) ・ めっき付着量 JIS G 3302 ・ Z12 ・ F12 ・ ( ) JIS G 3317 ・ Y08 ・ ( ) ・ H>2400又はW<950の建具 鋼板類の厚さ ・ 図示(図面番号: )
	10 鋼製軽量建具 (5.5.2) (5.5.3) (5.5.4) (5.7.3)(a) (5.2.3)(a)	鋼製軽量建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 防音ドアセット、防音サッシ(等級 ) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ(等級 ) ・ 耐震ドアセット(等級 ) ・ H>2400又はW<950の建具 鋼板類の厚さ ・ 図示(図面番号: )  表面仕上げ ・ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板( ・ HL ・ 鏡面)
	11 ステンレス製建具 (5.6.2) (5.4.2) (5.6.3) (5.6.4) (5.6.5)	ステンレス製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 外部に面する建具の耐風圧 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 防音ドアセット、防音サッシ(等級 ) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ(等級 ) ・ 耐震ドアセット(等級 )  材料 ・ SUS304 ・ ( )  表面仕上げ ・ HL仕上げ ・ ( ) 曲げ加工 ・ 普通曲げ ・ 角出し曲げ
	12 建具用金物 (5.7.2) (5.7.4)	金物の見え掛り部等の材質等 ・ 改修標準仕様書(表5.7.1)による ・ 図示  マスターキー ・ 製作する ・ 製作しない 引渡用鍵箱 ・ 必要 ・ 不要
	13 自動ドア開閉装置 (5.8.2) (5.8.3) (表5.8.3) (5.8.3)(f)	開閉装置の性能値 ・ 図示(図面番号: )  センサの種類 ・ 図示(図面番号: )  凍結防止措置 ・ あり ・ なし
	14 自閉式上吊り引戸装置 (5.9.3)	自閉式上吊り引戸装置の性能値 ・ 改修標準仕様書(表5.9.1)による ・ ( )
	15 重量シャッター (5.10.2) (5.10.2)(c) (表5.10.1) (5.10.2)(f) (5.10.3)	種類 ・ 一般重量シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター 耐風圧強度 ( Pa以上)  開閉機能 ・ 上部電動式(手動併用) ・ 上部手動式  一般重量シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない ・ めっき付着量 ・ Z12 ・ F12 ・ ( )
	16 軽量シャッター (5.11.2) (表5.11.1)	開閉形式 ・ 上部電動式(手動併用) ・ 手動式  耐風圧強度 ( Pa以上)  スラットの材質及び形状 ・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形 ・ めっき付着量 JIS G 3312 ・ Z06 ・ F06 ・ ( ) JIS G 3322 ・ A290 ・ ( )

6 内装改修工事	17 オーバーヘッドドア (5.12.2)	型式及び機構 セクション材料 ・ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラストタイプ  耐風圧強度 ( Pa以上)  開閉方式 ・ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式  収納形式 ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形  ガイドレール ・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板  ・ 図示(図面番号: )																																														
	18 板ガラス (5.13.2)(a) (5.13.4)	・ 図示(図面番号: )																																														
	19 ガラス留め材 (5.13.2)(b)	・ シーリング ・ ガasket ( )																																														
	20 ガラス溝の寸法、形状等 (5.13.3)	・ 図示(図面番号: ) ・ 改修標準仕様書(表5.13.1)による																																														
	21 ガラスブロック積み (5.13.5)	ガラスブロック 表面形状、寸法、厚さ ・ 図示(図面番号: ) 金属枠、補強材 ・ 図示(図面番号: )  化粧カバー ・ 図示(図面番号: ) 工法 ・ 図示(図面番号: ) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施行計画書として提出する。																																														
	1 一般事項 (6.1.3)(b)	既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲 <table border="1"> <thead> <tr> <th>改修部分</th> <th>改修範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 天井</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ 壁</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ 床</td> <td>・ 図示</td> </tr> </tbody> </table>	改修部分	改修範囲	・ 天井	・ 図示	・ 壁	・ 図示	・ 床	・ 図示																																						
	改修部分	改修範囲																																														
	・ 天井	・ 図示																																														
	・ 壁	・ 図示																																														
	・ 床	・ 図示																																														
	(6.1.3)(c)	天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲 ・ 図示																																														
	(6.1.3)(f)	天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修 ・ 図示																																														
2 既存床撤去、下地補修 (6.2.2)(a)(1) (6.2.2)(a)(2) (6.2.2)(c)	既存床仕上げ材の除去等 浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去 ・ 行う ・ 行わない  合成樹脂塗り床材の除去等 ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法  改修後の床の清掃範囲 ・ 施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲 ・ ( )																																															
3 既存壁撤去、下地補修 (6.3.2)	既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法 ・ ( )																																															
4 木下地等 (6.5.1)(c) (表6.5.1) (6.5.2)(a)(1) (表6.5.2) (6.5.2)(b)(1) (6.5.2)(b)(2) (iv) (表6.5.3) (6.5.2)(b)(2)(iv) (6.5.2)(c)(i) (6.5.2)(b)(iv)	表面仕上げ ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種  木材の含水率(工事現場搬入時、質量比) <table border="1"> <thead> <tr> <th>部材名称</th> <th>種 別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下地材</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> </tbody> </table> 製材 「製材の日本農林規格」による製材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>樹種・寸法・形状</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下地用針葉樹製材</td> <td>・ 図示(図面番号: )</td> <td>・ ( )</td> <td>・ ( )</td> </tr> <tr> <td>造作用針葉樹製材</td> <td>・ 図示(図面番号: )</td> <td>・ ( )</td> <td>・ ( )</td> </tr> <tr> <td>広葉樹製材</td> <td>・ 図示(図面番号: )</td> <td>・ ( )</td> <td>・ ( )</td> </tr> </tbody> </table> 「製材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、難燃処理及び含水率 ・ 図示(図面番号: ) 造作材の材面の品質 ・ A種 ・ ( ) 樹種 <table border="1"> <thead> <tr> <th>部 位</th> <th>樹 種</th> <th>県 産 材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 代用樹種の使用 ・ 禁止する ・ 禁止しない  造作用集成材 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>部 位</th> <th>樹 種 ・ 寸 法</th> <th>見付け材面の等級</th> <th>厚 さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>造作用集成材</td> <td>・ 図示(図面番号: )</td> <td>・ ( )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化粧ばり造作用集成材</td> <td>・ 図示(図面番号: )</td> <td>・ ( )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化粧ばり構造用造作用集成材</td> <td>・ 図示(図面番号: )</td> <td></td> <td>・ ( )</td> </tr> </tbody> </table>	部材名称	種 別	下地材	・ A種 ・ B種	造作材	・ A種 ・ B種	部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率	下地用針葉樹製材	・ 図示(図面番号: )	・ ( )	・ ( )	造作用針葉樹製材	・ 図示(図面番号: )	・ ( )	・ ( )	広葉樹製材	・ 図示(図面番号: )	・ ( )	・ ( )	部 位	樹 種	県 産 材							部 位	樹 種 ・ 寸 法	見付け材面の等級	厚 さ	造作用集成材	・ 図示(図面番号: )	・ ( )		化粧ばり造作用集成材	・ 図示(図面番号: )	・ ( )		化粧ばり構造用造作用集成材	・ 図示(図面番号: )		・ ( )
部材名称	種 別																																															
下地材	・ A種 ・ B種																																															
造作材	・ A種 ・ B種																																															
部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率																																													
下地用針葉樹製材	・ 図示(図面番号: )	・ ( )	・ ( )																																													
造作用針葉樹製材	・ 図示(図面番号: )	・ ( )	・ ( )																																													
広葉樹製材	・ 図示(図面番号: )	・ ( )	・ ( )																																													
部 位	樹 種	県 産 材																																														
部 位	樹 種 ・ 寸 法	見付け材面の等級	厚 さ																																													
造作用集成材	・ 図示(図面番号: )	・ ( )																																														
化粧ばり造作用集成材	・ 図示(図面番号: )	・ ( )																																														
化粧ばり構造用造作用集成材	・ 図示(図面番号: )		・ ( )																																													

(6.5.2)(c)(ii) 「集材材の日本農林規格」以外の製材  
樹種、寸法、見付け材面の品質 ・ 図示 (図面番号: )  
含水率 ・ 15%以下 ・ ( )

(6.5.2)(d)(i) 造作用単板積層材  
「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材  
部位 厚さ 表面の品質 防虫処理  
造作用単板積層材 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( ) ・ ( )

(6.5.2)(d)(ii) 「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材  
厚さ、表面の品質、防虫処理 ・ 図示 (図面番号: )  
含水率 ・ 14%以下 ・ ( )

(6.5.2)(e) ・ 床張り用合板等  
部材名称 樹種名 接着の程度 等級 板面の品質 防虫処理等 厚さ

(6.5.5)(a) ・ 防腐、防蟻処理  
適用部位 図示 (図面番号: )  
保存処理性能区分 ( )  
薬剤の塗布等の処理方法 ( )  
ボード原料接着剤への防腐・防蟻処理 ( )

(6.5.5)(b) ・ 防虫処理  
・ 図示 (図面番号: )

5 軽量鉄骨天井下地  
(6.6.2) (表6.6.1) (6.6.3) 形式及び寸法  
・ 屋外 ・ 図示 (図面番号: )  
・ 耐震天井 ・ 図示 (図面番号: )  
・ ふところ $\geq 1.5m$  ・ 改修標準仕様書(6.6.4)(h) ・ 図示 (図面番号: )  
・ ふところ $> 3m$  ・ 図示 (図面番号: )

(6.6.4) 既存埋込みインサート  
・ 使用する ・ 使用しない  
既存埋込みインサート、あと施工アンカーの引き抜き試験  
・ 行う (図面番号: ) ・ 行わない  
耐震天井  
・ 図示 (図面番号: )

6 軽量鉄骨壁下地  
(6.7.3) (6.6.4)(a)(1) スタッド、ランナー等の種類  
・ 図示 (図面番号: )

7 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り  
(6.8.2) (6.8.2)(a) (6.8.2)(b) 材料  
・ ビニル床シート【JIS A 5705 (ビニル系床材)】  
種類の記号 色柄 厚さ 備考  
FS マーブル 2.5mm 多湿部

(6.8.2)(c)(1) ・ 帯電防止床シート又は床タイル  
種類 性能 厚さ 備考

(6.8.2)(c)(2) ・ 視覚障害者用床タイル  
種類 形状 備考

(6.8.2)(c)(3) ・ 耐動荷重性床シート  
種類 性能 厚さ 備考

(6.8.2)(c)(4) ・ 防滑性床シート又は床タイル  
種類 性能 厚さ 備考

(6.8.2)(e) ・ ゴム床タイル  
種類 厚さ 備考

(6.8.3)(a) 工法  
下地 ・ モルタル下地 ・ 木下地 ・ その他 ( )

(6.8.3)(b) ビニル床シート張り  
熱溶接工法 ・ 適用する ・ 適用しない

8 カーペット敷き  
(6.9.3)(a) (表6.9.1) ・ 織じゅうたん  
種類 バイルの形状 帯電性 品質の程度  
・ A種 ・ カットバイル ・ 人体帯電圧  
・ B種 ・ ループバイル ・ 3KV以下  
・ C種 ・ カット、ループ併用 ・ ( )

(6.9.3)(b) (表6.9.2) ・ タフテッドカーペット  
バイルの形状 バイル長(mm) 帯電性 工法 品質の程度  
・ カットバイル ・ 人体帯電圧 全面接着工法  
・ ループバイル ・ 3KV以下 ・ グリッパー工法  
・ カット、ループ併用 ・ ( )

(6.9.3)(c) ・ ニードルパンチカーペット  
厚さ(mm) 帯電性 備考  
・ 人体帯電圧 3KV以下  
・ ( )

(6.9.3)(d) (表6.9.2) ・ タイルカーペット  
種類 バイルの形状 寸法(mm) 総厚さ(mm) 品質の程度  
・ 第一種 ・ カットバイル ・ 500×500 ・ 6.5  
・ ( ) ・ ( ) ・ ( )

(6.9.3)(e) (6.9.3)(f) (6.9.4)(e) 敷き方  
平場 ・ 市松敷き ・ 模様流し ・ ( )  
階段部分 ・ 市松敷き ・ 模様流し ・ ( )

9 合成樹脂塗床  
(6.10.3)(b)(1) (表6.10.4) (6.10.3)(b)(2) (表6.10.4)~ (表6.10.8) 弾性ウレタン塗床の仕上げ種類、工程  
・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ  
エポキシ樹脂塗床の仕上げ種類  
・ 薄膜流し展べ仕上げ (平滑・防滑) ・ 厚膜流し展べ仕上げ (平滑・防滑)  
・ 樹脂モルタル仕上げ (平滑・防滑) ・ 薄膜型塗床仕上げ (平滑)

10 フローリング張り  
(6.11.6) (表6.11.6) (6.11.4) (表6.11.2) (6.11.5) (6.11.6) (表6.11.3) (表6.11.5) (表6.11.6) (6.11.7)(2) 11 畳敷き (6.12.2) (表6.12.1) 12 セッコウボード、その他ボード及び合板張り (6.13.2) (表6.13.1) (6.13.2)(h) (6.13.3)(e)(3) (6.13.3)(g)(1) (表6.13.5) ・ モルタル埋込み工法  
フローリングブロック(単位:mm)  
樹種 厚さ 寸法 備考  
・ なら ・ 15 ・ 303×303 ・ 辺材部分には、防虫処理を行う  
・ ( ) ・ ( ) ・ ( ) ・ ( )

・ 釘留め工法  
材料 種類 樹種  
・ フローリングボード(根太張用) ・ なら  
・ 複合フローリング(根太張用) ・ A種 ・ B種 ・ C種  
防湿処理 ・ 図示 (図面番号: )

・ 接着工法  
材料 種類 樹種 厚さ 大きさ  
・ フローリングボード(直張用)  
・ フローリングブロック(直張用)  
・ 複合1種フローリング(直張用) ・ A種 ・ なら  
・ 複合2種フローリング(直張用) ・ B種 ・ ( )  
・ 複合3種フローリング(直張用) ・ C種  
・ モザイクパーケット(直張用) ・ ( ) ・ ( ) ・ ( )  
緩衝材 ・ 合成樹脂発泡シート ・ 図示 (図面番号: )

塗装  
・ ウレタン樹脂ワニス塗り (1液形、B種)  
・ オイルステイン塗りのうえワックス塗り  
・ 生地そのままワックス塗り  
・ ( )

種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種

材種 種類 厚さ(mm)  
・ セッコウボード 壁 ・ 9.5(準不燃)  
天井 ・ 12.5(不燃)  
・ 化粧セッコウボード ・ トラバーチン模様 ・ 9.5(準不燃)  
・ 木目模様 ・ 9.5(準不燃)  
・ ロックウール化粧吸音板 ・ 普通 ・ 9  
・ けい酸カルシウム板 ・ タイプII 0.8FK ・ 6

遮音シール材  
・ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド

合板類の張付け  
・ A種 ・ B種

セッコウボードの目地工法  
・ 縦目処理 ・ 突付け ・ 目透し

13 壁紙張り (6.14.2) 施工箇所 品質 防火性能  
保健福祉センター、図書館 中級品 ・ 不燃 ・ 準不燃  
・ 不燃 ・ 準不燃  
・ 不燃 ・ 準不燃

14 モルタル塗り (6.15.3) (6.15.6) (6.11.6) 既製目地材 ・ 使用する (形状: )  
床の目地 ・ 図示 (図面番号: )  
緩衝材 ・ 図示 (図面番号: )

15 タイル張り (6.16.2) (6.16.3) 伸縮調整目地  
位置 ・ 図示  
タイルの種類  
施工箇所 形状寸法 工法 用途による区分 すべり抵抗性 I類(磁器) II類(せつ器) III類(陶器) 役物 標準・特注色 耐凍害性有無

(6.16.3)(b)(1) 試験張り ・ 行う ・ 行わない  
見本焼き ・ 行う ・ 行わない

16 セルフレリಂಗ材塗り (6.17.2) (6.17.3) ・ セッコウ系 ・ セメント系  
塗厚 ( ) mm

17 断熱材 (9.5.2) 断熱材打込み工法  
種類 ・ A種 ・ B種  
種類 種類 厚さ(mm) 施工箇所  
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム  
・ 押出法ポリスチレンフォーム  
・ A種硬質ウレタンフォーム  
・ フェノールフォーム

(9.5.3) 断熱材現場発泡工法(吹付硬質ウレタンフォーム)  
種類 厚さ[mm] 施工箇所  
・ A種1  
・ A種2  
・ A種3  
・ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレンドリ回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所  
・ ( )

7 塗装改修工事  
1 材料 (7.1.3)(b) ・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。  
・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所: )

2 下地調整 (7.2.1~7.2.7) (表7.2.1)~ (表7.2.7) 既存塗膜の除去範囲(塗り替えてR/B種の場合)  
・ 図示  
種類 下地 種類 ひび割れ部の補修  
・ 木部 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種  
・ 鉄鋼面 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種  
・ 垂鉛めつき鋼面 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種  
・ モルタル、プラスター面 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種 ・ 行う  
・ コンクリート、ALCパネル面 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種 ・ 行う  
・ コンクリート、押出成形セメント板面 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種 ・ 行う  
・ セッコウボード、その他ボード面 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種  
・ 素地ごしらえ  
・ A種 ・ B種

3 錆止め塗料塗り (7.3.2) (7.3.3) (表7.3.3)~ (表7.3.4) 錆止め塗料種類  
・ 垂鉛めつき鋼面  
・ A種 ・ B種 ・ C種  
錆止め塗料塗り種類  
鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種  
垂鉛めつき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種

4 合成樹脂調合ベイント塗り(SOP) (7.4.2) (7.4.3~7.4.5) (表7.4.1)~ (表7.4.3) 塗料種類 ・ 1種 ・ ( )  
種類 下地 種類  
・ 木部 ・ A種 ・ B種 ・ C種  
・ 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種  
・ 垂鉛めつき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種

5 クリヤラッカー塗り(DL) (7.5.2) (表7.5.1) 種類  
木部 ・ A種 ・ B種

6 アクリル樹脂系非水分散形塗料(NAD) (7.7.2) (表7.7.1) 種類  
・ A種 ・ B種

7 耐候性塗料塗り(DP) (7.8.2)~ (7.8.4) (表7.8.1)~ (表7.8.3) 上塗り等級  
・ 1級(フッ素系) ・ 2級(シリコン系) ・ 3級(ポリウレタン系)  
下地 種類  
鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種  
垂鉛めつき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種  
コンクリート面及び  
押出成形セメント板面 ・ A-1種 ・ A-2種  
・ B-1種 ・ B-2種  
・ C-1種 ・ C-2種

特記事項	工事名称 津市サンデルタ香良洲外装改修工事	図面名称 改修特記仕様書-(4)	原図: A 2	一級建築士事務所 大森建築設計事務所	図面番号 A-05
			縮尺	三重県津市久居藤ヶ丘町2604-5 管理建築士 大森幸路	事務所登録 三重県知事 第1-259号 一級建築士 大臣登録 143376号

8	つや有合成樹脂 エマルジョンペ イント塗り (EP-G) (7.9.2)~(7.9.5) (表7.9.1)~ (表7.9.4)	種別	種別
		下地	種別
		コンクリート、モルタル、 プaster、せっこうボード、 その他ボード面	・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め ( )
		木部 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種
		鉄鋼面 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種
		亜鉛めっき鋼面 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種
9	合成樹脂エマ ルジョンペイン ト塗り (EP) (7.10.2) (表7.10.1)	種別	種別
		・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め ( )	
10	合成樹脂エマ ルジョン模様塗 料塗り (EP-T) (7.11.2) (表7.11.1)	種別	種別
		・ A種 ・ B種 ・ C種	
11	ウレタン樹脂 ワニス塗り (UC) (7.12.2) (表7.12.1)	種別	種別
		・ A種 ・ B種	
12	ラッカーエナ メル塗り (LE) (7.13.2) (表7.13.1)	種別	種別
		・ A種 ・ B種	
13	木造保護塗料 塗り (WP) (7.15.2) (表7.15.1)	種別	種別
		・ A種 ・ B種	

9 環境配慮改修工事

1 アスベスト含有材の処理工事 (9.1.1)

施工調査

- アスベスト含有建材の事前調査
- 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によりアスベストを含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督職員に報告する。

調査範囲 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )  
貸与資料 ( )

- 分析によるアスベスト含有建材の調査
- 分析対象
- アクリライト、アモサイト、アンソフライト、クリソタイト、クロシドライト、トレモライト
- 分析方法
- JIS A 1481-1 (建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法)による
- JIS A 1481-2 (建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部:試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法)による
- JIS A 1481-3 (建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第3部:アスベスト含有率のX線回折定量分析方法)による

材料名	定性分析	定量分析
	・ 箇所数 ( )	・ 箇所数 ( )
	・ 箇所数 ( )	・ 箇所数 ( )
	・ 箇所数 ( )	・ 箇所数 ( )
	・ 箇所数 ( )	・ 箇所数 ( )

サンプル数 1箇所あたり3サンプル  
採取箇所 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )

- アスベスト粉じん濃度測定
- 測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)
・	測定 1	処理作業前	処理作業室内	計点
・	測定 2		調査対象室外部の付近	計点
・	測定 3	処理作業中	処理作業室内	計点
・	測定 4		負圧・除じん装置の排気吹出し口	出口吹出し風速1m/s以下の位置
・	測定 5		処理作業室外 (敷地境界)	計点
・	測定 6	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	計点
・	測定 7	処理作業後シート撤去後1週間以降	処理作業室内	計点
・	測定 8		調査対象室外部の付近	計点

測定方法

	測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8	測定 5
メンブレンフィルタ直径 (mm)	25	25	47
試料の吸引流量 (L/min)	・ 1 ・ ( )	・ 5 ・ ( )	・ 10 ・ ( )
試料の吸引時間 (min)	・ 5 ・ ( )	・ 120 ・ ( )	・ 240 ・ ( )

(9.1.3) アスベスト含有建材の処理

- アスベスト含有吹き付け材の除去
- 除去対象範囲 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )
- 除去工法 ・ 改修標準仕様書9.1.3(b)(1)による
- 除去したアスベスト含有吹き付け材等の飛散防止
- 密封処理 ・ 湿潤化 ・ セメント固化
- 除去したアスベスト含有吹き付け材等の処分
- 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設)

(9.1.4) アスベスト含有保温材の除去

- 除去対象範囲 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )
- 除去したアスベスト含有保温材の処分
- 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設)

(9.1.5) アスベスト含有成形板の除去

- 除去対象範囲 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )
- アスベスト含有せっこうボードを除くアスベスト含有成形板
- 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設)

2 断熱アスファルト防水改修工事 (9.2.1)~(9.2.3)

改修特記仕様書3章による

3 外断熱改修工事 (9.3.2)

種類	厚さ [mm]
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキンなし)	
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	
・ フェノールフォーム断熱材	
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	
・ 押出法ポリスチレンフォーム保温材 (スキンなし)	・ 保温板 (2種b)
	・ 保温板 (3種b)
・ A種硬質ウレタンフォーム保温材	
・ フェノールフォーム保温材 (3種2号を除く)	
・ ロックウール	
・ グラスウール	

施工箇所

- 図示 (図面番号: ) ・ ( )
- ホルムアルデヒド放散量
- 規制対象外 ( )

外装材

種類	防火性能	備考
・		

(9.3.3) 既存外壁の措置

- 既存外壁仕上げ材の撤去 ・ あり ・ なし
- 下地の清掃 ・ 行う ・ 行わない
- 欠損部の改修工法 ・ 改修標準仕様書(4.1.4)による ・ ( )

(9.3.4) 工法

- 通気層の有無 ・ あり ( mm) ・ なし
- 断熱材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による ( )
- 外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による ( )
- 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
- 適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の ( 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法)
- 適用しない

4 断熱・防露改修工事 (9.5.2)

断熱材のホルムアルデヒド放散量 ・ 規制対象外 ( )

- 断熱材打込み工法

種類	厚さ [mm]
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキンなし)	
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	
・ フェノールフォーム断熱材	
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	
・ 押出法ポリスチレンフォーム保温材 (スキンなし)	・ 保温板 (2種b)
	・ 保温板 (3種b)
・ A種硬質ウレタンフォーム保温材	
・ フェノールフォーム保温材 (3種2号を除く)	

施工箇所 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )

(9.5.3) 断熱材現場発泡工法

- 断熱材の種類 ・ A種1 ・ B種1
- 厚さ (mm) ・ 25 ・ 30 ・ ( )
- 施工箇所 ・ 図示 (図面番号: )

- 現場発泡断熱材 (品質・性能)
- 工事建築材料等品質性能表による (試験方法)
- 工事建築材料等品質性能表による

(9.5.4) 断熱材のホルムアルデヒド放散量 ・ 規制対象外 ( )

- 断熱材後張り工法

種類	せっこうボード等の張り付け	厚さ [mm]
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 有 ・ 無	
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 有 ・ 無	
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・ 有 ・ 無	
・ フェノールフォーム断熱材	・ 有 ・ 無	
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	・ 有 ・ 無	
・ 押出法ポリスチレンフォーム保温材	・ 有 ・ 無	
・ 硬質ウレタンフォーム保温材	・ 有 ・ 無	
・ フェノールフォーム保温材	・ 有 ・ 無	

施工箇所 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )

5 屋上緑化改修工事 (9.6.1)~(9.6.3)

植栽基盤及び材料

屋上緑化軽量システム

- 適用する ・ 適用しない
- 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )
- 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )

工法

- 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
- 適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の ( 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)
- 適用しない

かん水装置

- 設置する (種類 ・ )
- 既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない

6 透水性アスファルト舗装改修工事 (9.7.2)~(9.7.7)~(9.7.9)

既存舗装の撤去及び再利用 ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )

路床

種類	材料	厚さ [mm]
・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土	・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )
・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (7μmふるい通過率10%以下) ・ ( )	・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )
・ フィルター層	・ 砂 ・ ( )	・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )

路床安定処理

- 添加材料による安定処理
- 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ フライアッシュセメントB種
- 生石灰 (・ 特号 ・ 1号) ・ 消石灰 (・ 特号 ・ 1号)
- 添加量 ( kg/m<sup>2</sup>) (目標CBR ・ 5以上 ・ )

- ジオテキスタイル
- 単位面積質量 ・ 60g/m<sup>2</sup>以上 ・ ( )
- 厚さ [mm] ・ 0.5~1.0 ・ ( )
- 引張強さ ・ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 ・ ( )
- 透水係数 ・ 1.5 × 10<sup>-1</sup> -1cm/sec 以上 ・ ( )

試験

- 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・ 行う ・ 行わない
- 路床締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない

路盤

- 路盤の構成及び厚さ ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )
- 路盤材料
- 再生材のクラッシュラン
- クラッシュラン鉄鋼スラグ
- 図示 (図面番号: )
- ( )

試験

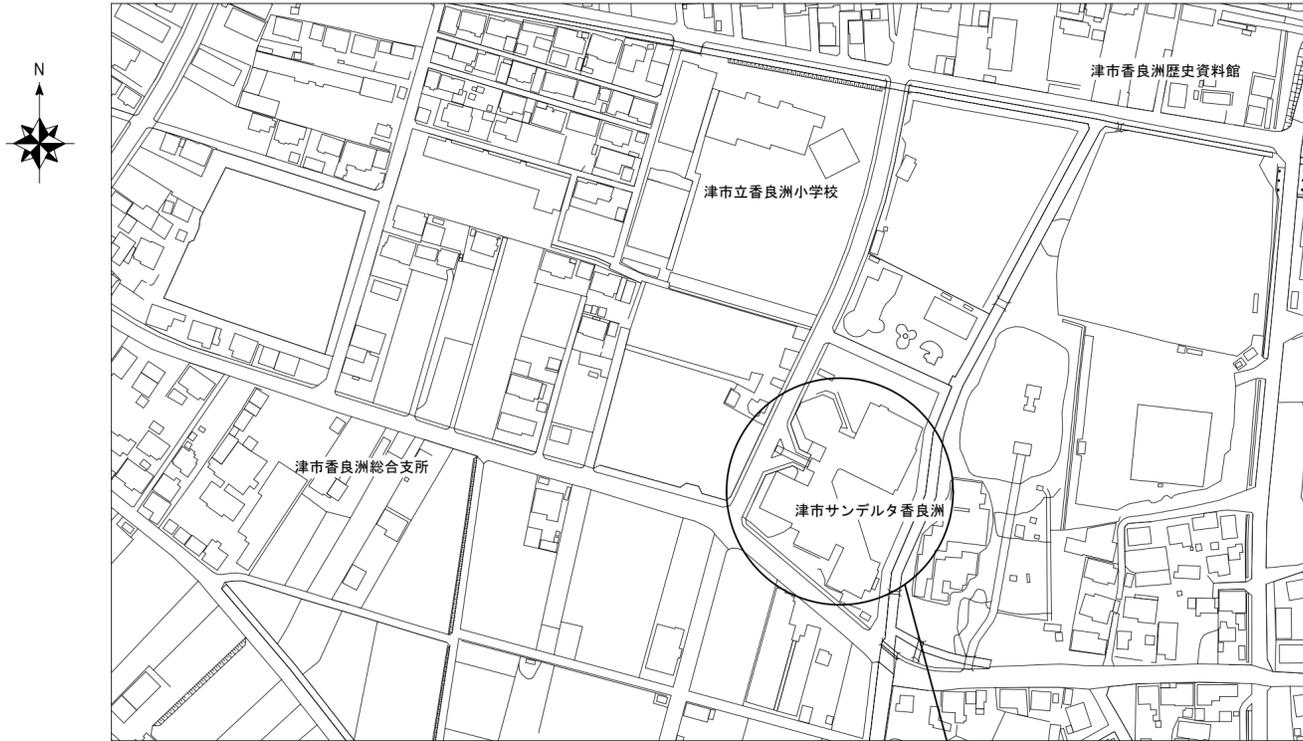
- 路盤締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない

舗装

材料	厚さ [mm]
ストリートアスファルト	・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )

試験

- 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない
- 舗装の平坦性 ・ 著しい不陸がないもの ( )

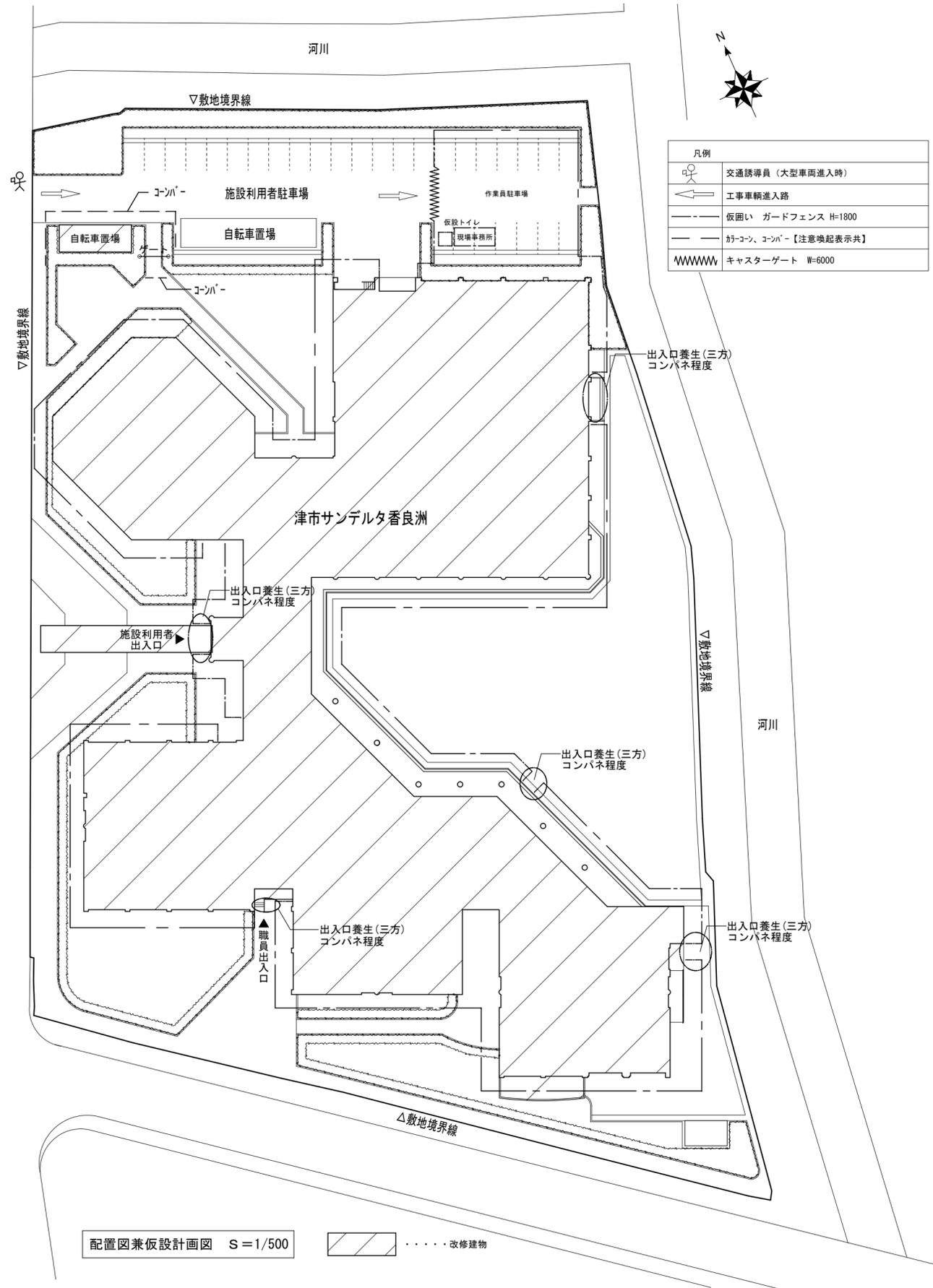


附近見取図

工事場所

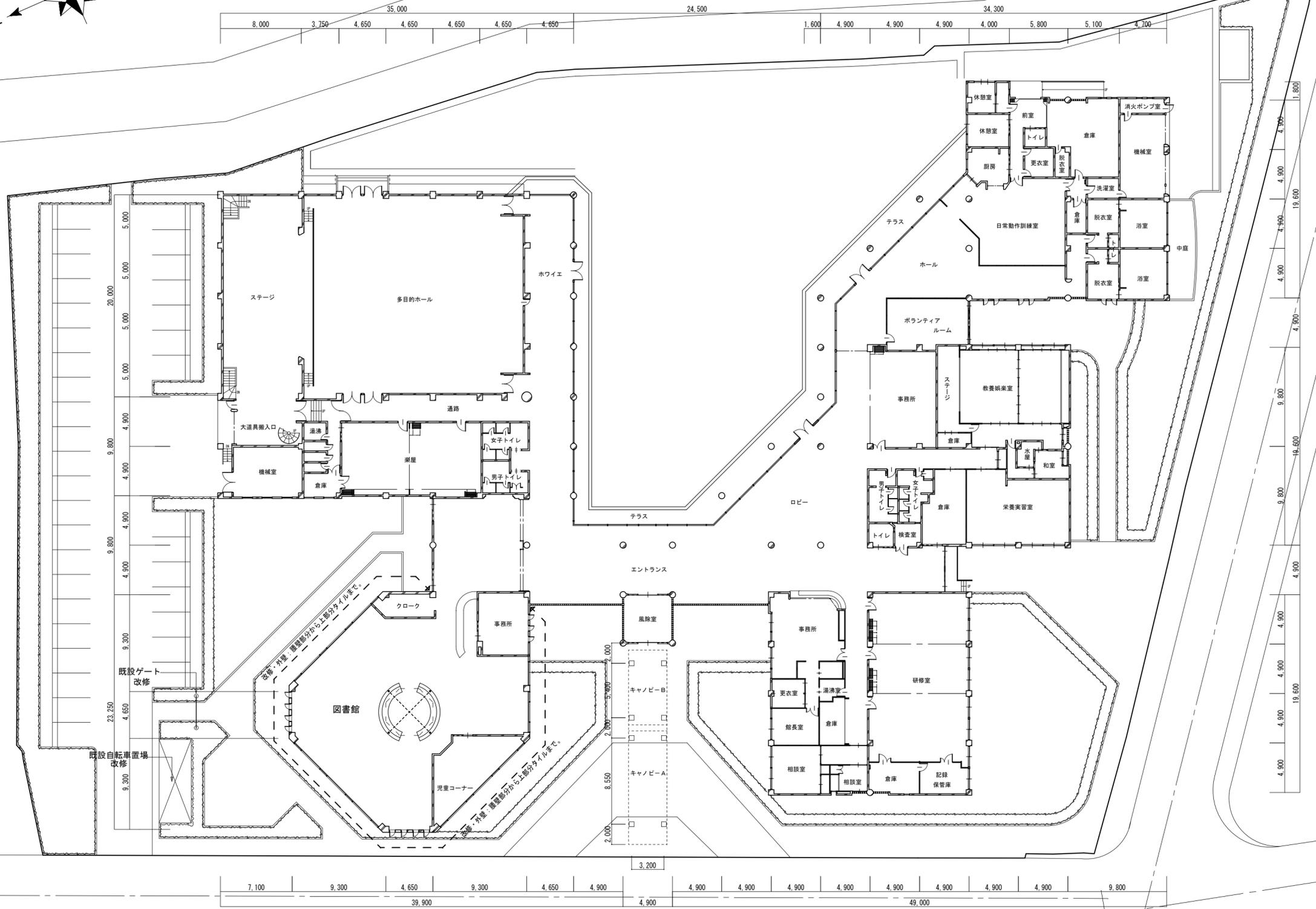
外部・仕上表				
凡例	名称ヶ所	新旧	仕様書	備考
A	屋根	既設	【既設】耐火ボード t=30 アスファルトルーフィング22kg/m <sup>2</sup> カラステンレス t=0.4横葺き	【改修】シーリング打替え (改修 F 既設目地打ち直し)
		改修	【改修】高圧水洗浄 下地調整の上、DP塗替え	
B	軒裏(コンクリート類)	既設	【既設】合板型枠コンクリート補修の上 吹き付けタイル	【改修】シーリング打替え
		改修	【改修】高圧水洗浄 下地調整の上 防水形複層塗材E ローラー工法(水系ふっ素仕上げ)	
C	軒裏(ボード類)	既設	【既設】ケイ酸カルシウム板 t=6下地 吹き付けタイル	【改修】シーリング打替え
		改修	【改修】下地調整の上 NAD塗	
C	軒裏(ボード類)	既設	【既設】岩綿吸音板 t=12	【改修】シーリング打替え
		改修	【改修】下地調整の上 NAD塗	
D	外壁	既設	【既設】合板型枠コンクリート下地 吹き付けタイル	【改修】シーリング打替え 【竖樋】樋管塩ビ下地はそのまま、竖樋掴み金物は既設スチールをステンレスに交換する。
		改修	【改修】高圧水洗浄 下地調整の上 防水形複層塗材E ローラー工法(水系ふっ素仕上げ)	
E	鋼製建具	既設	【既設】焼付け塗装	【改修】シーリング打替え
		改修	【改修】下地調整の上、DP塗替え(外面のみ)	
F	目地	既設	【既設】シーリング撤去	【改修】シーリング打替え 変成シリコン系(MS-2) 20×10
		改修	【改修】シーリング打替え	

【改修】既設仕様 改修仕様	
コンクリート面ひび割れ補修	Uカットシール充填工法 可とう性エポキシ樹脂 (1mm以上)
コンクリート面ひび割れ補修	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 (1mm以下)
コンクリート欠損部改修	樹脂モルタル充填工法(防錆処理共)



配置図兼仮設計画図 S=1/500

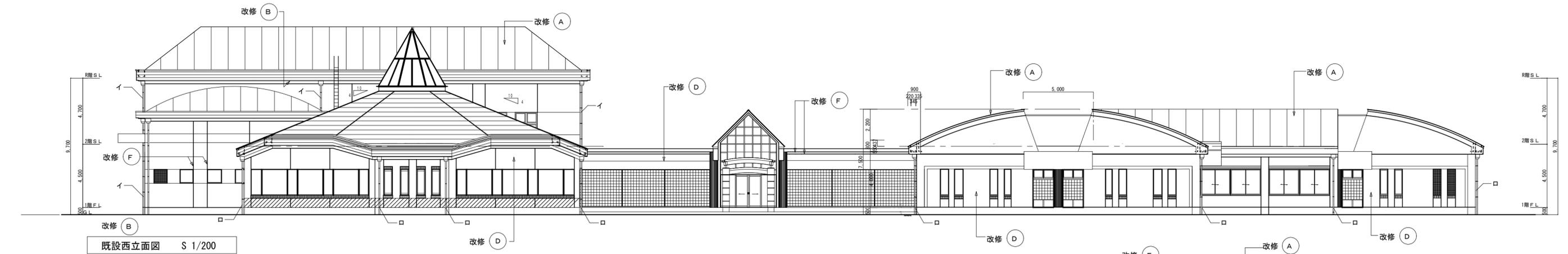
..... 改修建物



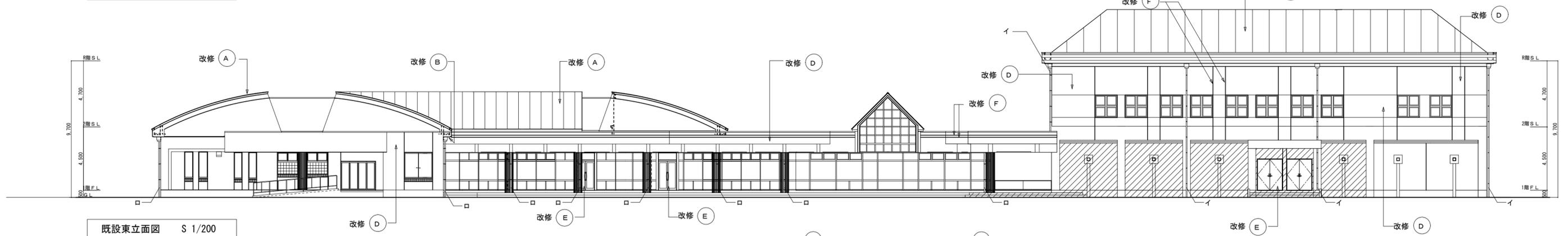
1階平面図 S=1/300

特記事項  	工事名称 津市サンデルタ香良洲外装改修工事	図面名称 改修・1階平面図	原図：A2 縮尺 1/300	一級建築士事務所 <b>大森建築設計事務所</b> 三重県津市久居藤ヶ丘町2604-5 管理建築士 大森幸路	図面番号 A-08
--------------	--------------------------	------------------	----------------------	---	--------------

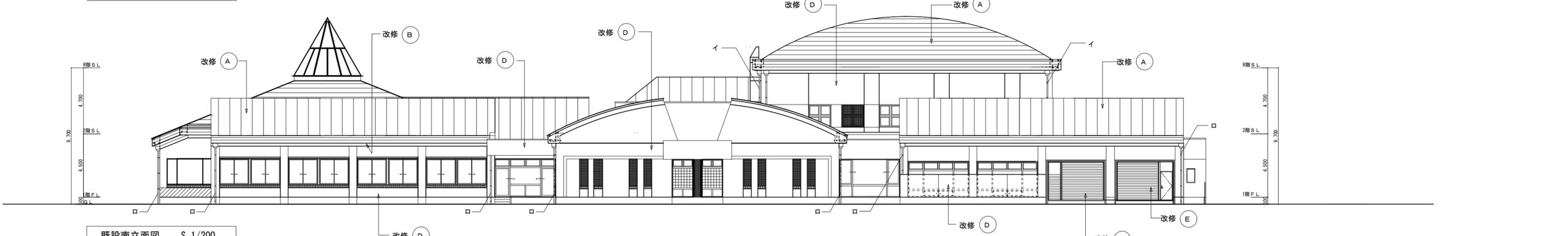




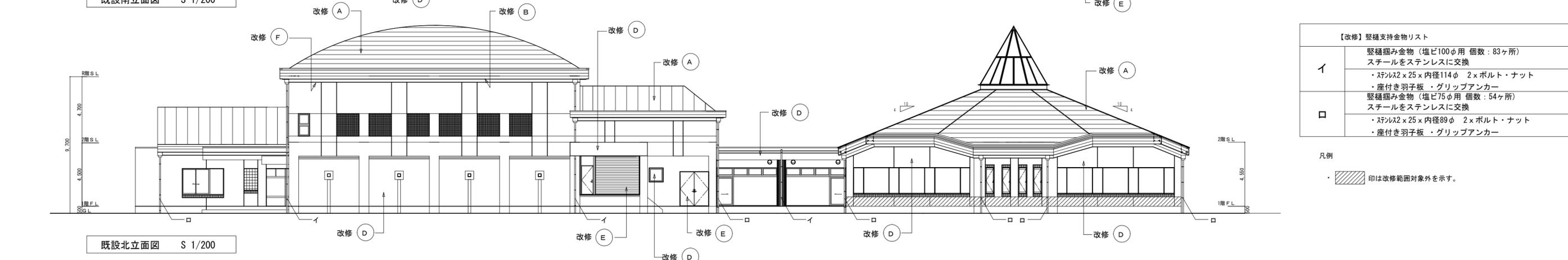
既設西立面図 S 1/200



既設東立面図 S 1/200



既設南立面図 S 1/200



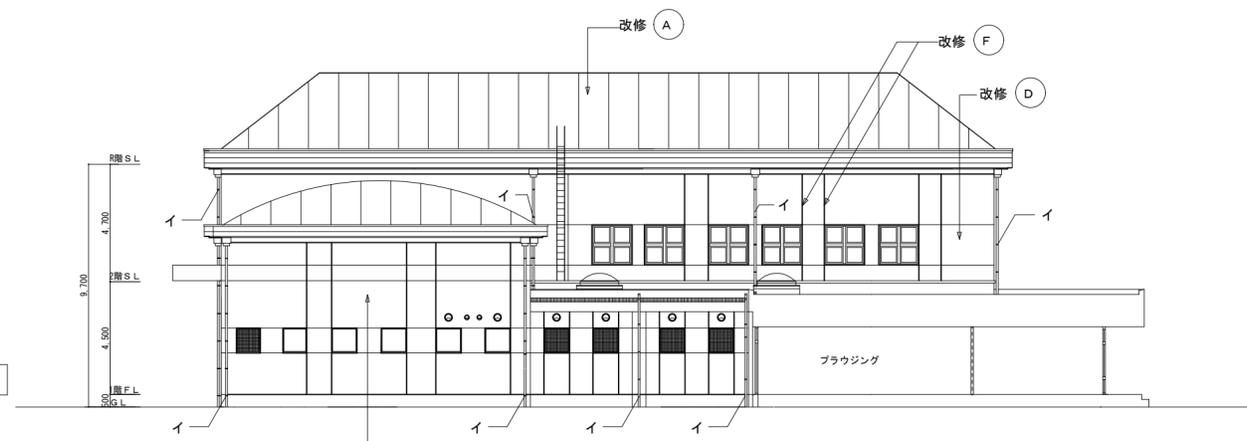
既設北立面図 S 1/200

【改修】 壁柱支持金物リスト

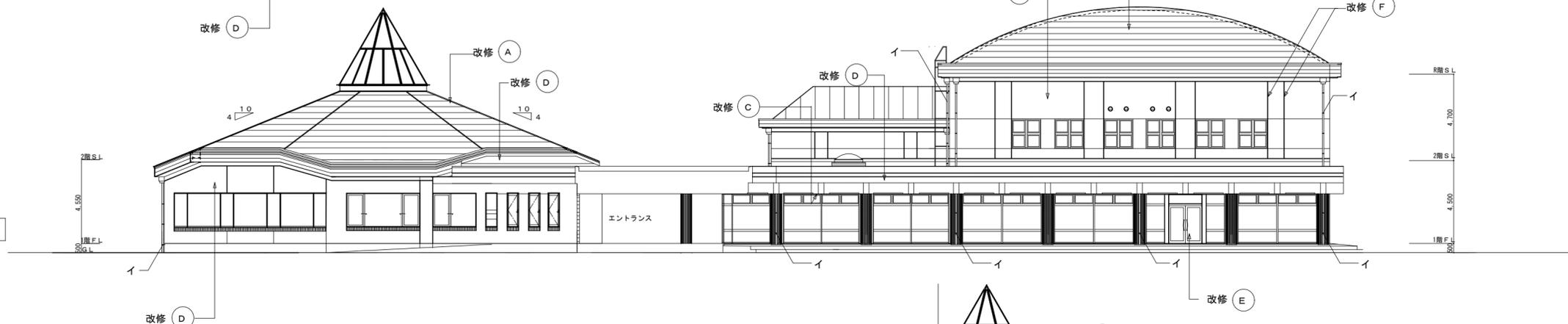
イ	壁柱埋込み金物 (塩ビ100φ用 個数: 83ヶ所) スチールをステンレスに交換
	・スチール2×25×内径114φ 2×ボルト・ナット ・座付き羽子板・グリップアンカー
ロ	壁柱埋込み金物 (塩ビ75φ用 個数: 54ヶ所) スチールをステンレスに交換
	・スチール2×25×内径89φ 2×ボルト・ナット ・座付き羽子板・グリップアンカー

凡例  
 印は改修範囲対象外を示す。

既設西立面図 S 1/200



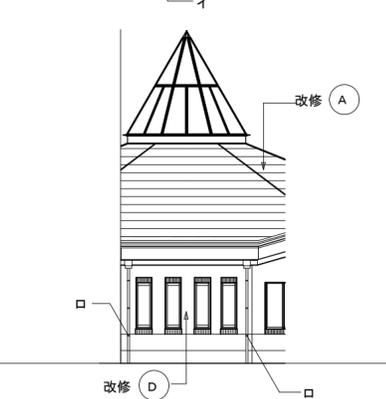
既設南立面図 S 1/200



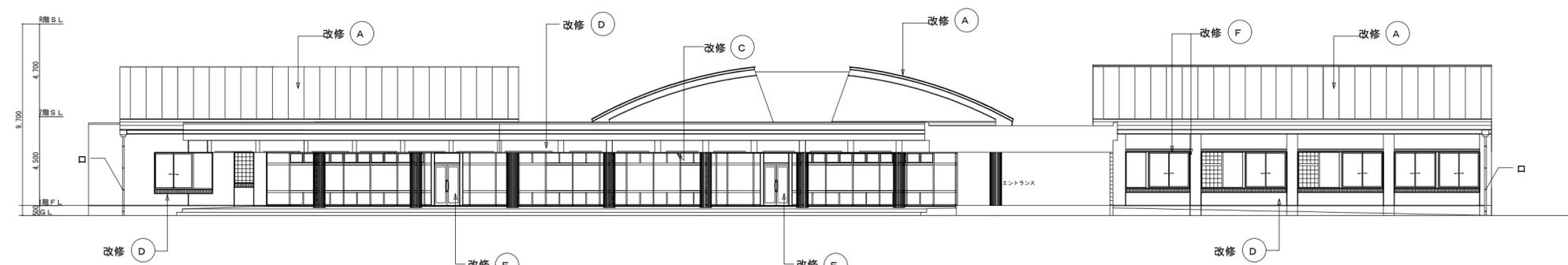
既設東立面図 S 1/200



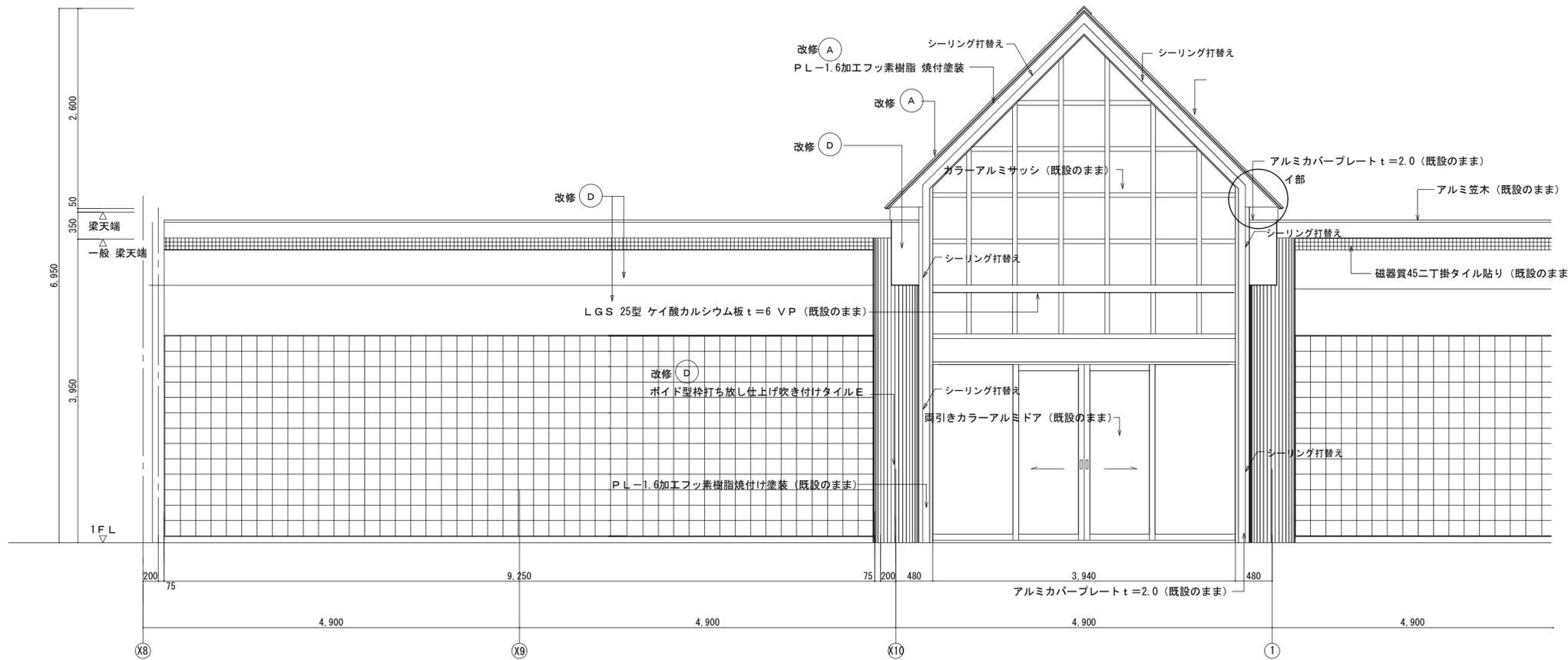
既設東立面図 S 1/200



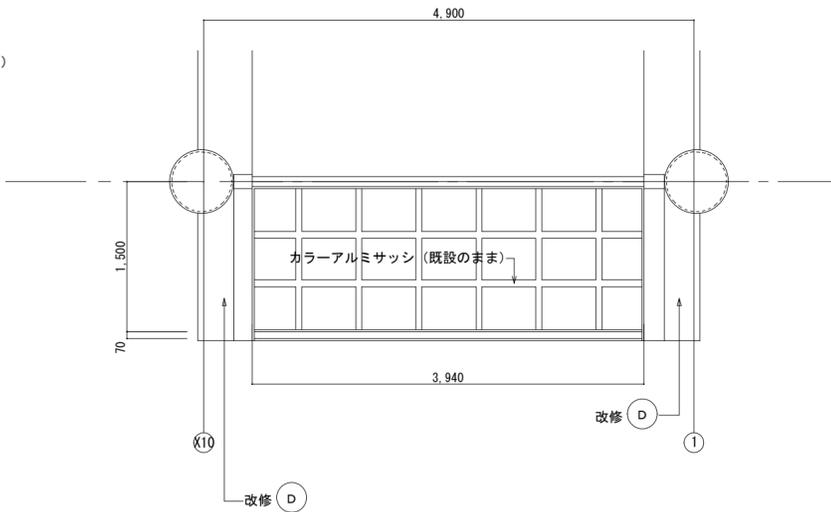
既設北立面図 S 1/200



【改修】 堅礎支持金物リスト	
イ	堅礎挿み金物 (塩ビ100φ用 個数: 83ヶ所) スチールをステンレスに交換 ・スチール2×25×内径114φ 2×ボルト・ナット ・座付き羽子板・グリッブアンカー
	堅礎挿み金物 (塩ビ75φ用 個数: 54ヶ所) スチールをステンレスに交換 ・スチール2×25×内径89φ 2×ボルト・ナット ・座付き羽子板・グリッブアンカー
ロ	

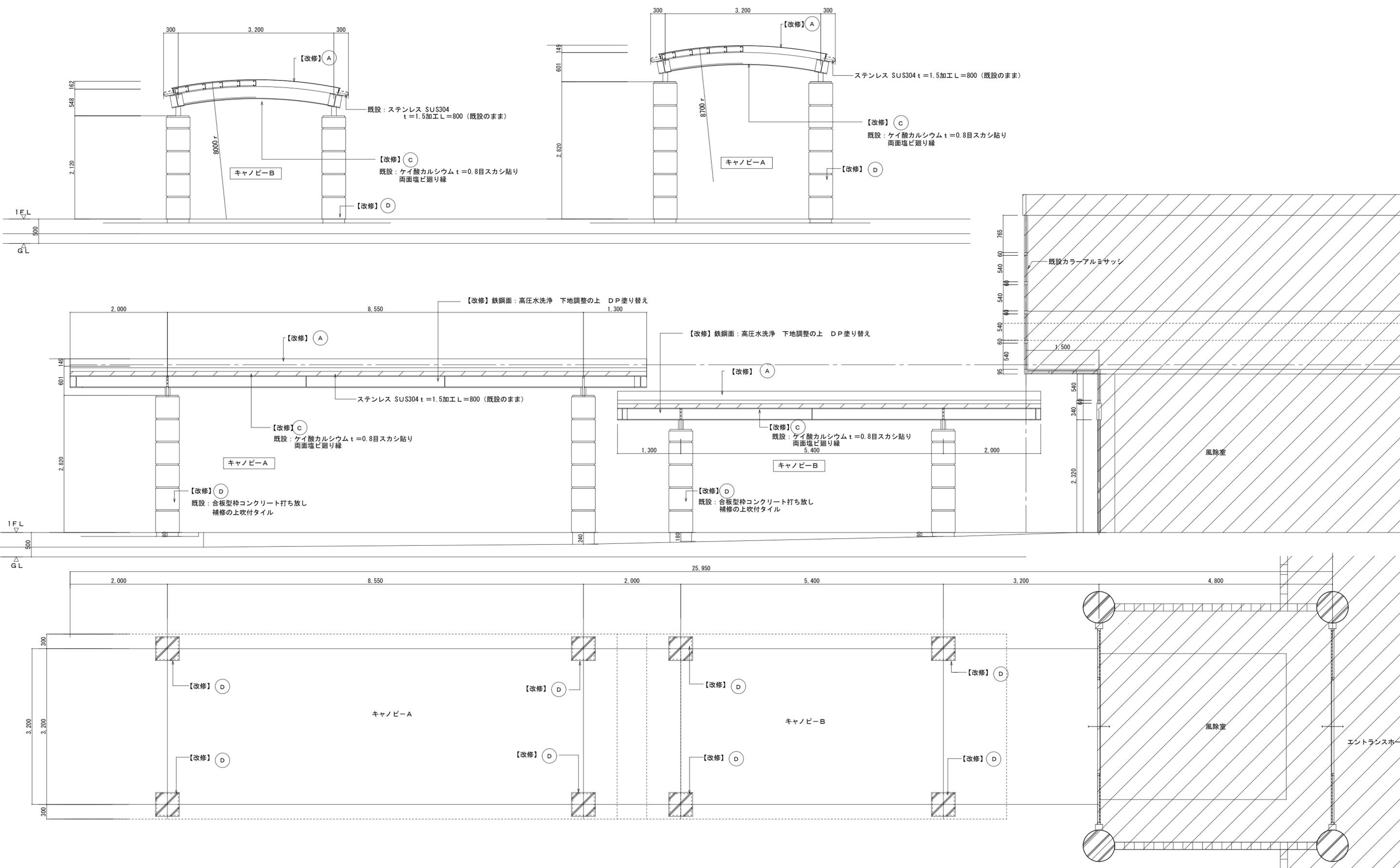


風除室 詳細図 1/50

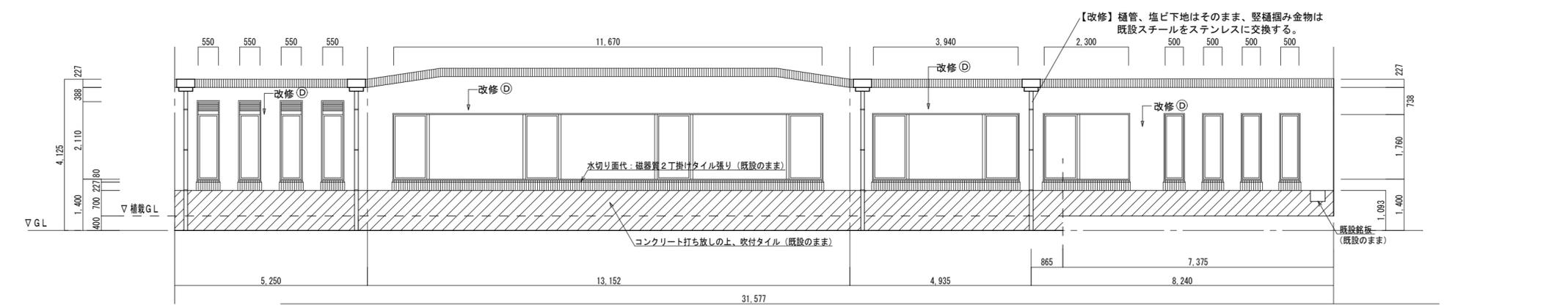
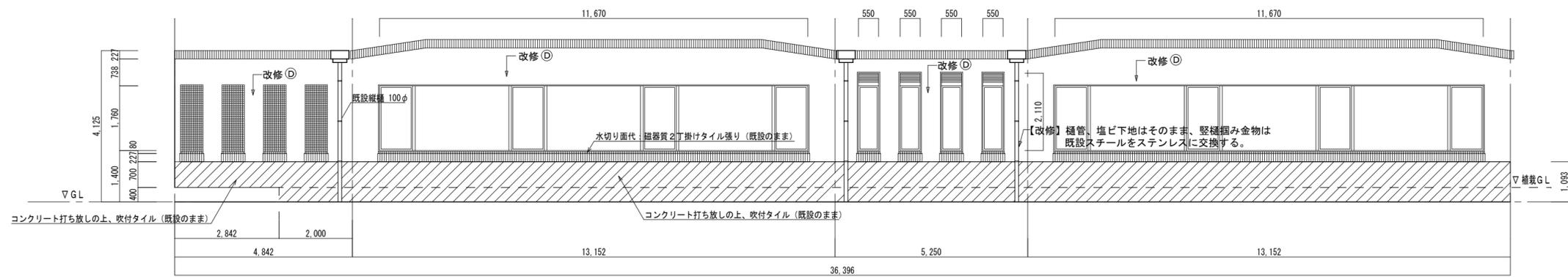


風除室 軒天 詳細図 1/50

特記事項	工事名称	図面名称	原図: A 2	一級建築士事務所	図面番号
注) 既設建具シーリングは建具表参照の事。	津市サンデルタ香良洲外装改修工事	改修・既設風除室 詳細図	縮尺 1/50	<b>大森建築設計事務所</b> 三重県津市久居藤ヶ丘町2604-5 管理建築士 大森幸路	A-12
				事務所登録 三重県知事 第1-259号 一級建築士 大臣登録 143376号	

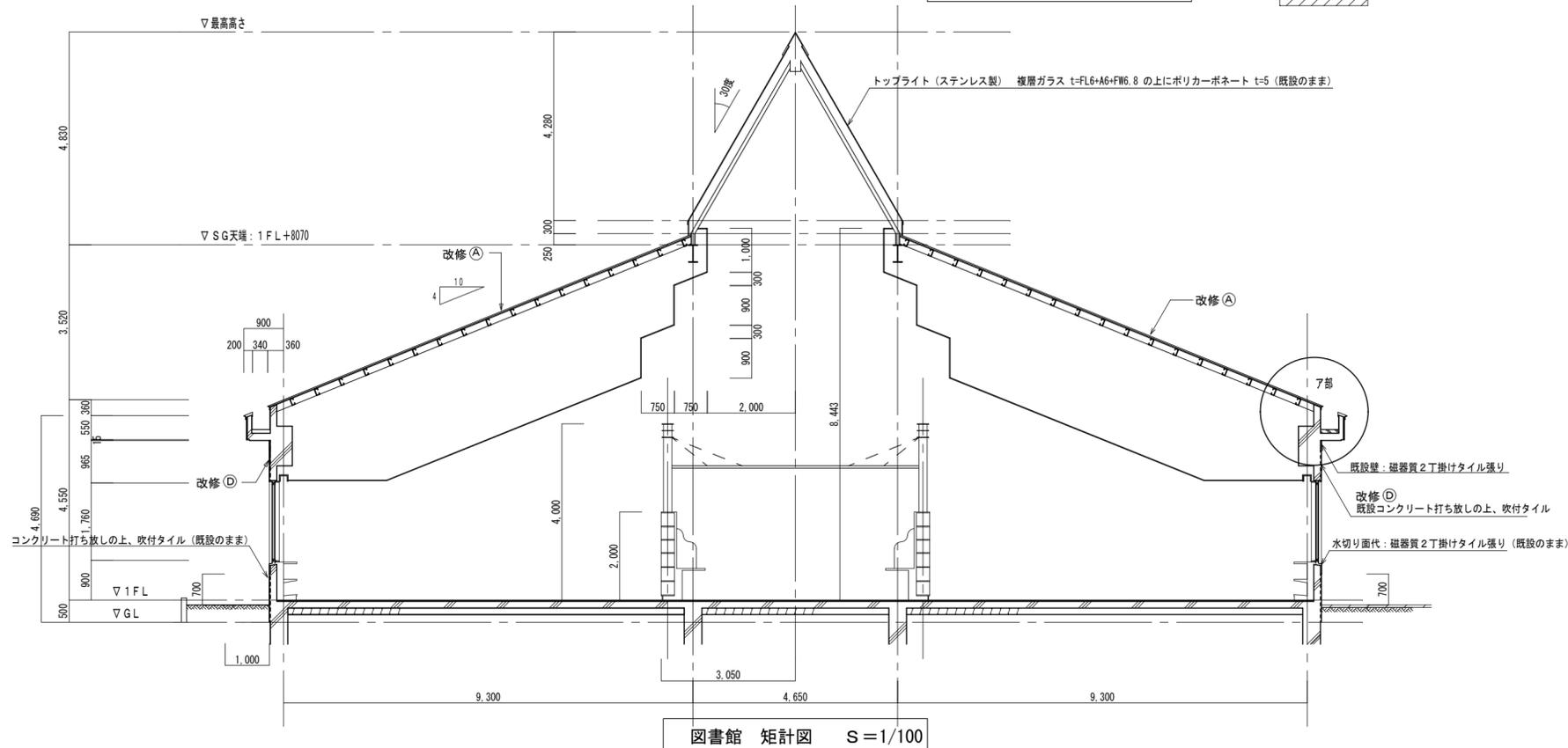


特記事項	工事名称 津市サンデルタ香良洲外装改修工事	図面名称 改修・既設キャノピーA・B平面図、立面図	原図：A 2 縮尺 1/50	一級建築士事務所 大森建築設計事務所 三重県津市久居藤ヶ丘町2604-5 管理建築士 大森幸路	事務所登録 三重県知事 第1-259号 一級建築士 大臣登録 143376号	図面番号 A-13
------	--------------------------	------------------------------	----------------------	--	--	--------------



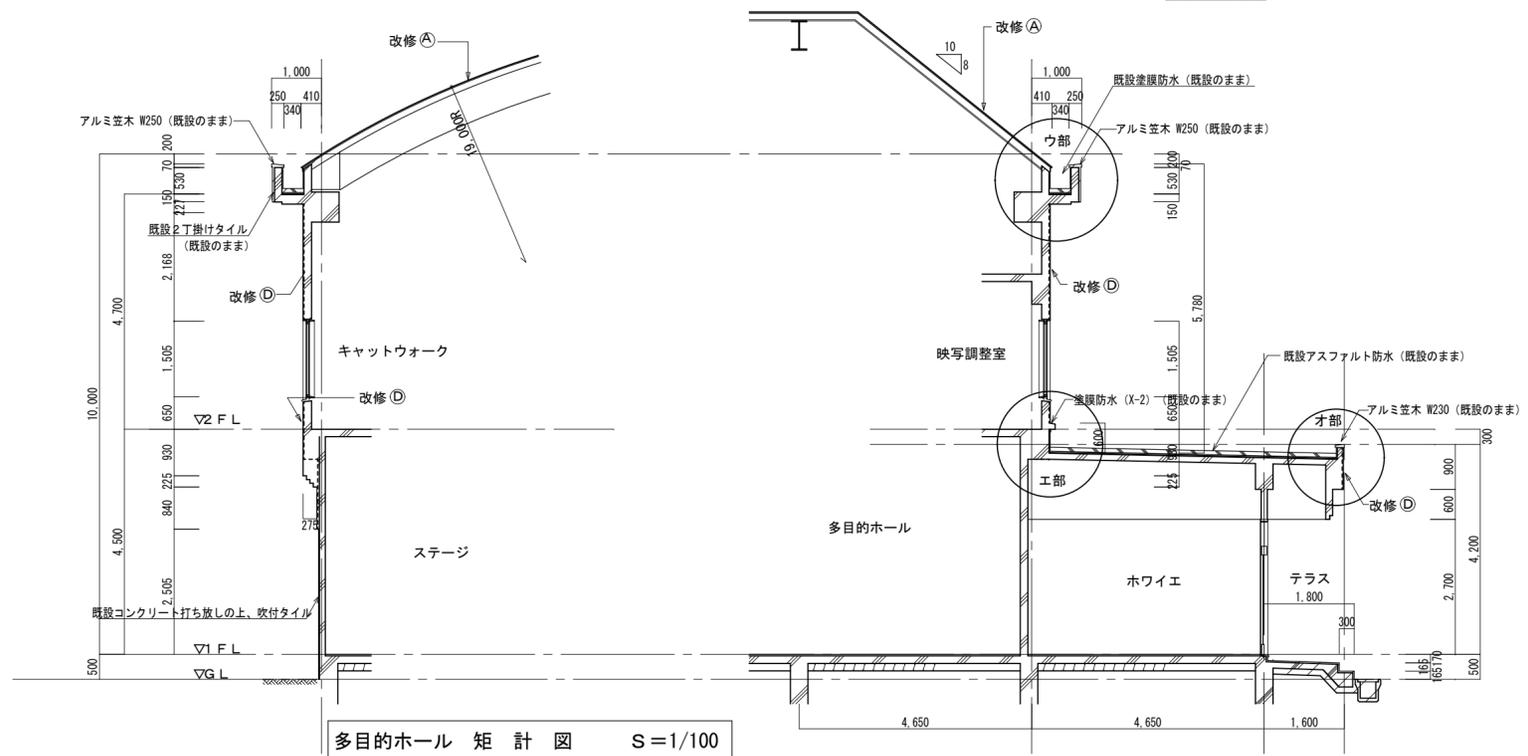
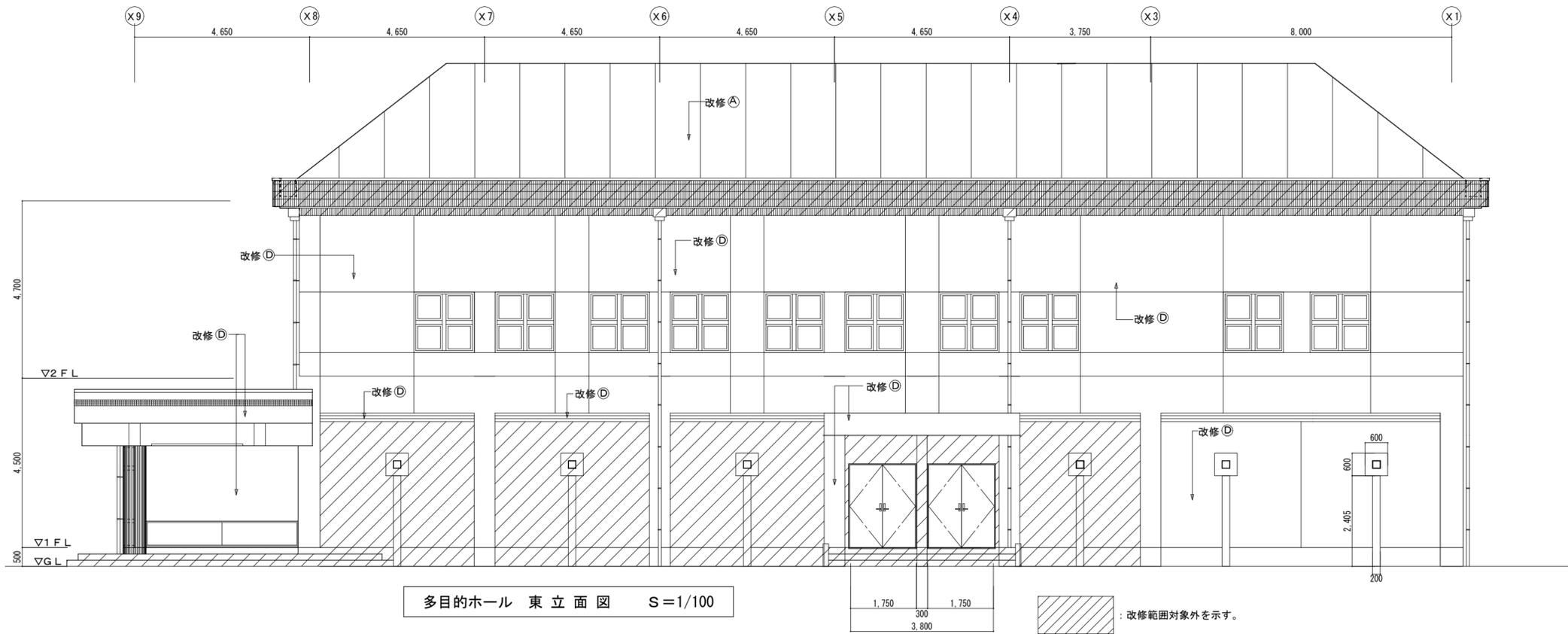
図書館 立面図 S=1/100

印は改修範囲対象外を示す。

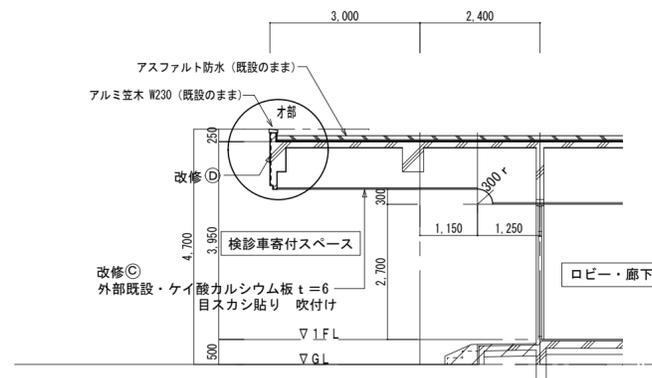


図書館 矩計図 S=1/100

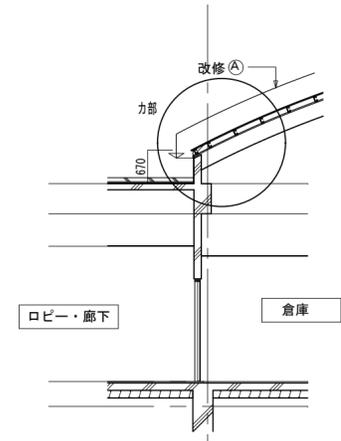
特記事項	工事名称 津市サンデルタ香良洲外装改修工事	図面名称 改修・図書館 矩計図	原図: A 2 縮尺 1/100	一級建築士事務所 大森建築設計事務所 三重県津市久居藤ヶ丘町2604-5 管理建築士 大森幸路	事務所登録 一級建築士 三重県知事 第1-259号 大臣登録 143376号	図面番号 A-14
------	--------------------------	--------------------	------------------------	--	---	--------------



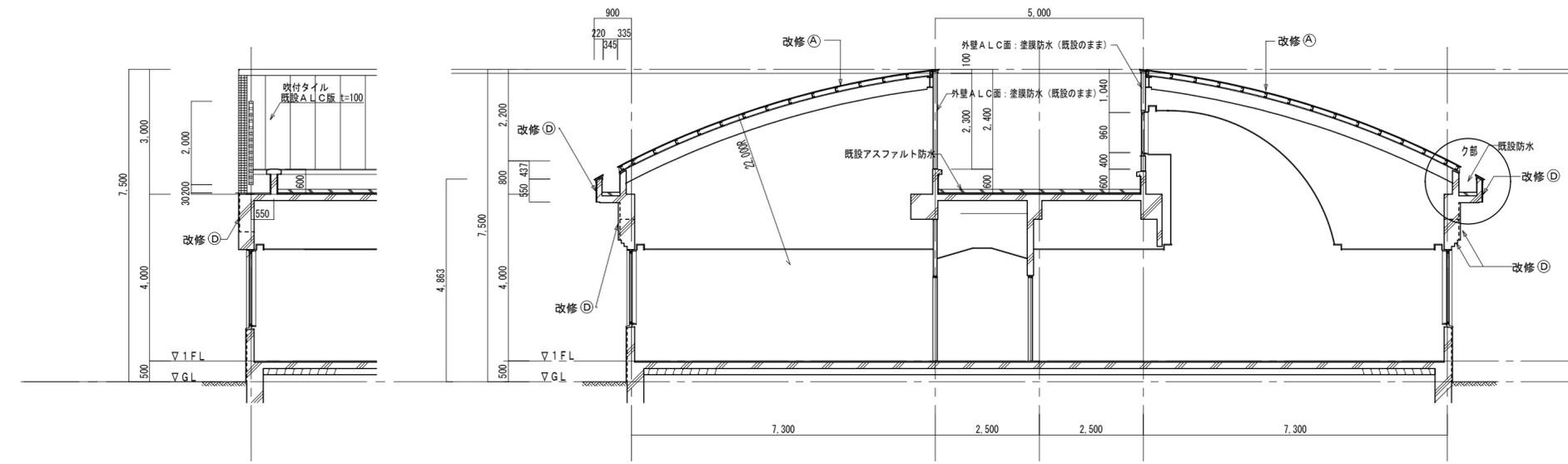
特記事項	工事名称	図面名称	原図：A 2	一級建築士事務所	図面番号
註) 改修・ひび割れヶ所は立面図 参照	津市サンデルタ香良洲外装改修工事	改修・多目的ホール 矩計図	縮尺 1/100	<b>大森建築設計事務所</b> 三重県津市久居藤ヶ丘町2604-5 管理建築士 大森幸路	A-15
				事務所登録 三重県知事 第1-259号 一級建築士 大臣登録 143376号	



検診車寄付スペース詳細図 1/100

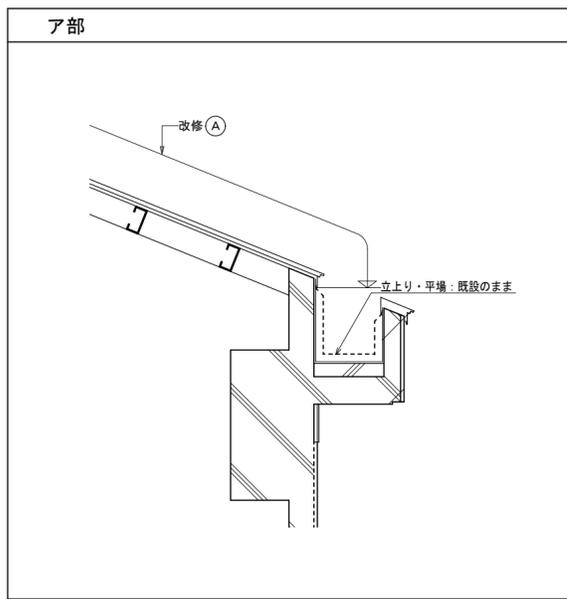
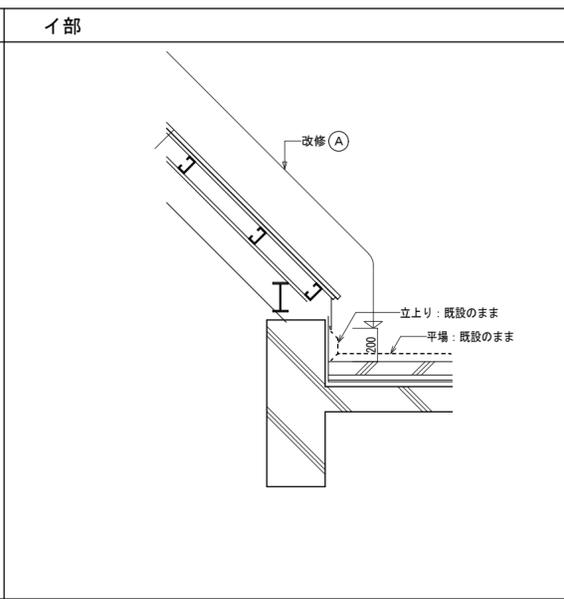
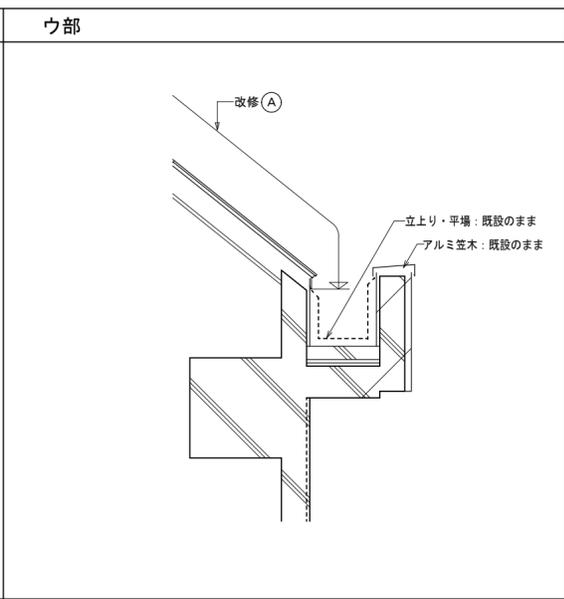
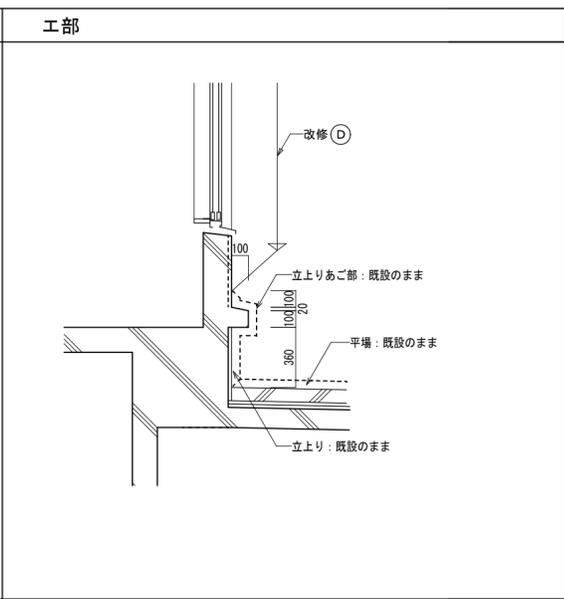
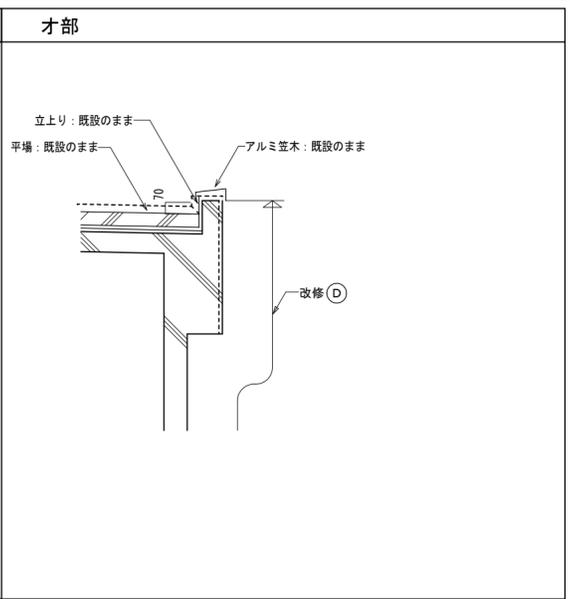
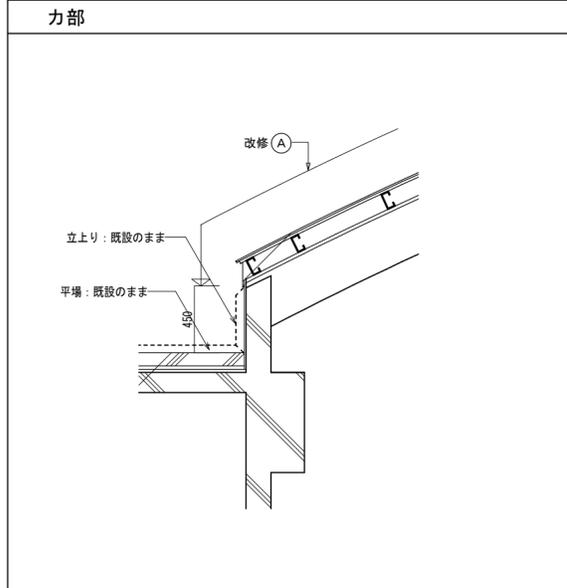
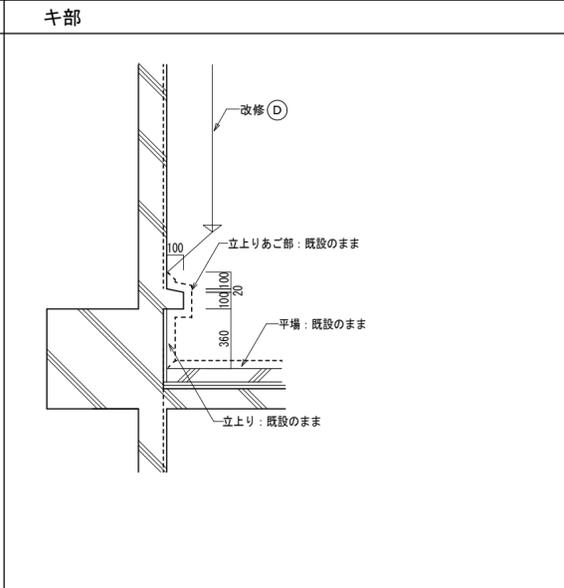
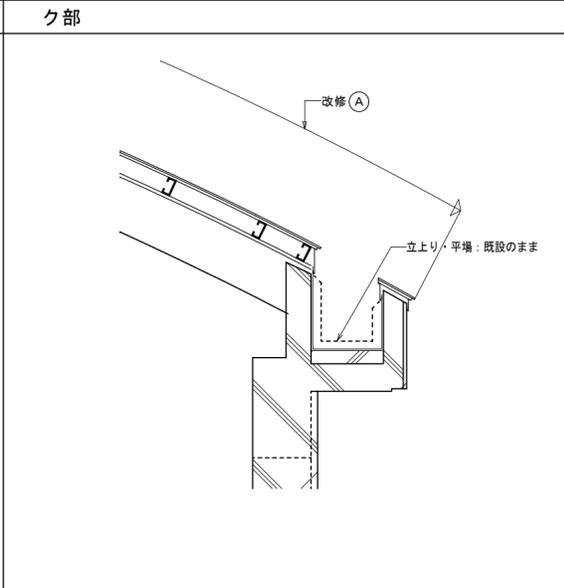
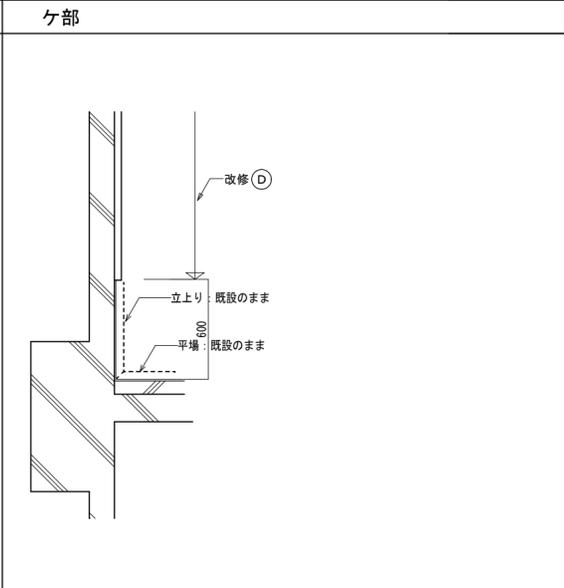


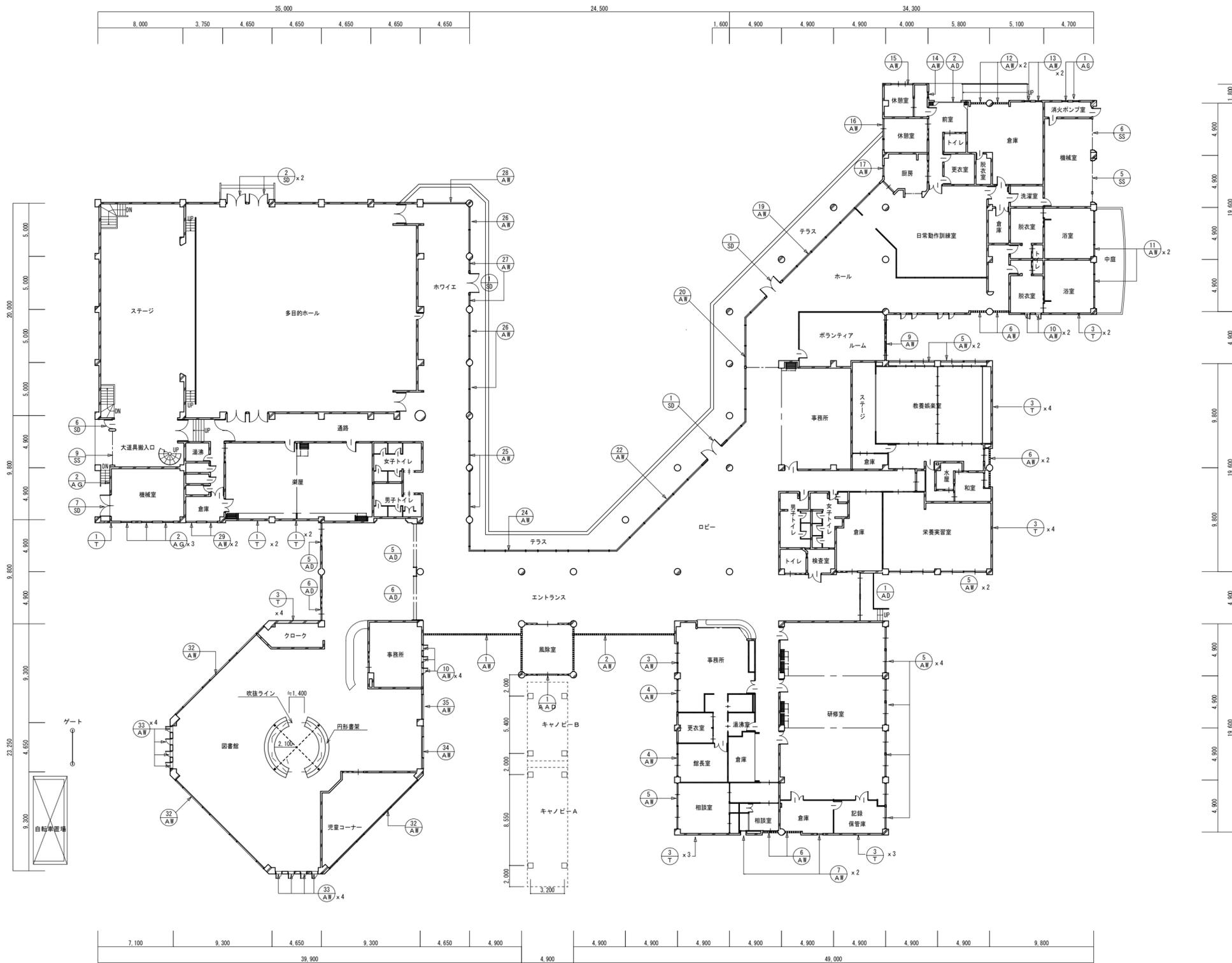
ロビー・倉庫 詳細図 1/100



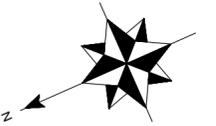
屋根A~C 詳細図 1/100

特記事項 	工事名称 津市サンデルタ香良洲外装改修工事	図面名称 改修・屋根A~C 詳細図・各部詳細図	原図: A 2 縮尺 1/100	一級建築士事務所 <b>大森建築設計事務所</b> 三重県津市久居藤ヶ丘町2604-5 管理建築士 大森幸路	図面番号 A-16
----------	--------------------------	----------------------------	------------------------	--	--------------

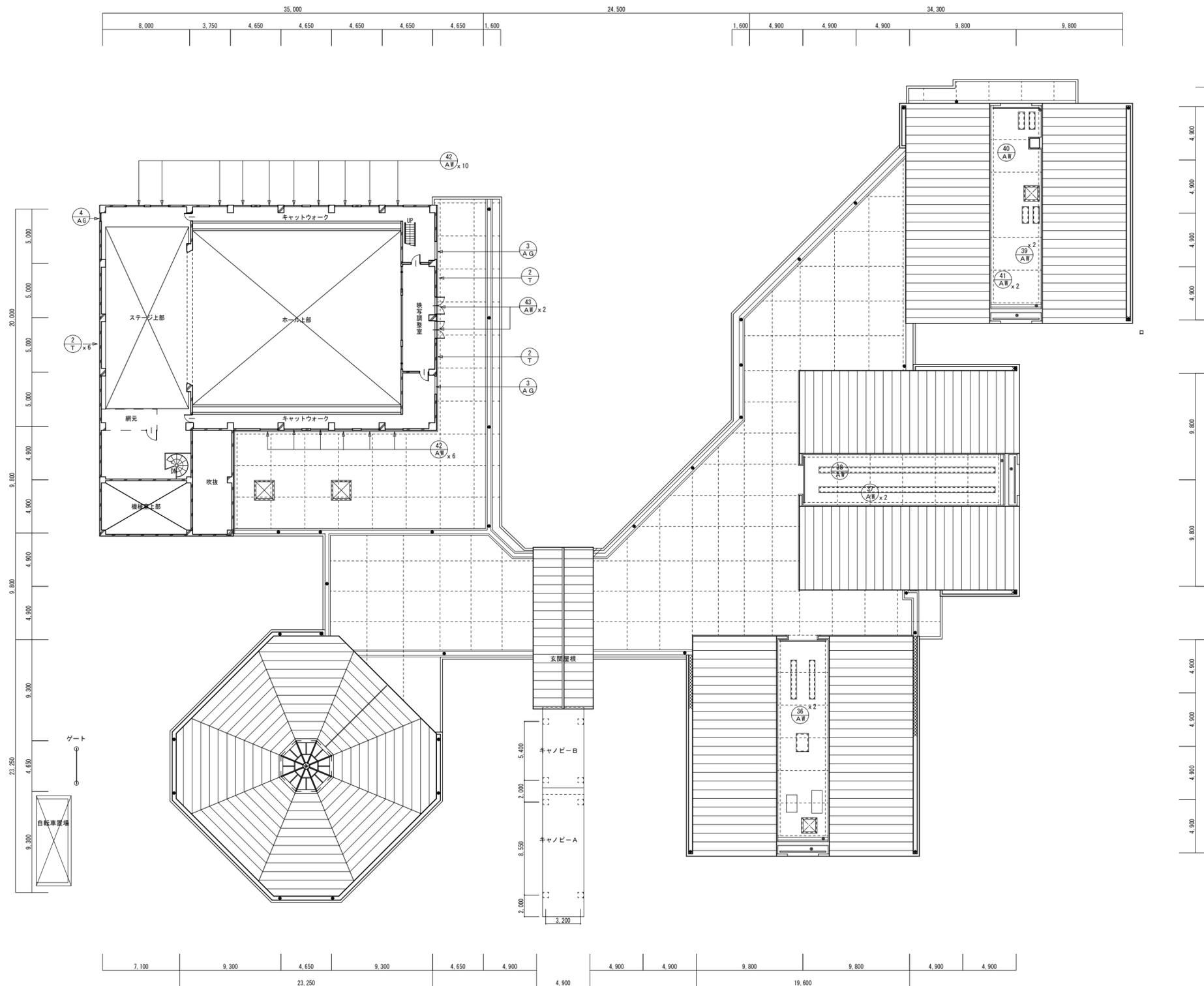
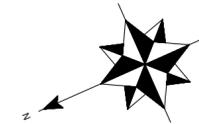
<p>ア部</p> 	<p>イ部</p> 	<p>ウ部</p> 	<p>エ部</p> 	<p>オ部</p> 
<p>カ部</p> 	<p>キ部</p> 	<p>ク部</p> 	<p>ケ部</p> 	



1階平面図 S=1/200



<p>特記事項</p> <p>注) 既設建具の改修シーリングは建具表を参照の事。</p>	<p>工事名称</p> <p>津市サンデルタ香良洲外装改修工事</p>	<p>図面名称</p> <p>改修・キープラン (1階)</p>	<p>原図: A 2</p> <p>縮尺</p> <p>1/100</p>	<p>一級建築士事務所 <b>大森建築設計事務所</b></p> <p>三重県津市久居藤ヶ丘町2604-5 管理建築士 大森幸路</p> <p>事務所登録 三重県知事 第1-259号 一級建築士 大臣登録 143376号</p>	<p>図面番号</p> <p>A-18</p>
--	-------------------------------------	----------------------------------	---------------------------------------	--	-------------------------

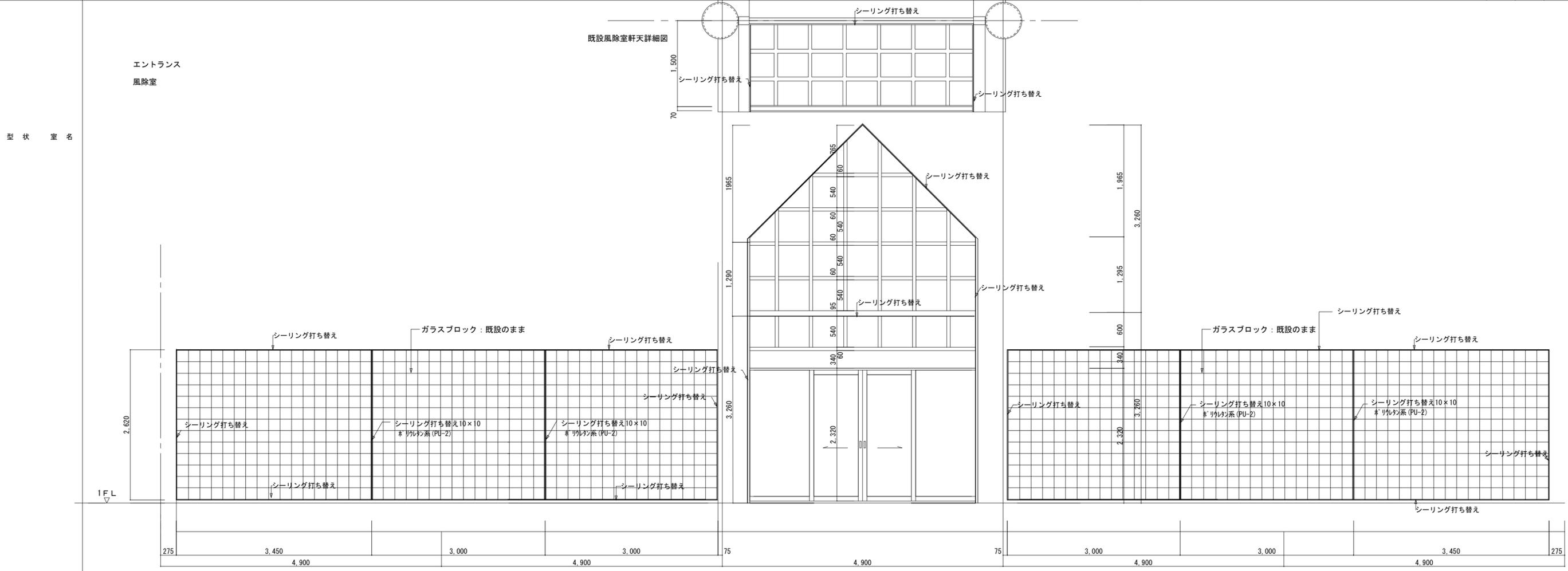


2階平面図 S=1/300

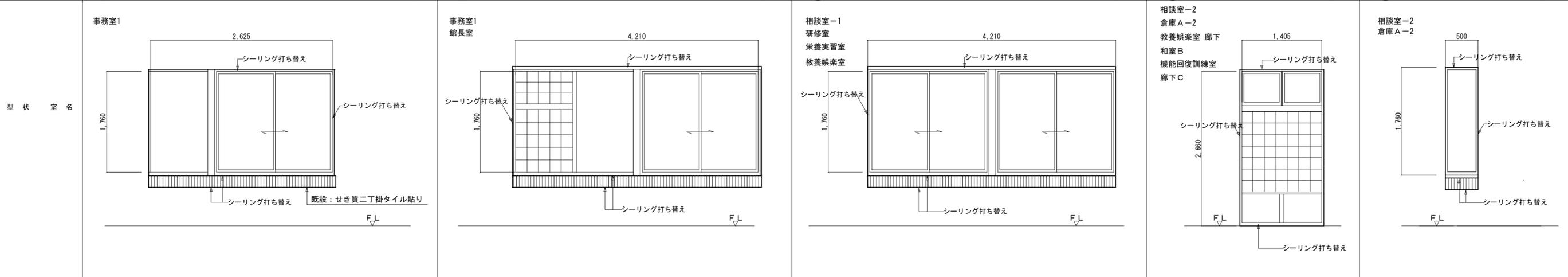
<p>特記事項</p> <p>注) 既設建具の改修シーリングは建具表を参照の事。</p>	<p>工事名称</p> <p>津市サンデルタ香良洲外装改修工事</p>	<p>図面名称</p> <p>改修・キープラン(2階)</p>	<p>原図: A 2</p> <p>縮尺</p> <p>1/100</p>	<p>一級建築士事務所</p> <p><b>大森建築設計事務所</b></p> <p>三重県津市久居藤ヶ丘町2604-5 管理建築士 大森幸路</p> <p>事務所登録 三重県知事 第1-259号 一級建築士 大臣登録 143376号</p>	<p>図面番号</p> <p>A-19</p>
--	-------------------------------------	---------------------------------	---------------------------------------	---	-------------------------

既設 金属製建具

記号	数量	① AAD	① AW	② AW	既設：カラーアルミ自動両引きドア付きカーテンウォール	1	1	1
----	----	----------	---------	---------	----------------------------	---	---	---



記号	数量	③ AW	既設：片袖 F i x 引き違いカラーアルミサッシ	1	④ AW	既設：片袖 F i x 引き違いカラーアルミサッシ	2	⑤ AW	既設：2連引き違いカラーアルミサッシ	10	⑥ AW	既設：外倒し・F i x カラーアルミサッシ	6	⑦ AW	既設：外倒し・F i x カラーアルミサッシ	2
----	----	---------	---------------------------	---	---------	---------------------------	---	---------	--------------------	----	---------	------------------------	---	---------	------------------------	---



特記事項	工事名称	図面名称	原図：A2	一級建築士事務所 大森建築設計事務所	図面番号
	津市サンデルタ香良洲外装改修工事	改修・建具表- (1)	縮尺 1/50	三重県津市久居藤ヶ丘町2604-5 管理建築士 大森幸路	A-20
				事務所登録 三重県知事 第1-259号 一級建築士 大臣登録 143376号	

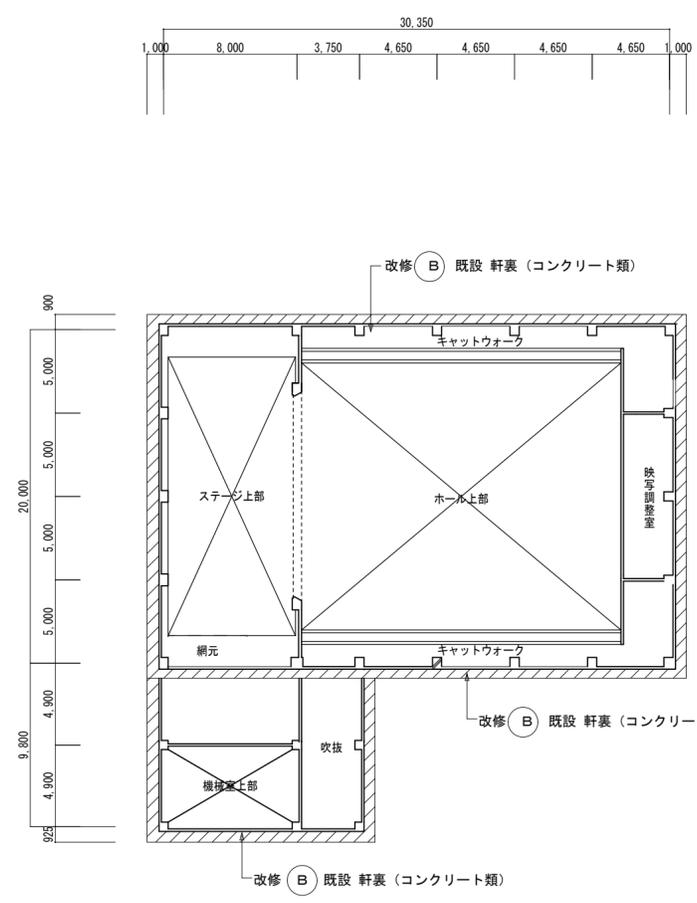
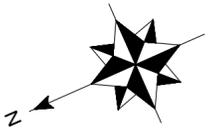
既設 金属製建具					
記号	数量	9 AW	10 AW	11 AW	12 AW
		既設：両袖引き F i x 付カラーアルミサッシ	既設：片開きカラーアルミサッシ (郵便物入れ含む)	既設：ランマ内倒し両袖引き込み下枠引き違いカラーアルミサッシ	既設：ランマ内倒し F i x カラーアルミサッシ
形状	室名	ボランティアルーム 4,230 2,660 シーリング打ち替え	図書室・事務室2 脱衣室 500 1,760 シーリング打ち替え	浴場 1 浴場 2 4,230 2,660 シーリング打ち替え	特殊浴場 1,405 1,405 シーリング打ち替え
記号	数量	13 AW	14 AW	15 AW	16 AW
		既設：ガラスルーバー カラーアルミサッシ	既設：ガラスルーバー カラーアルミサッシ	既設：ガラスルーバーカラー アルミサッシ	既設：F i x 付引き違いカラーアルミサッシ
形状	室名	特殊浴場 570 1,875 シーリング打ち替え	休憩室 455 920 シーリング打ち替え	休憩室 2,030 1,760 シーリング打ち替え	休養室 2,880 1,760 シーリング打ち替え
記号	数量	17 AW	28 AW	29 AW	
		既設：F i x カラーアルミサッシ	既設：F i x カラーアルミサッシ	既設：F i x カラーアルミサッシ	
形状	室名	厨房 930 1,505 シーリング打ち替え	ホワイエ 3,955 660 600 60 シーリング打ち替え	倉庫 D 955 955 シーリング打ち替え	

既設 金属製建具					
記号	数量	19 AW	既設：ランマ内倒しカラーアルミサッシ	1 SD	既設：ランマ内倒しカラーステールドア
形状	室名				
記号	数量	20 AW	既設：ランマF i x カラーアルミサッシ		1
形状	室名				
記号	数量	22 AW	既設：ランマ内倒しカラーアルミサッシ	1 SD	既設：ランマ内倒しカラーステールドア
形状	室名				

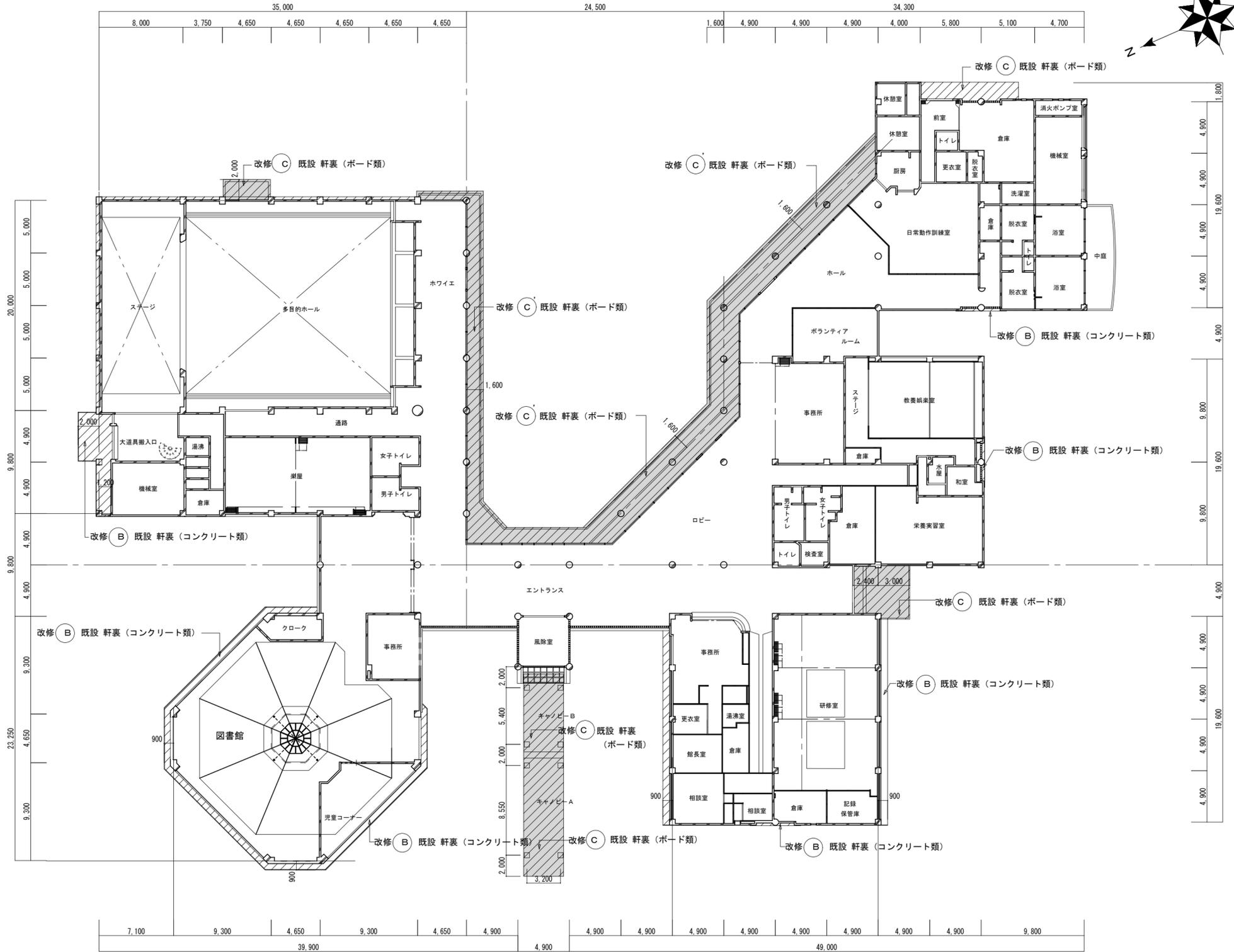
既設 金属製建具		記号	数量	既設: ランマ内倒しカラーアルミサッシ	1
形状	エントランス				
記号	数量	24 AW	既設: ランマ内倒しカラーアルミサッシ	26 AW	既設: ランマ内倒しカラーアルミサッシ
形状	ホワイエ				1
記号	数量	1 SD	既設: ランマ内倒しカラースチールドア	26 AW	既設: ランマ内倒しカラーアルミサッシ
形状	ホワイエ				1

既設 金属製建具													
記号	数量	32 AW	既設：両袖片引きF i x付カラーアルミサッシ	3	33 AW	既設：ランマガラリ付き片開きカラーアルミサッシ	8	34 AW	既設：両袖片引きF i x付カラーアルミサッシ	1			
形状	室名	図書室 			図書室 			図書室 					
記号	数量	35 AW	既設：両袖片引きF i x付カラーアルミサッシ	1	42 AW	既設：2連2段外倒しカラーアルミサッシ	16	43 AW	既設：両開きカラーアルミサッシ	2	6 SD	既設：片開きスチールドア	2
形状	室名	図書室 		多目的ホール・キャットウォーク 			多目的ホール・映写調整室 			大道具搬入口 			
記号	数量	1 AG	既設：固定ガラリカラーアルミサッシ	2	2 AG	既設：固定ガラリカラーアルミサッシ	4	3 AG	既設：固定ガラリカラーアルミサッシ	2	4 AG	既設：固定ガラリカラーアルミサッシ	1
形状	室名	機械室 		多目的ホール・機械室D-1 			多目的ホール・キャットウォーク 			多目的ホール・キャットウォーク 			

既設 金属製建具													
記号	数量	① AD	既設：ランマF i x付両袖きカラーアルミサッシ	1	② AD	既設：片開き折れ戸カラーアルミサッシ	1	⑤ AD	既設：ランマF i x付片袖きカラーアルミサッシ	1	⑥ AD	既設：ランマF i x付片袖きカラーアルミサッシ	1
形状	室名	ロビー		前室2	ブラウジング	ブラウジング	ロビー		前室2	ブラウジング	ブラウジング	ロビー	
形状		室名		室名		室名		室名		室名		室名	
形状		室名		室名		室名		室名		室名		室名	
記号	数量	② SD	既設：両開きスチールドア	2	⑦ SD	既設：両開きスチールドア	1	⑤ SS	既設：片袖ガラリ付重量シャッター	1	⑥ SS	既設：片袖片開きスチールフラッシュドア付重量シャッター	1
形状	室名	多目的ホール		多目的ホール・機械室D-1	多目的ホール・機械室D-1	多目的ホール・機械室D-1	多目的ホール・機械室D-1	多目的ホール・機械室D-1	多目的ホール・機械室D-1	多目的ホール・機械室D-1	多目的ホール・機械室D-1	多目的ホール・機械室D-1	多目的ホール・機械室D-1
形状	室名	室名		室名		室名		室名		室名		室名	
形状	室名	室名		室名		室名		室名		室名		室名	
記号	数量	⑨ SS	既設：電動重量シャッター	1	① T	既設：タイル貼り	5	② T	既設：タイル	8	③ T	既設：タイル貼り	20
形状	室名	大道具搬入口		機械室 楽屋	ステージ上屋	図書室 クローク 相談室 栄養実習室 浴室	大道具搬入口		機械室 楽屋	ステージ上屋	図書室 クローク 相談室 栄養実習室 浴室	大道具搬入口	
形状	室名	室名		室名		室名		室名		室名		室名	
形状	室名	室名		室名		室名		室名		室名		室名	



2階天井伏図 S=1/300

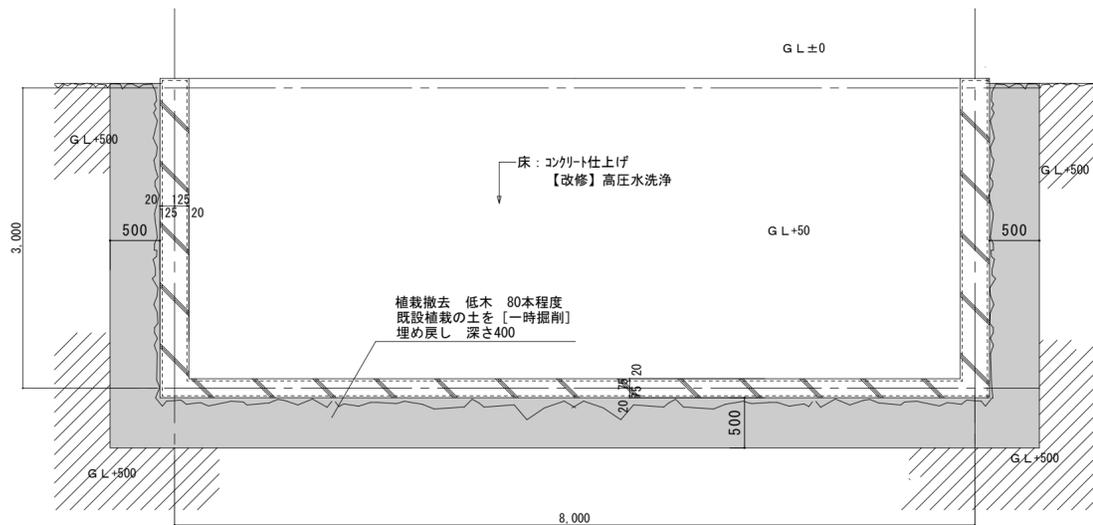


1階天井伏図 S=1/300

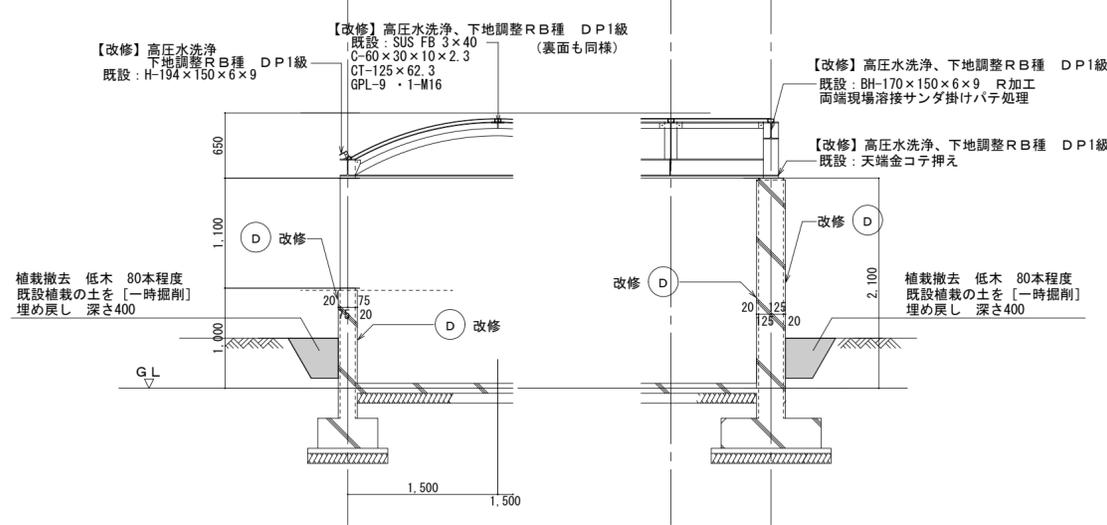
- 軒裏：【改修】高圧水洗浄 下地調整の上  
防水形複層塗材E ローラー工法（水系ふっ素仕上げ）
- 軒裏：【改修】下地調整の上 NAD塗

特記事項	工事名称 津市サンデルタ香良洲外装改修工事	図面名称 改修・1階・2階天井伏図	原図：A 2 縮尺 1/300	一級建築士事務所 <b>大森建築設計事務所</b> 三重県津市久居藤ヶ丘町2604-5 管理建築士 大森幸路	事務所登録 三重県知事 第1-259号 一級建築士 大臣登録 143376号	図面番号 A-26
------	--------------------------	----------------------	-----------------------	---	---	--------------

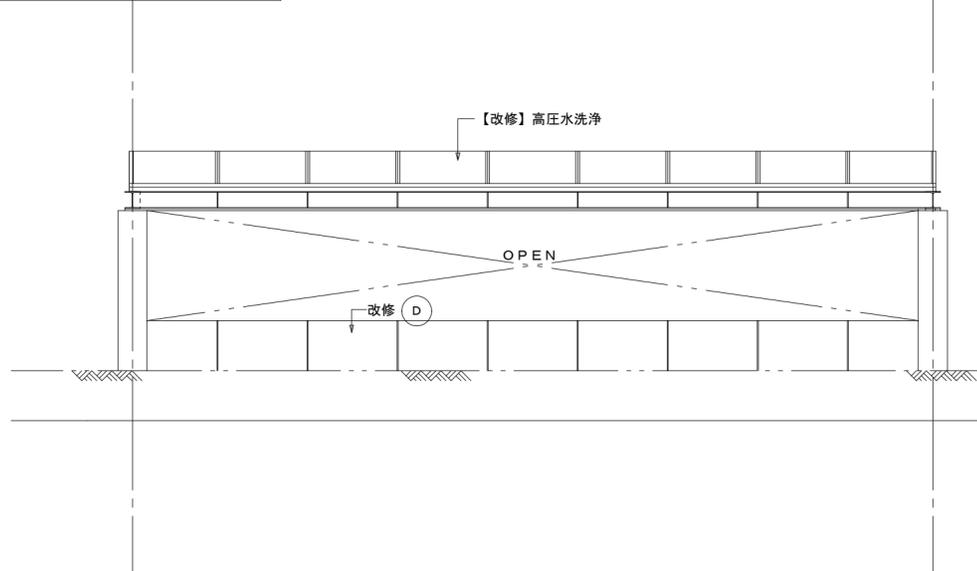
既設：自転車置場 平面図 1/50



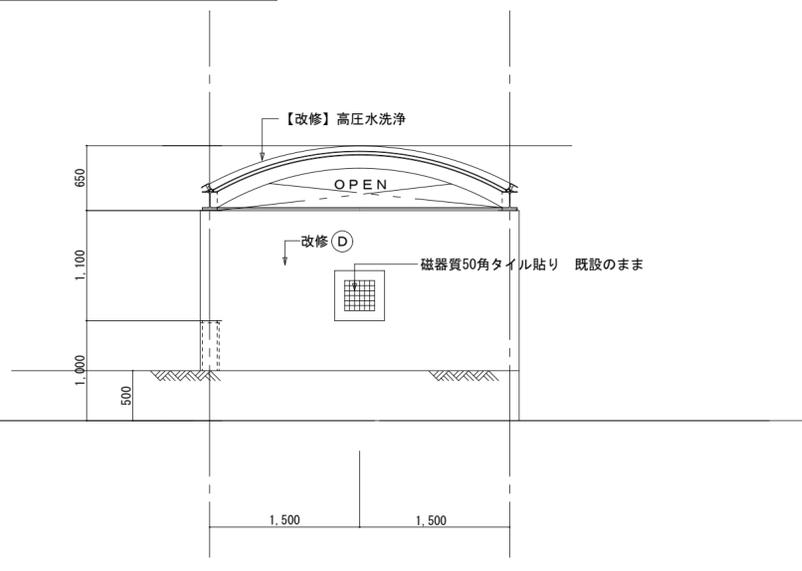
既設：自転車置場 矩計図 1/50



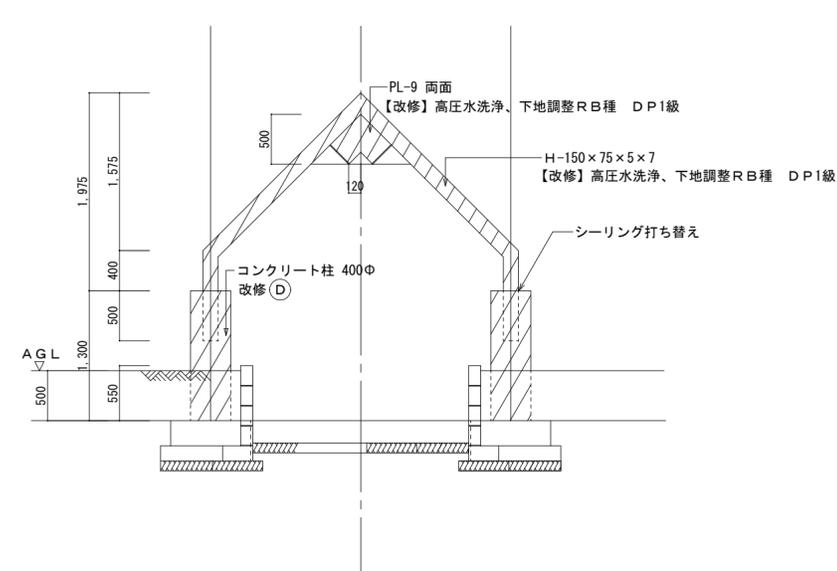
既設：自転車置場 南立面図 1/50



既設：自転車置場 東立面図 1/50



既設ゲート 詳細図 1/50



特記事項	工事名称	図面名称	原図：A 2	一級建築士事務所	図面番号
	津市サンデルタ香良洲外装改修工事	改修・既設 自転車置場・既設ゲート	縮尺 1/50	<b>大森建築設計事務所</b> 三重県津市久居藤ヶ丘町2604-5 管理建築士 大森幸路	A-27
				事務所登録 三重県知事 第1-259号 一級建築士 大臣登録 143376号	



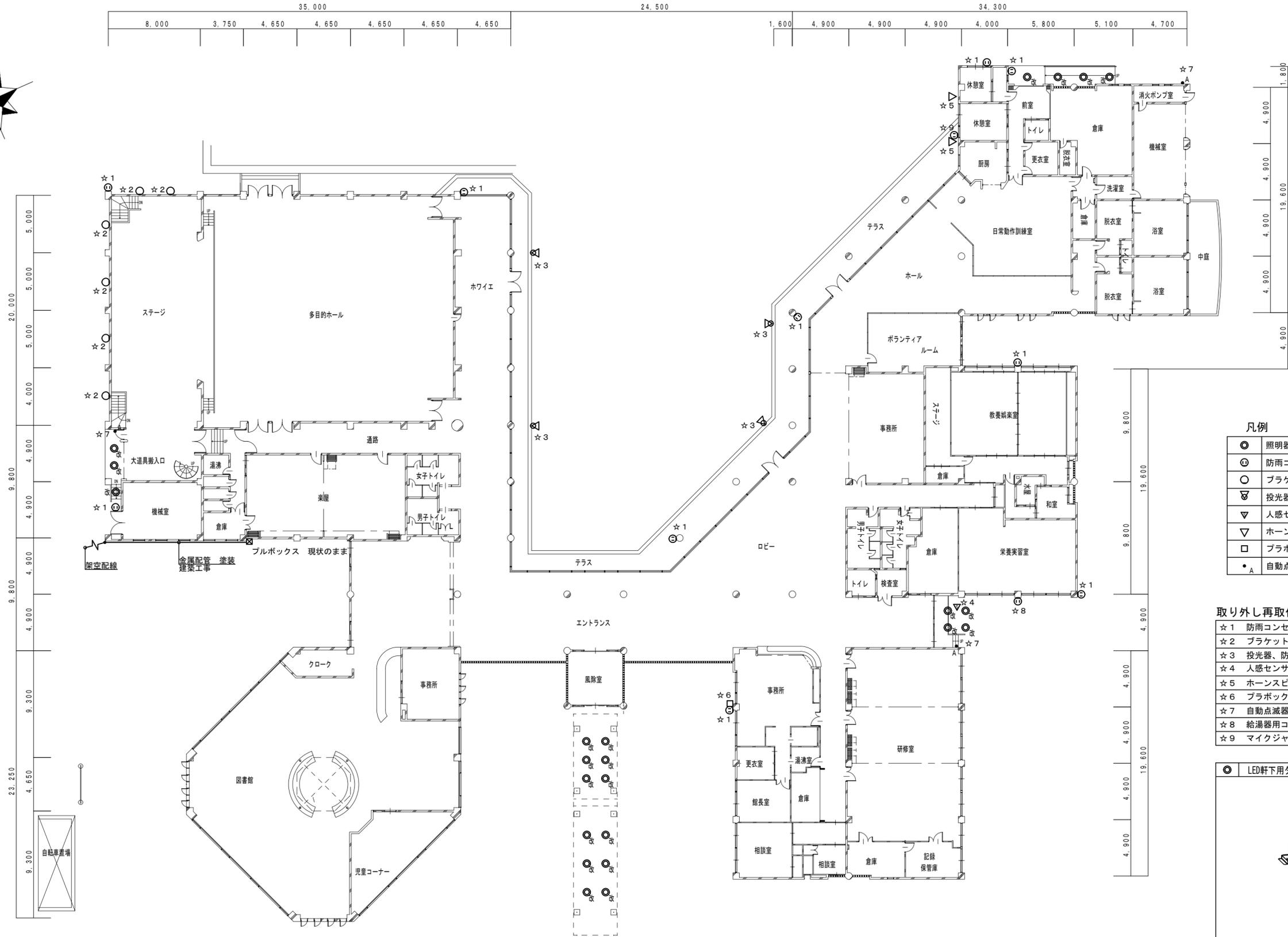
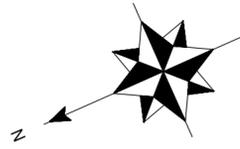
20. 配線器具の設置	<p>(1) 特殊コンセントはプラグ付とする。</p> <p>(2) 電源の種類により色を区別する。</p> <p>(3) 配線器具を取り付ける場所が金属の場合は、絶縁棒を使用する。</p> <p>(4) プレートは、図面に特記なき場合は、新金属製とする。</p> <p>(5) カバープレートは、原則として新金属製とする。</p> <p>なお、器具を突壁しない位置ボックスには用途表示をすること。</p> <p>(6) フラアプレートは、水平高低調整型（空転防止リング付）とする。</p>	<p>3. 機器仕様 下記の該当する項目を適用する。また、特記事項において選択する事項は、●印のついたものを適用する。 なお、詳細については、図面による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>特記事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"><b>【電力設備】</b></td> </tr> <tr> <td>1. 電灯設備</td> <td>(1) 電灯設備 (1) 既設等との取り合い ( ) 無し ・ 盤改造 ●配線接続 ・ 電源供給 ・ その他 ( )</td> </tr> <tr> <td>(2) 機器類</td> <td>●一般照明器具 ・ 照明制御装置 ・ 外灯 (単独設置) ・ コンセント等 ・ 分電盤、制御盤等) ・ その他 ( )</td> </tr> <tr> <td>(3) 一般照明器具</td> <td>1) 形式 ●公称型 ●一般型 2) 灯具 ●Hf蛍光灯 ●LED灯 ・ HID灯 ・ その他 ( ) 3) 用途 ●屋内用 ●屋外用 4) 環境 ●普通地域 ●塩害地域 5) 照明器具は、認証書又は認定書、試験成績書を提出すること。 6) 電光灯の点灯管にローランプを使用するものは、電子点灯管に交換するものとする。 7) HIDランプを使用する下面開放形器具及びランプの破損による飛散を防止する恐れのある場合は、飛散防止を施したランプとする。</td> </tr> <tr> <td>(4) 照明制御装置</td> <td>1) センサ類 ・ 明るさセンサ ・ 人感センサ ・ タイマ ・ 調光スイッチ ( ) 2) 調光方式 ・ 連続調光 ・ 段階調光 ・ ON/OFF制御 ( ) 2. 動力設備 (1) 既設等との取り合い ( ) 無し ・ 盤改造 ・ 配線接続 ・ その他 ( ) (2) 機器類 ・ 分電盤、制御盤等 ・ その他 ( ) (3) 負荷設備 ・ 給水 ・ 排水 ・ 消火 ・ 空調 ・ 換気 ・ 排煙 ・ 昇降機 ( ) ・ その他 ( ) (4) 負荷設備への接続 図面に特記明示がない場合、負荷設備への接続は本工事とする。 (5) 電動機等の接地 ・ 専用接地 ・ 金属管接地 (7.5kW以下) (6) 電動機等の方車の改善 本工事に含む制御盤には各負荷に力率改善コンデンサを取り付ける。 (7) 保護継電器 過負荷、欠相、逆相継電器は熱動式とする。 (8) 分電盤、制御盤等 1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事情）に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上（キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。）とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は壁内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 7) 電流計は赤指針付（定格電流指示）とする。</td> </tr> <tr> <td>3. 雷保護設備</td> <td>(1) 避雷針 1) 受雷部 ●突針 ・ 棟上導体 ・ 笠木等の別途施工物 2) 避雷導線 ・ 引下導線 ・ 建築構造体利用 3) 接地極 ●接地極埋設 ・ 建築構造体利用 ・ 測定用補助接地極 4) 接地抵抗の測定 ① 測定方法 ・ 電位差計方式 ・ 電圧降下法 ② 測定回数 ・ 3回 ・ ( ) 回 5) 接地極埋設 接地には接地極埋設を施工し、接地極の位置がわかるようにする。</td> </tr> <tr> <td>【受電設備】</td> <td>5. 受電設備 高圧以外の受電設備については、本項によらず別図による。</td> </tr> <tr> <td>(1) 既設等との取り合い</td> <td>( ) 無し ・ 改造 (機器取替、追加等を含む) ・ 増設 ・ 配線接続 ・ その他 ( )</td> </tr> <tr> <td>(2) 機器類</td> <td>・ 盤類 ・ 交流遮断器 ・ 断路器 ・ 避雷器 ・ 負荷開閉器 ・ 変圧器 ・ 進相コンデンサ ・ 直列リアクトル ・ 配線用遮断器 ・ 電磁接触器 ・ その他 ( )</td> </tr> <tr> <td>(3) 盤類</td> <td>1) 形式 ・ キュービクル式配電盤 (JIS Q 4620) ・ 高圧スイッチギア (JIS Q 425) ( ・ CX ・ CW ・ PW ・ MW ) ( ) 2) 中通路 ・ 有 ・ 無 ( ) 3) 特記事項 ( )</td> </tr> <tr> <td>(4) 交流遮断器</td> <td>真空遮断器 (VCB) ① 操作方式 ・ 手動ばね操作 ・ 電動ばね操作 ・ 電磁操作 ② 引外し方式 ・ 電流引外し ・ コンデンサ引外し ・ 直流電圧引外し</td> </tr> </tbody> </table>	項目	特記事項	<b>【電力設備】</b>		1. 電灯設備	(1) 電灯設備 (1) 既設等との取り合い ( ) 無し ・ 盤改造 ●配線接続 ・ 電源供給 ・ その他 ( )	(2) 機器類	●一般照明器具 ・ 照明制御装置 ・ 外灯 (単独設置) ・ コンセント等 ・ 分電盤、制御盤等) ・ その他 ( )	(3) 一般照明器具	1) 形式 ●公称型 ●一般型 2) 灯具 ●Hf蛍光灯 ●LED灯 ・ HID灯 ・ その他 ( ) 3) 用途 ●屋内用 ●屋外用 4) 環境 ●普通地域 ●塩害地域 5) 照明器具は、認証書又は認定書、試験成績書を提出すること。 6) 電光灯の点灯管にローランプを使用するものは、電子点灯管に交換するものとする。 7) HIDランプを使用する下面開放形器具及びランプの破損による飛散を防止する恐れのある場合は、飛散防止を施したランプとする。	(4) 照明制御装置	1) センサ類 ・ 明るさセンサ ・ 人感センサ ・ タイマ ・ 調光スイッチ ( ) 2) 調光方式 ・ 連続調光 ・ 段階調光 ・ ON/OFF制御 ( ) 2. 動力設備 (1) 既設等との取り合い ( ) 無し ・ 盤改造 ・ 配線接続 ・ その他 ( ) (2) 機器類 ・ 分電盤、制御盤等 ・ その他 ( ) (3) 負荷設備 ・ 給水 ・ 排水 ・ 消火 ・ 空調 ・ 換気 ・ 排煙 ・ 昇降機 ( ) ・ その他 ( ) (4) 負荷設備への接続 図面に特記明示がない場合、負荷設備への接続は本工事とする。 (5) 電動機等の接地 ・ 専用接地 ・ 金属管接地 (7.5kW以下) (6) 電動機等の方車の改善 本工事に含む制御盤には各負荷に力率改善コンデンサを取り付ける。 (7) 保護継電器 過負荷、欠相、逆相継電器は熱動式とする。 (8) 分電盤、制御盤等 1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事情）に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上（キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。）とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は壁内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 7) 電流計は赤指針付（定格電流指示）とする。	3. 雷保護設備	(1) 避雷針 1) 受雷部 ●突針 ・ 棟上導体 ・ 笠木等の別途施工物 2) 避雷導線 ・ 引下導線 ・ 建築構造体利用 3) 接地極 ●接地極埋設 ・ 建築構造体利用 ・ 測定用補助接地極 4) 接地抵抗の測定 ① 測定方法 ・ 電位差計方式 ・ 電圧降下法 ② 測定回数 ・ 3回 ・ ( ) 回 5) 接地極埋設 接地には接地極埋設を施工し、接地極の位置がわかるようにする。	【受電設備】	5. 受電設備 高圧以外の受電設備については、本項によらず別図による。	(1) 既設等との取り合い	( ) 無し ・ 改造 (機器取替、追加等を含む) ・ 増設 ・ 配線接続 ・ その他 ( )	(2) 機器類	・ 盤類 ・ 交流遮断器 ・ 断路器 ・ 避雷器 ・ 負荷開閉器 ・ 変圧器 ・ 進相コンデンサ ・ 直列リアクトル ・ 配線用遮断器 ・ 電磁接触器 ・ その他 ( )	(3) 盤類	1) 形式 ・ キュービクル式配電盤 (JIS Q 4620) ・ 高圧スイッチギア (JIS Q 425) ( ・ CX ・ CW ・ PW ・ MW ) ( ) 2) 中通路 ・ 有 ・ 無 ( ) 3) 特記事項 ( )	(4) 交流遮断器	真空遮断器 (VCB) ① 操作方式 ・ 手動ばね操作 ・ 電動ばね操作 ・ 電磁操作 ② 引外し方式 ・ 電流引外し ・ コンデンサ引外し ・ 直流電圧引外し	<p>(5) 断路器 1) 形式 ・ 3極単投 ・ 単極単投 (避雷器用に限る) 2) 操作方式 ・ 遠方手動操作 ・ フック棒操作 (避雷器用に限る)</p> <p>(6) 負荷開閉器 1) 形式 ・ 配電盤用 ・ 引込柱用 ・ 地引込用 2) 配電盤用 ① 操作方式 ・ フック棒操作 ・ 遠方手動操作 ・ 電動操作 ② 取付位置 ・ 有 (ストライク付き) ・ 無 ③ 引外し装置 ・ ストライク引外し ・ 電圧引外し ・ 無 ④ 本体及び制御箱の材質 ・ ステンレス製 ・ 鋼製 ⑤ 保護装置 ・ 過電流警勢トリップ付地絡方向継電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする ⑥ 遮断器 ・ 内蔵 ・ 無 ⑦ 接地端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 3) 引込柱用 ① 本体及び制御箱の材質 ・ ステンレス製 ・ 鋼製 ② 保護装置 ・ 過電流警勢トリップ付地絡方向継電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする ③ 遮断器 ・ 内蔵 ・ 無 4) 地中引込用 保護装置は、過電流警勢トリップ付地絡方向継電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする</p> <p>(7) 変圧器 1) 形式 ・ 油入 ・ モールド 2) 設置方式 ・ 屋外型 ・ 屋内型 3) ダイヤル温度計 油入 500kVA以上、モールド1500kVA以上の場合は必須とする</p> <p>(8) 進相コンデンサ 1) 絶縁方式 ・ 油入 ・ モールド ・ ガス入 2) その他 ① 内部異常を検知して動作する保護接点を設けること ② 放電装置を付属又は内蔵すること</p> <p>(9) 直列リアクトル (進相コンデンサ用) 1) 絶縁方式 ・ 油入 ・ モールド 2) 容量 ・ 6% ・ 1.3% 3) その他 内部異常を検知して動作する警報接点を設けること</p> <p>(10) 設備不平衡 高圧受電の三相3線式における不平衡の制限は、設備不平衡率が30%以下となるようにする。</p> <p>(11) キュービクル等 1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事情）に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上（キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。）とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は壁内の作業のしやすい場所に設ける。</p> <p>(12) 基礎 ① 施工 ( ・ 21N/mm<sup>2</sup> ・ 18N/mm<sup>2</sup>) ・ 別途工事 ・ 既設利用 ・ その他 ( ) ② 基礎 ( ・ 21N/mm<sup>2</sup> ・ 18N/mm<sup>2</sup>) ・ 別途工事 ・ 既設利用 ・ その他 ( )</p> <p>(13) 配線ピット及び蓋 1) 施工 ・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 既設利用 ・ その他 ( ) 2) ピット蓋の加工が必要な場合は、本工事で行うこと。</p> <p>(14) 設置場所 ・ 屋内 ・ 屋外 ( ・ 地上 ・ 屋上)</p> <p><b>【電力貯蔵設備】</b></p> <p>6. 直流電源設備 (1) 用途 ( ) ・ 非常用照明器具電源 ・ 受電設備制御電源 ・ その他 ( ) (2) 容量 ( ) kVA (3) 整流装置 1) 出力電圧 直流 ( ・ 12V ・ 24V ・ 48V ・ ( ) V ) 2) 整流装置は、蓄電池を充電するための電流並びに監視及び制御等で消費される電流を考慮して選定する。</p> <p>(4) 蓄電池 1) 種類 ・ 鉛蓄電池 ( ・ HS ・ MSE ・ 長寿命形MSE ) ・ アルカリ蓄電池 ( ・ AH ・ AMH ) ・ その他 ( ) 2) 最低蓄電池温度 ・ 5℃ ・ 15℃ ・ 25℃ ・ -5℃ ・ ( ) ℃</p> <p>7. 交流無停電電源設備 (1) 用途 ( ) (2) 容量 ( ) kVA (3) 給電方式 ・ 常時インバータ給電方式 ・ ラインインタラクティブ方式 ・ 常時商用給電方式 ( ) ・ その他 ( ) (4) 整流装置等 整流装置、インバータ装置は、接続する負荷の特性を配慮し選定する。 (5) 蓄電池 1) 種類 ・ 鉛蓄電池 ( ・ HS ・ MSE ・ 長寿命形MSE ) ・ アルカリ蓄電池 ( ・ AH ・ AMH ) ・ その他 ( ) 2) 最低蓄電池温度 ・ 5℃ ・ 15℃ ・ 25℃ ・ -5℃ ・ ( ) ℃ 停電補償時間 ( )</p> <p>8. 電力平準化蓄電設備 (1) 用途 ( ) (2) 機能 ・ ビークシフト機能 ・ ビークカット機能 ・ 商用停電時のバックアップ機能 (3) 蓄電池 1) 種類 ・ リチウム二次電池 ・ 鉛蓄電池 ・ ニッケル水素蓄電池 2) 容量 ( ) (3) 期待寿命 ( ) (4) 充放電回数 ( ) (5) 放電時間 ( ) (6) 補償額 ・ 製造者標準 ・ その他 ( )</p> <p>(4) 性能 1) 交流入出力電圧方式 ・ 三相3線式 ( ・ 200V ・ ( ) V ) ・ 単相3線式 ( 200/100V ) ・ 単相2線式 ( ・ 200V ・ 100V ・ ( ) V ) 2) 自立運転 ・ する ・ しない ( ) 3) 系統連携 ・ する ・ しない ( )</p> <p>(5) 計測表示 遠方監視用接点 ・ 設けない ・ 設ける (詳細は別図による)</p> <p>(6) 状態・警報表示 移相用の遠方監視用接点の搭載を必須とする。</p> <p>9. 分散電源 仕様・仕様/仕様/仕様 仕様詳細は別図による。</p> <p><b>【発電設備】</b></p> <p>10. 燃料式発電設備 (1) 用途 1) 用途 ・ 防災電源専用 (防災認定品) ・ 防災電源兼用 (防災認定品) ・ 一般用 2) 区分 ・ 常用 ・ 非常用 ( ) ・ 屋内 ・ 屋外 ( ・ 普通地域 ・ 塩害地域) 3) 機器 ・ 発電装置 ・ 燃料槽 ・ 給油ボックス ・ 燃料移送ポンプ ・ その他 ( ) (4) 発電装置 1) 種類 ・ ディーゼル発電装置 ・ ガスエンジン発電装置 ・ ガスタービン発電装置 2) 形式 ・ 簡易形 ・ オープン式 ・ キュービクル式 ( ・ 8.5dB(A)/1m ・ 7.5dB(A)/1m ) 3) 始動時間 (停電検出後) ・ 10秒以内 ・ 40秒以内 ・ ( ) 秒以内 4) 連続運転時間 ・ 2時間以上 ・ 10時間以上 ・ 24時間以上 ・ 72時間以上 ( ) (5) 発電機 ① 電圧方式 ・ 三相3線式 ( ・ 6.6kV ・ 200V ・ ( ) V ) ・ 単相3線式 ( 200/100V ) ・ 単相2線式 ( ・ 200V ・ 100V ・ ( ) V ) ② 定格周波数 60Hz ③ 定格出力 ( ) kVA ④ 定格電圧 ( ) V ⑤ 冷却方式 ① 冷却方式 ・ ラジエーター方式 ・ 冷却水循環式 ・ その他 ( ) ② 冷却方式 ・ ラジエーター方式 ・ 冷却水循環式 ・ その他 ( )</p> <p>(5) 燃料 1) 種類 ・ 軽油 ・ 灯油 ・ A重油 ・ その他 ( ) 2) 引渡時燃料 ・ 満タン ・ 指定なし ・ その他 ( )</p> <p>(6) 燃料槽 1) 形式及び容量 ・ バックアップ搭載タンク ( ) リットル ・ 主燃料槽 ( ) リットル 2) 燃料小出槽 ・ 燃料小出槽 ( ) リットル ・ 屋内型 ( ・ ステンレス製 ・ 鋼製 ) 3) 主燃料槽 ・ 屋外型 ( ・ ステンレス製 ) ・ 屋内型 ( ・ ステンレス製 ・ 鋼製 ) ① 設置場所 ・ 屋内 ・ 屋外 (地上) ・ 地下埋設 ( ・ タンク室内埋設 ・ 直埋設 ) ② 形式 ・ 二重殻タンク ・ 単殻タンク ・ その他 ( ) ③ 設置工事 ・ 本工事 ・ 別途工事 ・ その他 ( ) ④ タンク室工事 ・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 既設利用 ・ その他 ( )</p> <p>(7) 給油ボックス 1) 材質 ・ ステンレス製 ・ 鋼製 ・ その他 ( ) 2) 油量指示計 ・ 有 ・ 無 ( )</p> <p>(8) 燃料移送ポンプ 1) 電動ポンプ ・ 歯車ポンプ ・ 油中ポンプ 2) 手動ポンプ (ウイングポンプ) ・ 有 ・ 無 3) 電動ポンプ水没防止カバー ・ 有 ・ 無</p> <p>(9) 基礎 ・ 本工事 ( ・ 21N/mm<sup>2</sup> ・ 18N/mm<sup>2</sup>) ・ 別途工事 ・ 既設利用 ・ その他 ( )</p>	<p>11. 太陽光発電設備 (1) 機器 ・ 太陽電池アレイ ・ パワーコンディショナ ・ 系統連系保護装置 ・ 接続箱 ・ 情報処理装置 ・ その他 ( ) (2) 太陽電池アレイ 1) 発電能力 公称出力 ( ) kW 2) 架台は、JIS C 8956「太陽電池アレイ用支持設計標準」による。 (3) パワーコンディショナ及び系統連系保護装置 1) 出力電圧方式 ・ 三相3線式 ( ・ 200V ・ ( ) V ) ・ 単相3線式 ( 200/100V ) ・ 単相2線式 ( ・ 200V ・ 100V ・ ( ) V ) 2) 定格周波数 60Hz 3) 設置場所 ・ 屋内 ・ 屋外 ・ その他 ( ) 4) 設置方式 ・ 壁掛型 ・ 自立型 ・ その他 ( ) 5) 機能 ・ 系統連系 ( ・ 高圧連系 ・ みなし低圧連系 ・ 低圧連系 ) ・ 自立運転 ・ その他 ( ) (6) 系統連系技術要件は、関係法令や技術基準等を遵守し、電気事業者と十分協議する。</p> <p>(4) 情報処理装置 1) 装置 ・ データ処理装置 ・ データ表示装置 ・ 気温計 ・ 日射計 ( ) ・ その他 ( ) 2) 記録作成 ・ 日報 ・ 月報 ・ 年報 ( ) 仕様詳細は「太陽光発電設備特記仕様書」による。</p> <p>12. 風力発電設備 (1) 機器 ・ 風車発電装置 ・ 制御装置 ・ 系統連系保護装置 ・ 支持構造物 ・ 情報処理装置 ・ その他 ( ) (2) 風車発電装置 発電能力 定格出力 ( ) kW (3) 制御盤 1) 出力電圧方式 ・ 三相3線式 ( ・ 200V ・ ( ) V ) ・ 単相3線式 ( 200/100V ) ・ 単相2線式 ( ・ 200V ・ 100V ・ ( ) V ) 2) 定格周波数 60Hz 3) 設置場所 ・ 屋内 ・ 屋外 ・ その他 ( ) 4) 設置方式 ・ 壁掛型 ・ 自立型 ・ その他 ( ) 5) 機能 ・ 系統連系 ( ・ 高圧連系 ・ みなし低圧連系 ・ 低圧連系 ) ・ 自立運転 ・ その他 ( ) (6) 系統連系技術要件は、関係法令や技術基準等を遵守し、電気事業者と十分協議する。自重、積載荷重、積雪、振動、衝撃等に対し、安全が確保されたものとする。</p> <p>(4) 支持構造物 1) 装置 ・ データ処理装置 ・ データ表示装置 ・ 風速計 ・ 風向計 ・ 気温計 ( ) ・ その他 ( ) 2) 記録作成 ・ 日報 ・ 月報 ・ 年報 ( ) 仕様詳細は「風力発電設備特記仕様書」による。</p> <p>13. その他発電設備 ( ) の仕様詳細は別図による。</p> <p><b>【通信・情報設備】</b></p> <p>14. 構内情報通信網設備 (1) インターフェース 1) LAN ・ 1000BASE-T ・ 無線LAN ( ) ・ その他 ( ) 2) WAN ( ) (2) 機器 ・ スイッチ ・ ルータ ・ メディアコンバータ ・ ファイアウォール ・ 時刻同期装置 ・ ネットワーク管理装置 ・ 機器収納ラック ・ アウトレット ・ その他 ( ) 各機器の仕様詳細は別図による。</p> <p>(3) ケーブル 1) 幹線系 ・ UTP ・ 光ファイバ ・ その他 ( ) 2) 支線系 ・ UTP ・ 光ファイバ ・ その他 ( ) 3) フロア系 ・ UTP ・ その他 ( )</p> <p>(4) アウトレット ・ ローテーションアウトレット ( ・ 固定型 ・ 上下動型 (アップ式を含む) ) ・ 壁コンセント ・ その他 ( )</p> <p>15. 構内交換設備 (1) 機器 ・ 交換装置 ・ 電話機 ・ 端子盤類 ・ アウトレット ・ その他 ( ) (2) 交換装置 1) 種類 ・ 構内交換装置 ( ・ デジタルPBX ・ IP-PBX ・ VoIPサーバ ) ・ ボタン電話装置 ・ その他 ( ) 2) 局線応答方式 ・ 局線中継台方式 ・ 分散中継台方式 ・ デイヤルイン方式 ・ デイヤルアウト方式 ・ デイヤルインダイヤル方式 ・ デイヤルインライン方式 ・ その他 ( ) 3) 保安用接地 ・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 既設利用 ・ その他 ( ) 4) 本配電盤 (MDF) ・ 自立フレーム ( ・ 片面形 ・ 両面形 ) ・ 交換機一体型 ・ 壁掛型 ( ) 電源装置 ① 形式 ・ 一体形 ・ 一体形 ・ その他 ( ) ② 停電補償時間 ・ 30分以上 ・ ( ) 以上 (3) 電話機 ・ 一般電話機 ・ 多機能電話機 ・ IP電話機 ・ デジタルコードレス電話機 (PHS方式) ・ IPコードレス電話機 (無線LAN方式) ・ その他 ( ) (4) 端子盤類 1) 端子盤 ・ 中継端子盤 (IDF) ・ 室内端子盤 2) 中継端子盤には未装設率の20%以上、室内端子盤には10P以上の接続端子板スペースを見込む。</p> <p>(5) アウトレット ・ ローテーションアウトレット ( ・ 固定型 ・ 上下動型 (アップ式を含む) ) ・ 壁コンセント ・ その他 ( )</p> <p>16. 情報表示設備 (1) 設備 ・ マルチサイン装置 ・ 出退表示装置 ・ 時刻表示装置 ・ 警報等表示装置 (2) マルチサイン装置 1) 機器 ・ 操作制御部 ・ 情報表示部 ・ その他 ( ) 2) 通信方式 ・ TCP/IP ・ その他 ( ) 3) 操作制御部 イメージキャッチャ ・ 有 ・ 無 4) 情報表示部 発光ダイオード式 ・ 液晶式 ・ その他 ( ) (3) 出退表示装置 1) 機器 ・ 制御装置 ・ 出退表示部 ・ その他 ( ) 2) 出退表示部 発光ダイオード式 ・ 液晶式 ・ その他 ( ) (4) 時刻表示装置 1) 機器 ・ 親時計 ・ 子時計 ・ 電源装置 ・ 単独時計 ・ その他 ( ) 2) 親時計 ① 形式 ・ 壁掛型 ・ 自立型 ・ ラックマウント型 (ラック架組込) ② 時刻補正機能 ・ FM放送受信 ( ・ アンテナ設置 ・ 既設利用 ) ・ 長波標準電圧受信 ( ・ アンテナ設置 ・ 既設利用 ) ③ 回線数 ( ・ 回線 ) ④ 機能 ・ 電子ディスプレイ ( ・ 曲 ・ 時報 ・ プログラムタイマ (引渡し時は機器の説明及びプログラムの入力を行うこと。 ) ) 3) 子時計 ① 方式 ・ アナログ式 ・ デジタル式 ② 設置場所 ・ 屋内 ・ 屋外 ・ その他 ( ) ③ 運転時間 ( ・ 10時間以上 ・ ( ) 時間 ) 4) 電源装置 ・ アナログ式 ( ・ デジタル式 ) 5) 単独時計 ① 方式 ・ アナログ式 ・ デジタル式 ② 設置場所 ・ 屋内 ・ 屋外 ・ その他 ( ) ③ 時刻補正機能 ・ 有 ( ) (5) 警報等表示装置 1) 機器 ・ 表示部 ・ 検出装置 ・ その他 ( ) 2) 表示部 ① 表示方式 ・ 表示窓式 ・ その他 ( ) ② 施工 ・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 既設利用 ③ 検出方式 ・ 電磁 ・ 解電圧検出 ・ その他 ( ) 3) 検出装置 ① 検出方式 ・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 既設利用 ・ その他 ( ) ② 施工 ・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 既設利用 ・ その他 ( ) 4) 図面に特記明示がない場合、検出装置への接続は本工事とする。</p>
項目	特記事項																											
<b>【電力設備】</b>																												
1. 電灯設備	(1) 電灯設備 (1) 既設等との取り合い ( ) 無し ・ 盤改造 ●配線接続 ・ 電源供給 ・ その他 ( )																											
(2) 機器類	●一般照明器具 ・ 照明制御装置 ・ 外灯 (単独設置) ・ コンセント等 ・ 分電盤、制御盤等) ・ その他 ( )																											
(3) 一般照明器具	1) 形式 ●公称型 ●一般型 2) 灯具 ●Hf蛍光灯 ●LED灯 ・ HID灯 ・ その他 ( ) 3) 用途 ●屋内用 ●屋外用 4) 環境 ●普通地域 ●塩害地域 5) 照明器具は、認証書又は認定書、試験成績書を提出すること。 6) 電光灯の点灯管にローランプを使用するものは、電子点灯管に交換するものとする。 7) HIDランプを使用する下面開放形器具及びランプの破損による飛散を防止する恐れのある場合は、飛散防止を施したランプとする。																											
(4) 照明制御装置	1) センサ類 ・ 明るさセンサ ・ 人感センサ ・ タイマ ・ 調光スイッチ ( ) 2) 調光方式 ・ 連続調光 ・ 段階調光 ・ ON/OFF制御 ( ) 2. 動力設備 (1) 既設等との取り合い ( ) 無し ・ 盤改造 ・ 配線接続 ・ その他 ( ) (2) 機器類 ・ 分電盤、制御盤等 ・ その他 ( ) (3) 負荷設備 ・ 給水 ・ 排水 ・ 消火 ・ 空調 ・ 換気 ・ 排煙 ・ 昇降機 ( ) ・ その他 ( ) (4) 負荷設備への接続 図面に特記明示がない場合、負荷設備への接続は本工事とする。 (5) 電動機等の接地 ・ 専用接地 ・ 金属管接地 (7.5kW以下) (6) 電動機等の方車の改善 本工事に含む制御盤には各負荷に力率改善コンデンサを取り付ける。 (7) 保護継電器 過負荷、欠相、逆相継電器は熱動式とする。 (8) 分電盤、制御盤等 1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事情）に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上（キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。）とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は壁内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 7) 電流計は赤指針付（定格電流指示）とする。																											
3. 雷保護設備	(1) 避雷針 1) 受雷部 ●突針 ・ 棟上導体 ・ 笠木等の別途施工物 2) 避雷導線 ・ 引下導線 ・ 建築構造体利用 3) 接地極 ●接地極埋設 ・ 建築構造体利用 ・ 測定用補助接地極 4) 接地抵抗の測定 ① 測定方法 ・ 電位差計方式 ・ 電圧降下法 ② 測定回数 ・ 3回 ・ ( ) 回 5) 接地極埋設 接地には接地極埋設を施工し、接地極の位置がわかるようにする。																											
【受電設備】	5. 受電設備 高圧以外の受電設備については、本項によらず別図による。																											
(1) 既設等との取り合い	( ) 無し ・ 改造 (機器取替、追加等を含む) ・ 増設 ・ 配線接続 ・ その他 ( )																											
(2) 機器類	・ 盤類 ・ 交流遮断器 ・ 断路器 ・ 避雷器 ・ 負荷開閉器 ・ 変圧器 ・ 進相コンデンサ ・ 直列リアクトル ・ 配線用遮断器 ・ 電磁接触器 ・ その他 ( )																											
(3) 盤類	1) 形式 ・ キュービクル式配電盤 (JIS Q 4620) ・ 高圧スイッチギア (JIS Q 425) ( ・ CX ・ CW ・ PW ・ MW ) ( ) 2) 中通路 ・ 有 ・ 無 ( ) 3) 特記事項 ( )																											
(4) 交流遮断器	真空遮断器 (VCB) ① 操作方式 ・ 手動ばね操作 ・ 電動ばね操作 ・ 電磁操作 ② 引外し方式 ・ 電流引外し ・ コンデンサ引外し ・ 直流電圧引外し																											
特記事項	工事名称 津市サンデルタ香洲洲外装改修工事	図面名称 電気設備工事特記仕様書 2	作成年月日 縮尺 NS	一級建築士事務所 大森建築設計事務所 三重県津市久藤ヶ丘町2604-5 管理建築士 大森 幸路	図面番号 E-02																							

17. 映像・音響設備	<p>(1) 設備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>映像機器</li> <li>音響機器</li> <li>操作装置</li> </ul> <p>(2) 映像機器</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>表示機器 <ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクタ（・前面投射式 ・背面投射式）</li> <li>スクリーン（・反射マット形 ・反射ビーズ形 ・反射ストライプ形 ・透過形）</li> <li>その他（ ・スクリーン巻上装置（・電動式 ・手動式） ・液晶ディスプレイ）</li> </ul> </li> <li>付属機器 <ul style="list-style-type: none"> <li>録音再生装置（・HDD ・Blu-ray/DVD ・その他（ ））</li> <li>テレビチューナー（・UHF ・BS ・CS ・その他（ ））</li> <li>カメラ ・パソコン</li> <li>その他の機器（ ）</li> </ul> </li> </ol> <p>(3) 音響機器</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>増幅器 <ol style="list-style-type: none"> <li>出力（ ）W</li> <li>方式（・ステレオ ・モノラル）</li> <li>出力インピーダンス（・Lo形 ・Hi形）</li> </ol> </li> <li>付属機器 <ul style="list-style-type: none"> <li>グラフィックイコライザー ・オーディオミキサー ・電源制御器</li> <li>録音再生装置（・CD ・メモリオートディオ ・その他（ ））</li> <li>ラジオチューナー（・FM ・AM ・その他（ ））</li> <li>有線マイクロホン</li> <li>無線マイクロホン（・電波式（・アナログ ・デジタル） ・赤外線式）</li> <li>その他の機器（ ）</li> </ul> </li> <li>スピーカ <ul style="list-style-type: none"> <li>天井分散配置方式 ・集中配置方式 ・併用方式 ・その他（ ）</li> </ul> </li> </ol> <p>(4) 操作装置</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>形状 ・卓型 ・キャビネットラック型 ・その他（ ）</li> <li>設置 ・固定式 ・可動式 ・その他（ ）</li> </ol>
18. 拡声設備	<p>(1) 機器</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>増幅器</li> <li>付属機器</li> <li>操作装置</li> <li>スピーカ</li> <li>その他（ ）</li> </ul> <p>(2) 増幅器</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>非常放送兼用（仕様は非常放送装置を参照）</li> <li>専用出力（ ）W</li> <li>出力インピーダンス（・Lo形 ・Hi形）</li> </ul> <p>(3) 付属機器</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オーディオミキサー ・リモコンマイク ・電源制御器</li> <li>録音再生装置（・CD ・メモリオートディオ ・その他（ ））</li> <li>アナウンスレコーダ（・チャイム ・独自メッセージ ・プログラムタイマ）</li> <li>その他（ ）</li> <li>有線マイクロホン</li> <li>無線マイクロホン（・電波式（・アナログ ・デジタル） ・赤外線式）</li> <li>ラジオチューナー（・FM ・AM ・その他（ ））</li> <li>スピーカ切替装置 ・その他の機器（ ）</li> </ul> <p>(4) 操作装置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>卓型 ・キャビネットラック型 ・壁掛型 ・その他（ ）</li> </ul> <p>(5) スピーカ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>非常放送兼用（仕様は非常放送装置を参照）</li> <li>専用接続 ・1W ・3W（ ）W</li> <li>インピーダンス（・Lo形 ・Hi形）</li> <li>設置場所 ・屋内 ・屋外 ・その他（ ）</li> </ul>
19. 誘導支援設備	<p>(1) 設備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音声誘導装置</li> <li>インターホン</li> <li>トイレ等呼出装置</li> </ul> <p>(2) 音声誘導装置</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>検出方式 ・磁気式 ・無線式 ・画像認識式 ・その他（ ）</li> <li>設置場所 ・屋外（防雨形） ・屋内</li> <li>機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>自動火災報知設備より火災報知信号を受信した場合停止する</li> <li>タイムスケジュールにより停止及び開始を可能とする</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>機器 <ul style="list-style-type: none"> <li>制御装置 ・送信機 ・受信機 ・その他（ ）</li> <li>制御装置 ・壁掛型 ・卓上型 ・複合型 ・その他（ ）</li> <li>送信機 ・壁掛型 ・卓上型 ・増込型 ・その他（ ）</li> <li>受信機 ・スピーカー式 ・イヤホン式 ・その他（ ）</li> </ul> </li> </ol> <p>(3) インターホン</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>用途 <ul style="list-style-type: none"> <li>内部受付用</li> <li>外部受付用</li> <li>夜間訪問用</li> <li>身体障害者用</li> <li>保守用</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>音声通話</li> <li>映像モニタ</li> </ul> </li> <li>通話網 <ul style="list-style-type: none"> <li>親子式</li> <li>相互式</li> <li>複合式</li> </ul> </li> <li>通話方式 <ul style="list-style-type: none"> <li>同時通話式</li> <li>交互通話式</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>機器 <ul style="list-style-type: none"> <li>親機 ・子機 ・その他（ ）</li> </ul> </li> <li>形状 <ul style="list-style-type: none"> <li>壁掛型 ・卓上型 ・複合型 ・その他（ ）</li> <li>送受信器 ・電話機形 ・マイク形 ・その他（ ）</li> </ul> </li> <li>子機 <ul style="list-style-type: none"> <li>形状 <ul style="list-style-type: none"> <li>壁掛型 ・卓上型 ・増込型 ・その他（ ）</li> <li>送受信器 ・電話機形 ・マイク形 ・その他（ ）</li> </ul> </li> </ul> </li> </ol> <p>(4) トイレ等呼出装置</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>用途 <ul style="list-style-type: none"> <li>トイレ呼出</li> <li>受付呼出</li> <li>非常通報</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>機器 <ul style="list-style-type: none"> <li>親機 ・親機 ・呼出スイッチ ・警報装置 ・その他（ ）</li> <li>親機 ・壁掛型 ・卓上型 ・複合型 ・その他（ ）</li> <li>呼出スイッチ <ul style="list-style-type: none"> <li>押ボタン式</li> <li>引紐式</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>警報装置 <ul style="list-style-type: none"> <li>光</li> <li>音声</li> <li>ブザー</li> <li>ベル</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> </ul> </li> </ol>
20. テレビ共同受信設備	<p>(1) 受信放送</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>UHF ・BS ・CS ・FM ・CATV ・その他（ ）</li> </ul> <p>(2) 機器</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>増幅器</li> <li>混合器</li> <li>分波器</li> <li>分岐器</li> <li>分配器</li> <li>機器収容箱</li> <li>アンテナ</li> <li>その他（ ）</li> </ul> <p>(3) アンテナ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>放送 <ul style="list-style-type: none"> <li>UHF ・BS ・CS ・FM ・その他（ ）</li> </ul> </li> <li>マスト <ul style="list-style-type: none"> <li>地上用（・壁面取付 ・自立 ・既設利用 ・その他（ ））</li> <li>衛星用（・壁面取付 ・自立 ・既設利用 ・その他（ ））</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>自立用基礎 <ul style="list-style-type: none"> <li>本工事</li> <li>別途工事</li> <li>既設利用</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> </ol>
21. テレビ電波障害防除設備	<p>(1) 対象戸数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>（ ）戸</li> </ul> <p>(2) 機器</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>増幅器</li> <li>混合器</li> <li>分波器</li> <li>分岐器</li> <li>分配器</li> <li>機器収容箱</li> <li>アンテナ</li> <li>ヘッドエンド装置</li> <li>その他（ ）</li> </ul> <p>(3) アンテナ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>放送 <ul style="list-style-type: none"> <li>UHF ・BS ・CS ・FM ・その他（ ）</li> </ul> </li> <li>マスト <ul style="list-style-type: none"> <li>地上用（・壁面取付 ・自立 ・既設利用 ・その他（ ））</li> <li>衛星用（・壁面取付 ・自立 ・既設利用 ・その他（ ））</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>自立用基礎 <ul style="list-style-type: none"> <li>本工事</li> <li>別途工事</li> <li>既設利用</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> </ol>
22. 監視カメラ設備	<p>(1) 機器</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カメラ</li> <li>モニタ装置</li> <li>録画装置</li> <li>ハウジング</li> <li>復旧装置</li> <li>その他（ ）</li> </ul> <p>(2) 伝送方式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アナログ伝送方式</li> <li>ネットワーク伝送方式</li> <li>その他（ ）</li> </ul> <p>(3) カメラ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>色方式 <ul style="list-style-type: none"> <li>白黒</li> <li>カラー</li> </ul> </li> <li>駆動方式 <ul style="list-style-type: none"> <li>固定式</li> <li>遠隔可動式</li> </ul> </li> <li>撮影条件 <ul style="list-style-type: none"> <li>昼間</li> <li>薄明時</li> <li>夜間</li> </ul> </li> <li>設置場所 <ul style="list-style-type: none"> <li>屋内</li> <li>屋外</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> </ol> <p>(4) モニタ装置</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>色方式 <ul style="list-style-type: none"> <li>白黒</li> <li>カラー</li> </ul> </li> <li>モニタ <ul style="list-style-type: none"> <li>液晶</li> <li>PC</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>設置 <ul style="list-style-type: none"> <li>自立型</li> <li>卓上型</li> <li>壁掛型</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> </ol> <p>(5) 録画装置</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>記憶媒体 <ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル記憶媒体とする（ ）</li> </ul> </li> <li>記憶容量 <ul style="list-style-type: none"> <li>（ ）</li> </ul> </li> <li>時刻補正機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>FM放送受信（・アンテナ設置 ・既設利用）</li> <li>長波標準電波受信（・アンテナ設置 ・既設利用）</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> </ol>

23. 駐車場管理設備	<p>(1) 機器</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>管制盤</li> <li>検知器</li> <li>信号灯</li> <li>警報灯</li> <li>発券機</li> <li>カーゲート</li> <li>カードリーダー</li> <li>その他（ ）</li> </ul> <p>(2) 管制盤</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>入場管理</li> <li>退場管理</li> <li>発券管理</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>形式 <ul style="list-style-type: none"> <li>自立型</li> <li>壁掛型</li> <li>卓上型</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> </ol> <p>(3) 検知器</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>方式 <ul style="list-style-type: none"> <li>赤外線式</li> <li>超音波センサ式</li> <li>ループコイル式</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>検知器外箱 <ul style="list-style-type: none"> <li>ステンレス製</li> <li>鋼製</li> </ul> </li> <li>検出対象車両 <ul style="list-style-type: none"> <li>四輪自動車以上</li> </ul> </li> <li>検出対象速度 <ul style="list-style-type: none"> <li>2～40 km/h</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> </ol> <p>(4) 信号灯・警報灯</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>方式 <ul style="list-style-type: none"> <li>発光ダイオード式</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>警報音 <ul style="list-style-type: none"> <li>音声</li> <li>ブザー</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>材質 <ul style="list-style-type: none"> <li>ステンレス製</li> <li>鋼製</li> </ul> </li> </ol> <p>(5) 発券機</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>発行券 <ul style="list-style-type: none"> <li>磁気式</li> <li>ICカード式</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>発券方式 <ul style="list-style-type: none"> <li>入場時発行</li> <li>事前発行</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> </ol> <p>(6) カーゲート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バー式（・グラスファイバー製 ・アルミ製 ・鋼製（防錆処理））</li> <li>その他（ ）</li> </ul>
24. 防犯・入退室管理設備	<p>(1) 設備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>防犯装置</li> <li>入退室管理装置</li> </ul> <p>(2) 防犯装置</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>機器 <ul style="list-style-type: none"> <li>センサ <ul style="list-style-type: none"> <li>制御装置</li> <li>認識部</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>センサ <ul style="list-style-type: none"> <li>パッシブセンサ</li> <li>赤外線センサ</li> <li>画像センサ</li> <li>マグネットセンサ</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>アラーム装置 <ul style="list-style-type: none"> <li>ガラス破壊センサ</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>制御装置 <ol style="list-style-type: none"> <li>形式 <ul style="list-style-type: none"> <li>自立型</li> <li>壁掛型</li> <li>卓上型</li> <li>複合型</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>時刻補正機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>FM放送受信（・アンテナ設置 ・既設利用）</li> <li>長波標準電波受信（・アンテナ設置 ・既設利用）</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> </ol> </li> </ol> <p>(3) 入退室管理装置</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>機器 <ul style="list-style-type: none"> <li>制御装置</li> <li>認識部</li> <li>電気設備（・本工事（・建築工事 ・電気設備工事） ・別途工事 ・既設利用）</li> <li>セキュリティゲート</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>制御装置 <ol style="list-style-type: none"> <li>形式 <ul style="list-style-type: none"> <li>自立型</li> <li>壁掛型</li> <li>卓上型</li> <li>複合型</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>時刻補正機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>FM放送受信（・アンテナ設置 ・既設利用）</li> <li>長波標準電波受信（・アンテナ設置 ・既設利用）</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>基本機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>施錠制御</li> <li>許可・不許可設定</li> <li>設定データバックアップ機能</li> <li>こじ開け警報</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>特記機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>遠隔施錠制御</li> <li>スケジュール設定制御</li> <li>記録機能</li> <li>照明空調制御</li> <li>防災防犯インテグレーション機能</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> </ol> </li> <li>認識部 <ul style="list-style-type: none"> <li>バイオメトリクス（ ）</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>セキュリティゲート <ul style="list-style-type: none"> <li>仕様詳細は別図による。</li> </ul> </li> </ol>
25. 自動火災報知設備	<p>(1) 機器</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>受信機</li> <li>副受信機（表示装置）</li> <li>中継器</li> <li>発信機</li> <li>感知器</li> <li>その他（ ）</li> </ul> <p>(2) 受信機</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>型式 <ul style="list-style-type: none"> <li>P型1級</li> <li>P型2級</li> <li>R型</li> </ul> </li> <li>回路数 <ul style="list-style-type: none"> <li>（ ）回路</li> </ul> </li> <li>試験機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>自動試験機能</li> <li>遠隔試験機能</li> </ul> </li> <li>設置場所 <ul style="list-style-type: none"> <li>屋内（・一般 ・防水 ・防塵 ・防食 ・その他（ ））</li> <li>屋外（・防水 ・その他（ ））</li> </ul> </li> </ol> <p>(3) 副受信機（表示装置）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>形状 <ul style="list-style-type: none"> <li>自立型</li> <li>壁掛型</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>回路数 <ul style="list-style-type: none"> <li>（ ）回路</li> </ul> </li> <li>表示装置の仕様詳細は別図による。</li> </ol> <p>(4) 中継器</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>試験機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>自動試験機能</li> <li>遠隔試験機能</li> </ul> </li> </ul> <p>(5) 発信機</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>型式 <ul style="list-style-type: none"> <li>アドレス付</li> <li>P型1級</li> <li>P型2級</li> </ul> </li> <li>消火栓ポンプ起動 <ul style="list-style-type: none"> <li>特記なき場合は、発信機運動方式とし、発信機表面に「消火栓起動」等の文字を併記する。</li> </ul> </li> <li>設置 <ul style="list-style-type: none"> <li>単独設置</li> <li>機器収容箱に組込</li> <li>消火栓ボックス（別途）に組込</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> </ol> <p>(6) 感知器</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>型式 <ul style="list-style-type: none"> <li>アドレス付</li> <li>一般型</li> </ul> </li> <li>種類 <ul style="list-style-type: none"> <li>熱感知器</li> <li>煙感知器</li> <li>炎感知器</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>試験機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>自動試験機能</li> <li>遠隔試験機能</li> </ul> </li> <li>設置場所 <ul style="list-style-type: none"> <li>屋内（・一般 ・防水 ・防塵 ・防食 ・その他（ ））</li> <li>屋外（・防水 ・その他（ ））</li> </ul> </li> </ol>
26. 自動閉鎖設備	<p>(1) 機器</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>運動制御器</li> <li>感知器</li> <li>自動閉鎖装置</li> <li>自動閉鎖装置</li> <li>その他（ ）</li> </ul> <p>(2) 運動制御器</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>制御対象 <ul style="list-style-type: none"> <li>防火戸</li> <li>防火シャッター</li> <li>防排煙ダンパー</li> <li>非常口等の扉</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>回路数 <ul style="list-style-type: none"> <li>（ ）回路</li> </ul> </li> <li>設置 <ul style="list-style-type: none"> <li>単独（・壁掛型 ・自立形）</li> <li>火災受信機等との複合型</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> </ol> <p>(3) 感知器</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>型式 <ul style="list-style-type: none"> <li>アドレス付</li> <li>一般型</li> </ul> </li> <li>種類 <ul style="list-style-type: none"> <li>煙感知器（・2種 ・3種）</li> </ul> </li> <li>試験機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>自動試験機能</li> <li>遠隔試験機能</li> </ul> </li> <li>設置場所 <ul style="list-style-type: none"> <li>屋内（・一般 ・防水 ・防塵 ・防食 ・その他（ ））</li> <li>屋外（・防水 ・その他（ ））</li> </ul> </li> </ol> <p>(4) 自動閉鎖装置</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>方式 <ul style="list-style-type: none"> <li>電気式</li> <li>ラッチ式</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>施工 <ul style="list-style-type: none"> <li>本工事（・建築工事 ・電気設備工事）</li> <li>別途工事</li> <li>既設利用</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> </ol> <p>(5) 自動閉鎖装置</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>方式 <ul style="list-style-type: none"> <li>電気式</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>施工 <ul style="list-style-type: none"> <li>本工事（・建築工事 ・電気設備工事）</li> <li>別途工事</li> <li>既設利用</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> </ol>
27. 非常警報設備	<p>(1) 設備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>非常放送装置</li> <li>非常ベル</li> </ul> <p>(2) 非常放送装置</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>消防法基準適合マーク品とする。</li> <li>機器 <ul style="list-style-type: none"> <li>増幅器</li> <li>スピーカー</li> <li>非常用リモコンマイク</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>増幅器 <ol style="list-style-type: none"> <li>出力（ ）W</li> <li>出力インピーダンス <ul style="list-style-type: none"> <li>Lo形</li> <li>Hi形</li> </ul> </li> <li>形式 <ul style="list-style-type: none"> <li>ラックラック型</li> <li>スタンダードラック型</li> <li>壁掛型</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>マイク放送</li> <li>自動火災報知設備連動放送</li> <li>緊急地震速報設備連動放送</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>用途 <ul style="list-style-type: none"> <li>拡声設備兼用</li> <li>非常放送専用</li> </ul> </li> </ol> </li> </ol> <p>(3) スピーカ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>接続 <ul style="list-style-type: none"> <li>1W</li> <li>3W</li> <li>（ ）W</li> </ul> </li> <li>出力インピーダンス <ul style="list-style-type: none"> <li>Lo形</li> <li>Hi形</li> </ul> </li> <li>設置場所 <ul style="list-style-type: none"> <li>屋内</li> <li>屋外</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>用途 <ul style="list-style-type: none"> <li>拡声設備兼用</li> <li>非常放送専用</li> </ul> </li> </ol> <p>(4) 非常用リモコンマイク</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>型式 <ul style="list-style-type: none"> <li>壁掛型</li> <li>ラック収納形</li> <li>卓上型</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>機器 <ul style="list-style-type: none"> <li>起動装置</li> <li>非常ベル</li> <li>表示灯</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>設置 <ul style="list-style-type: none"> <li>単独設置</li> <li>機器収容箱に組込</li> <li>消火栓ボックス（別途）に組込</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> </ol>
28. ガス漏れ火災警報設備	<p>(1) 機器</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>受信機</li> <li>副受信機</li> <li>中継器</li> <li>検知器</li> <li>警報器</li> <li>その他（ ）</li> </ul> <p>(2) 受信機</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>回路数 <ul style="list-style-type: none"> <li>（ ）回路</li> </ul> </li> <li>種類 <ul style="list-style-type: none"> <li>都市ガス用</li> <li>液化石油ガス用</li> </ul> </li> <li>設置 <ul style="list-style-type: none"> <li>単独（・壁掛型 ・自立形）</li> <li>火災受信機などとの複合型</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> </ol> <p>(3) 副受信機</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>設置 <ul style="list-style-type: none"> <li>単独（・壁掛型 ・自立形）</li> <li>火災受信機などとの複合型</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> </ul> <p>(4) 検知器</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>動作 <ul style="list-style-type: none"> <li>単独（単独動作）</li> <li>連動（受信機に伝送）</li> </ul> </li> <li>定格電圧 <ul style="list-style-type: none"> <li>AC100V</li> <li>DC24V（受信機等から供給）</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>ガス検知出力信号 <ul style="list-style-type: none"> <li>有電圧出力方式</li> <li>無電圧接点方式</li> </ul> </li> </ol>

【中央監視制御設備】	<p>29. 中央監視制御設備</p> <p>(1) 監視制御対象設備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>動力設備</li> <li>受変電設備</li> <li>発電設備</li> <li>火災報知設備</li> <li>その他（ ）</li> </ul> <p>(2) 既設との取り合い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>無し</li> <li>盤改造</li> <li>配線接続</li> <li>その他（ ）</li> </ul> <p>(3) 機器</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>監視操作装置</li> <li>信号処理装置</li> <li>記録装置</li> <li>伝送装置</li> <li>端末装置</li> <li>その他（ ）</li> </ul> <p>(4) 機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>仕様詳細は別図による。</li> </ul> <p>(5) 監視操作装置</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>形式 <ul style="list-style-type: none"> <li>壁掛型</li> <li>自立型</li> <li>卓型</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>表示装置 <ul style="list-style-type: none"> <li>液晶ディスプレイ</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>操作装置 <ul style="list-style-type: none"> <li>タッチパネル</li> <li>キーボード</li> <li>マウス</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> </ol> <p>(6) 信号処理装置</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>形式 <ul style="list-style-type: none"> <li>壁掛型</li> <li>自立型</li> <li>卓型</li> <li>ラック型</li> <li>卓上型</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>設置 <ul style="list-style-type: none"> <li>単独</li> <li>監視操作装置に組込</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> </ol> <p>(7) 記録装置</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>形式 <ul style="list-style-type: none"> <li>壁掛型</li> <li>自立型</li> <li>卓型</li> <li>ラック型</li> <li>卓上型</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>設置 <ul style="list-style-type: none"> <li>単独</li> <li>監視操作装置に組込</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>装置 <ul style="list-style-type: none"> <li>プリンタ</li> <li>記録メディア</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> </ol>
【医療関係設備】	<p>30. 非接地電源用分電盤</p> <p>(1) 機器</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絶縁変圧器</li> <li>絶縁監視装置</li> <li>電流監視装置</li> <li>医用接地センタポディー</li> <li>その他（ ）</li> </ul> <p>(2) 仕様詳細</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>仕様詳細は別図による。</li> </ul> <p>31. ナースコール設備</p> <p>(1) 形式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本形ナースコール装置</li> <li>携帯形ナースコール装置</li> <li>情報表示形ナースコール装置</li> <li>病床ユニット</li> </ul> <p>(2) 仕様詳細</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>仕様詳細は別図による。</li> </ul> <p>【構内配電線路】</p> <p>32. 構内配電線路</p> <p>(1) 配線方式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地中線式（・直埋 ・管路）</li> <li>架空線式（・直接 ・ちよう架線添架）</li> <li>建築物等添架式（・露出配管 ・隠蔽配管）</li> <li>その他（ ）</li> </ul> <p>(2) 建柱</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>施工 <ul style="list-style-type: none"> <li>本工事</li> <li>既設利用</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>電柱 <ul style="list-style-type: none"> <li>コンクリート柱</li> <li>鋼管柱</li> <li>ハンガーマスト</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>支持材 <ul style="list-style-type: none"> <li>根かせ</li> <li>根はじき</li> <li>根巻き</li> <li>底板</li> <li>支線（保護ガード）</li> <li>有</li> <li>無</li> </ul> </li> <li>装柱材料 <ul style="list-style-type: none"> <li>有（電力仕様）</li> <li>無</li> </ul> </li> <li>鈹板 <ul style="list-style-type: none"> <li>有</li> <li>無</li> </ul> </li> </ol> <p>(3) 装柱機器（高圧用）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>機器 <ul style="list-style-type: none"> <li>開閉器</li> <li>避雷器</li> <li>カットアウト</li> <li>端子</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>耐環境性 <ul style="list-style-type: none"> <li>一般用</li> <li>耐塩用</li> </ul> </li> <li>開閉器 <ul style="list-style-type: none"> <li>仕様は 5. 受変電設備 (6)負荷開閉器 による。</li> </ul> </li> </ol> <p>(4) 装柱機器（低圧用）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>機器 <ul style="list-style-type: none"> <li>開閉器</li> <li>開閉器箱</li> <li>避雷器</li> <li>カットアウト</li> <li>端子</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>耐環境性 <ul style="list-style-type: none"> <li>一般用</li> <li>耐塩用</li> </ul> </li> </ol> <p>(5) ハンドホール、マンホール</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>形式 <ul style="list-style-type: none"> <li>ブロック式</li> <li>現場打ち</li> </ul> </li> <li>施工 <ul style="list-style-type: none"> <li>本工事（・建築工事 ・電気設備工事）</li> <li>別途工事</li> <li>既設利用</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>ケール支持金物の取付 <ul style="list-style-type: none"> <li>2箇所</li> <li>4箇所</li> <li>（ ）箇所</li> </ul> </li> </ol> <p>(6) 鈹蓋</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>鈹蓋の刻印は「強電」、「電力」又は「高圧」とする。</li> <li>雨水の流れ込みを防ぐための防水パッキン付とする。</li> </ol> <p>(7) 地中ケーブル保護材料</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>種類 <ul style="list-style-type: none"> <li>FEP</li> <li>GLT（PEライニング管）</li> <li>VE</li> <li>HIVE</li> <li>SGP</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>標示杭埋設 <ul style="list-style-type: none"> <li>コンクリート製</li> <li>鉄製（アスファルト部分）</li> </ul> </li> <li>埋設保護シート <ul style="list-style-type: none"> <li>2倍長</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>埋設保護シートの表記は電力用であることがわかるものとする。</li> </ol>
【構内通信線路】	<p>33. 構内通信線路</p> <p>(1) 用途</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電話用</li> <li>拡声用</li> <li>時刻表示用</li> <li>火災報知用</li> <li>非常警報用</li> <li>インターホン用</li> <li>テレビ共同受信用</li> <li>防犯用</li> <li>制御用</li> <li>その他（ ）</li> </ul> <p>(2) 配線方式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地中線式（・直埋 ・管路）</li> <li>架空線式（・直接 ・ちよう架線添架）</li> <li>建築物等添架式（・露出配管 ・隠蔽配管）</li> <li>その他（ ）</li> </ul> <p>(3) 建柱</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>施工 <ul style="list-style-type: none"> <li>本工事</li> <li>既設利用</li> <li>構内配電線路に添架</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>電柱 <ul style="list-style-type: none"> <li>コンクリート柱</li> <li>鋼管柱</li> <li>ハンガーマスト</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>支持材 <ul style="list-style-type: none"> <li>根かせ</li> <li>根はじき</li> <li>根巻き</li> <li>底板</li> <li>支線（保護ガード）</li> <li>有</li> <li>無</li> </ul> </li> <li>装柱材料 <ul style="list-style-type: none"> <li>有</li> <li>無</li> </ul> </li> </ol> <p>(4) ハンドホール、マンホール</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>形式 <ul style="list-style-type: none"> <li>ブロック式</li> <li>現場打ち</li> </ul> </li> <li>施工 <ul style="list-style-type: none"> <li>本工事（・建築工事 ・電気設備工事）</li> <li>別途工事</li> <li>既設利用</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>ケール支持金物の取付 <ul style="list-style-type: none"> <li>2箇所</li> <li>4箇所</li> <li>（ ）箇所</li> </ul> </li> </ol> <p>(5) 鈹蓋</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>鈹蓋の刻印は「弱電」又は「通信」とする。</li> <li>雨水の流れ込みを防ぐための防水パッキン付とする。</li> </ol> <p>(6) 地中ケーブル保護材料</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>種類 <ul style="list-style-type: none"> <li>FEP</li> <li>GLT（PEライニング管）</li> <li>VE</li> <li>HIVE</li> <li>SGP</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>標示杭埋設 <ul style="list-style-type: none"> <li>コンクリート製</li> <li>鉄製（アスファルト部分）</li> </ul> </li> <li>埋設保護シート <ul style="list-style-type: none"> <li>2倍長</li> <li>その他（ ）</li> </ul> </li> <li>埋設保護シートの表記は弱電用であることがわかるものとする。</li> </ol>
【その他】	<p>34. 消火器</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>設置 <ul style="list-style-type: none"> <li>本工事（・建築工事 ・電気設備工事 ・機械設備工事）</li> <li>別途工事</li> </ul> </li> <li>消火器 <ul style="list-style-type: none"> <li>種別（ ）</li> <li>数量（ ）本</li> </ul> </li> <li>消火器収納箱 <ul style="list-style-type: none"> <li>材質（ ）</li> <li>数量（ ）面</li> </ul> </li> </ol>

III. 機器標準取付高さ	標準的な高さであり、詳細については監督員と協議する。（○印はバリエーション対応）			
電力	名称	側点	取付高さ (mm)	備考
	接地端子盤	床下～下端		
	取引用計器	地上～窓中心	1,800～2,000	
	引込開閉器	床下～中心	1,800～2,000	
電灯	分電盤	床下～中心	1,500	上端1,900mm
	スイッチ	床下～中心	1,300	○1,000mm
	コンセント（一般）	床下～中心	300	○400mm
	コンセント（和室）	床下～中心	200	
	コンセント（台上）	床下～中心	150	
	コンセント（WP）	床下～中心	1,000	
	コンセント（地下）	床下～中心	1,000	
動力	コンセント（土間）	床下～中心	500	
	ブラケット（一般）	床下～中心	2,100～2,300	
	ブラケット（鏡上）	鏡上端～中心	150	
	ブラケット（処理場）	床下～中心	2,500	
	壁掛型制御盤	床下～中心	1,500	上端1,900mm
電話	端子盤	床下～下端	300	
	保安装置	床下～中心	2,000	
	壁位置ボックス	床下～中心	300	
時計・拡声	壁位置ボックス（和室）	床下～中心	200	
	壁掛型観時計	床下～中心	1,500	上端1,900mm
	時計針	床下～中心	2,300	
表示	壁掛型スピーカ	床下～中心	2,300	2,500mm
	アツチネータ	床下～中心	1,300	
	表示器	床下～中心	2,300	
インターホン	壁付発信器	床下～中心	1,300	
	ベル、ブザー、チャイム	床下～中心	2,300	
	壁付インターホン	床下～中心	1,300	
	壁位置ボックス	床下～中心	300	
	壁位置ボックス（和室）	床下～中心	200	
テレビ	子機（身障者用）	床下～中心	1,100	
	呼出しボタン（身障者用）	床下～中心	800～950	便座先端から後方へ100～200mm 2個目（高700mm、便座先端から前方400mm）
	表示灯（身障者用）	床下～中心	1,800	
火災報知	受信機・副受信機	床下～中心	1,500	
	発信器	床下～中心	1,300	
	表示灯	床下～中心	1,800	



1階 平面図 S=1/250

凡例

◎	照明器具
⊙	防雨コンセント 2P15A x 1
○	ブラケットライト 1L60W x 1
▽	投光器
▽	人感センサ
▽	ホーンスピーカ
□	ブラボックス入りタイマー
• A	自動点滅器

※改 照明器具取替えを示す

取り外し再取付

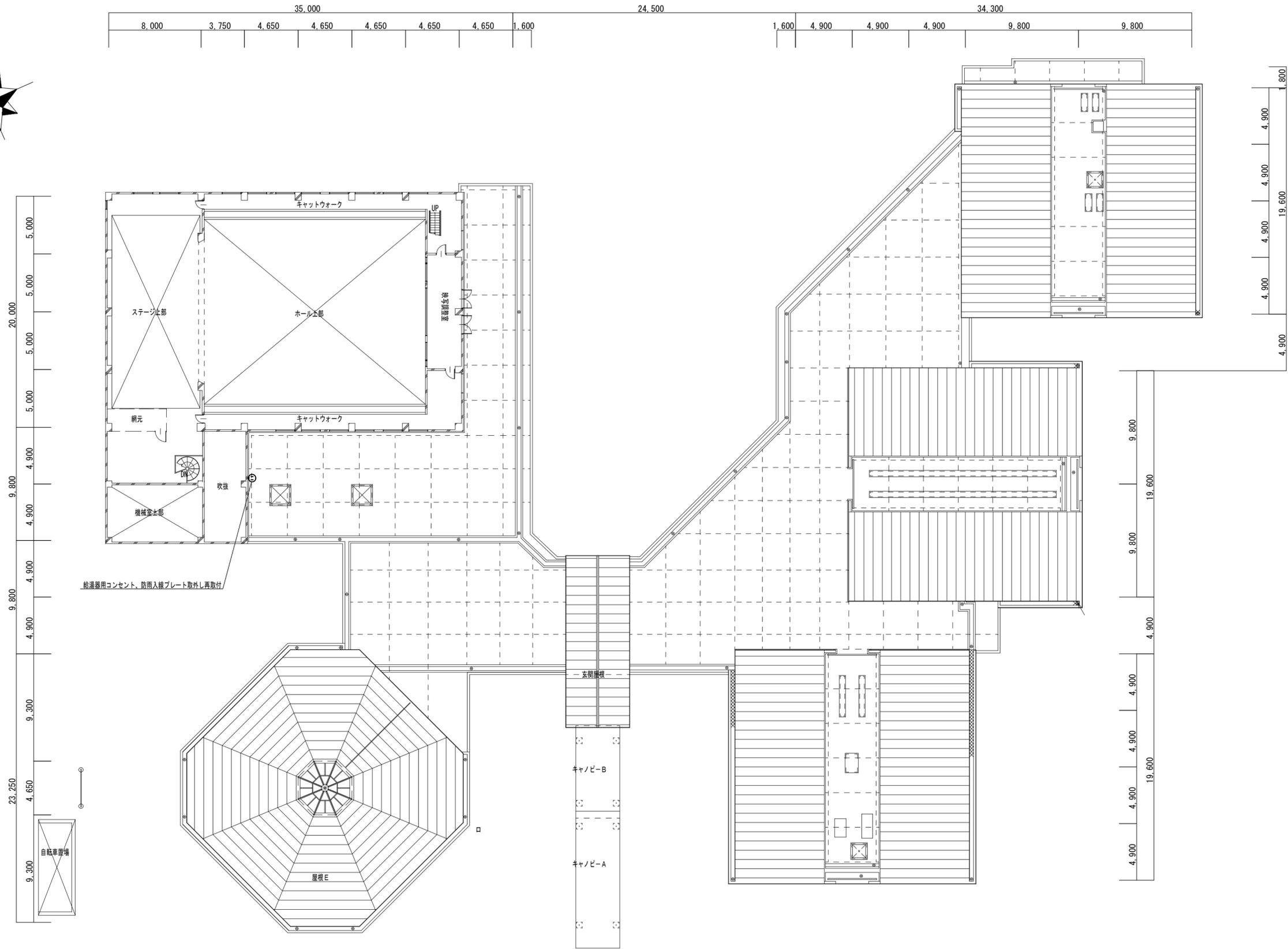
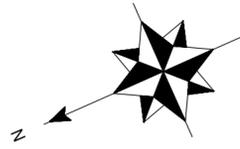
☆1	防雨コンセント
☆2	ブラケットライト
☆3	投光器、防雨入線プレート
☆4	人感センサ
☆5	ホーンスピーカ、防雨入線プレート
☆6	ブラボックス入りタイマー
☆7	自動点滅器
☆8	給湯器用コンセント、防雨入線プレート
☆9	マイクジャック、防雨コンセント

◎ LED軒下用ダウンライト 100形電球1灯器具相当 防雨型

公共型番 LRS1RP-1300LM

照明器具姿図

特記事項	工事名称 津市サンデルタ香良洲外装改修工事	図面名称 1階 電気設備図	作成年月日 縮尺 1/250	一級建築士事務所 大森建築設計事務所 三重県津市久居藤ヶ丘町2604-5 管理建築士 大森幸路	図面番号 E-04
------	--------------------------	------------------	----------------------	---	--------------



2階 平面図 S=1/250

特記事項	工事名称 津市サンデルタ香良洲外装改修工事	図面名称 2階 電気設備図	作成年月日	一級建築士事務所 大森建築設計事務所	図面番号
			縮尺 1/250	三重県津市久居藤ヶ丘町2604-5 事務所登録 三重県知事 第1-259号 管理建築士 大森幸路 一級建築士 大臣登録 143376号	E-05



※ 横走り管の吊り間隔

鋼管	100A以下 125A以上	- -	2m 以下 3m以下
ビニル管 耐火二層管 鋼管	80A以下 100A以上	- -	1m 以下 2m以下
鉛管			1.5m以下
鋼鉄管	標準図による		

※ 横走り管形鋼振れ止め支持間隔

支持間隔	6m以下	8m以下	12m以下
鋼管	-	50A~100A	125A~
鋼管			
鋼管			
鋼管	25A~40A	50A~100A	125A~

※ 冷媒用銅管の横走り管の支持間隔

基準外径 9.52mm 以下 吊り間隔 1.5m以下  
基準外径 12.70mm 以上 吊り間隔 2.0m以下  
形鋼振れ止め支持間隔は、鋼管に準ずる。

※ 液管・ガス管共吊りの場合は  
液管の外径を基準とする。

(2) ダクト工事

- 矩形ダクト  亜鉛鉄板 JIS G 3302 (SGCC、SGCCA) 鍍金付着Z18以上  
 ステンレス鋼板 JIS S4305
- 工法  アングルフランジ工法  
 共板フランジ工法  
 スライドオンフランジ工法
- 形鋼補強  山形鋼 JIS G 3101  SUS鋼材 JIS G 4317
- 丸ダクト  スパイラルダクト  
 下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管 (多湿箇所) AS-62 (RS-VU)

(3) 保温塗装工事

1) 材料 部分的に材料を変更する場合は、図面に明記すること。

<input type="checkbox"/> グラスウール保温材 (屋内一般等)	保温筒 JIS A 9504 2号 40K 保温板、保温帯 JIS A 9504 2号 40K		
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管	<input type="checkbox"/> 給湯管	<input type="checkbox"/> 温水管
<input type="checkbox"/> 蒸気管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管	<input type="checkbox"/> 冷媒管	<input type="checkbox"/> 温水管
(屋外等)			
<input type="checkbox"/> 給湯管	<input type="checkbox"/> 温水管	<input type="checkbox"/> 蒸気管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管
<input type="checkbox"/> 冷媒管	<input type="checkbox"/> 排水管	<input type="checkbox"/> 給湯管	<input type="checkbox"/> 温水管

<input type="checkbox"/> ロックウール保温材 (防火区画貫通部等)	保温板、保温帯、フランケット 1号JIS A 9504		
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管	<input type="checkbox"/> 給湯管	<input type="checkbox"/> 温水管
<input type="checkbox"/> 蒸気管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管	<input type="checkbox"/> 冷媒管	<input type="checkbox"/> 消火管

<input type="checkbox"/> ポリスチレンフォーム保温材 (屋内一般等)	保温筒 JIS A 9511 3号 保温板 JIS A 9511 3号		
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管	<input type="checkbox"/> 冷水管 (2~4℃)
<input type="checkbox"/> プライン管	<input type="checkbox"/> 給湯管	<input type="checkbox"/> 温水管	<input type="checkbox"/> 消火管
(屋外等)			
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管	<input type="checkbox"/> 給湯管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管
<input type="checkbox"/> プライン管	<input type="checkbox"/> 消火管	<input type="checkbox"/> 給湯管	<input type="checkbox"/> 温水管

<input type="checkbox"/> 鋼合ベント塗り塗料 (露出)	JIS K 5516 (合成樹脂鋼合ベント) 1種		
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管	<input type="checkbox"/> 通気管	<input type="checkbox"/> ドレン管
<input type="checkbox"/> ガス管	<input type="checkbox"/> 消火管	<input type="checkbox"/> 油管	<input type="checkbox"/> 冷却水管

2) 保温厚

グラスウール、ロックウール					
保温厚 (mm)	20	25	30	40	50
給水・排水・ドレン・給湯	~80A	100~150A	-	200A~	-
膨張・温水・消火管	-	-	32~50A	65A~	-
蒸気管	~25A	-	~25A	32~200A	250A~
冷水・冷温水・冷媒管	-	-	~25A	32~200A	250A~

ポリスチレンフォーム						
保温厚 (mm)	20	25	30	40	50	65
給水・消火・排水管	~80A	100A~	-	-	-	-
冷水・冷温水管	-	-	~25A	32~200A	250A~	-
冷水管 (冷水温度2~4℃)	-	-	~20A	25A~100A	125A~	-
プライン管	-	-	~25A	32~80A	100A~	-

機器ダクト保温厚	
保温厚 (mm)	
25mm	ダクト(屋内露出 [機械室、書庫、倉庫]、隠蔽部)、消音チャンバー・エルボ 膨張タンク、銅板製タンク、排煙ダクト隠蔽部(ロックウール)
50mm	ダクト(屋内露出 [一般居室、廊下] )、サブライチャンバー、貯湯タンク類 冷水・冷温水・温水・環水タンク、熱交換器、冷水・冷温水・温水・蒸気ヘッダー 排気筒隠蔽部 (ロックウール)
75mm	煙導 (ロックウール)

3) 種別

給排水衛生設備配管の保温仕様				
	1	2	3	4
屋内露出	保温筒	鉄線	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	原紙	7mm <sup>2</sup> 5mm <sup>2</sup> 仕上
天井内・P S内	アルミガラスクロス粘着テープ			
暗渠内 (ピット内)	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色7mm <sup>2</sup> 5mm <sup>2</sup>
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上

- ※ 1) 排水管については、上表暗渠内 (ピット内) の仕様を防水テープ巻きに読み替える。  
※ 2) サヤ管工法; 架橋ポリエチレン・ポリブデン管使用の場合は、上表保温不要。  
※ 3) 消火管の外部露出のは保温を行う。

空調設備配管の保温仕様 (R、G保温材の仕様のみ)

	1	2	3	4	5
屋内露出	保温筒	鉄線	合成樹脂製カバー		
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	原紙	アルミガラスクロス仕上	
天井内・P S内 (温水・蒸気管以外)	保温筒	鉄線	アルミガラスクロス仕上		
暗渠内 (ピット内)	保温筒	鉄線	着色アルミガラスクロス仕上		
屋外露出	保温筒	鉄線	SUS鋼板仕上		

- ※ 1) 冷媒管に断熱材被覆鋼管を使用した場合の保温種別  
 保温化粧ケース仕上  ポリスチレン成形の上、SUS鋼板仕上 (屋外露出部分)

機器保温仕様

	1	2	3	4	5
冷水・冷温水タンク	鉄	保温板	ポリエチレンフィルム	鉄線	SUS鋼板仕上
銅板製タンク					カラー鉄板 (屋内)
冷水・冷温水ヘッダ					
温水・膨張・還水	鉄	保温板	鉄線	SUS鋼板仕上	
貯湯タンク					カラー鉄板 (屋内)
温水・蒸気ヘッダ					
熱交換器					

- ※ 1) 密閉式膨張タンク及び、プレート形熱交換器は、保温施工不要

ダクト・チャンバー・煙道 保温仕様

	1	2	3	4	5
長方形ダクト	屋内露出	一般・廊下	鉄	保温板	カラー鉄板
	機械室		鉄	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ
	屋内隠蔽、D S内		鉄	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ
スパイラルダクト	屋内露出	一般・廊下	鉄	保温板	カラー鉄板
	機械室		鉄	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ
	屋内隠蔽、多湿箇所		鉄	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ
サブライチャンバー	屋内露出	一般・廊下	鉄	保温板	カラー鉄板
	機械室		鉄	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ
	屋内隠蔽、多湿箇所		鉄	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ
消音チャンバー、エルボ					
排煙ダクト長方形					
排煙ダクト円形					
煙道					

- ※ 1) 排煙ダクトは、ロックウール保温板、保温帯、1号を使用。  
※ 2) 煙道フランケットは、JIS G 3554 (亀甲金網) による亜鉛鍍金を施した網目16線径0.55による防錆処理を施した平ラソ0号で外面補強したものを使用。  
※ 3) 銅電甲金網は、JIS H 2260 網目10、線径0.5

配管用炭素鋼鋼管の塗装仕様

機材	状態	塗料の種類	塗り回数			備考
			下塗り	中塗り	上塗り	
白管	露出	鋼合ベント	1	1	1	下塗りはさび止めベント
黒管	露出	鋼合ベント	2	1	1	下塗りはさび止めベント

- ※ 1) わじ切りした部分の鉄面は、さび止めベント2回塗りを行う。

4) 施工

ダクト保温施工範囲

- SA  保温あり  保温なし  図面による  その他 ( )
  - EA  保温あり  保温なし  図面による  その他 ( )
  - RA  保温あり  保温なし  図面による  その他 ( )
  - OA  保温あり  保温なし  図面による  その他 ( )
- チャンバー内貼施工  内貼あり ( mm )  内貼なし  図面による  その他 ( )

(4) スリーブ工事

- 管スリーブの径は、原則として、管の外径 (保温されるものは、保温厚さを含む) より40mm程度大 (≒サイズUP) なるものとする。  
箱抜きスリーブは、木枠又は鋼板 (実管ダクト) とする。
- 地中部分のスリーブは、塩化ビニル管 (VU) とし、水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とする。
- その他のスリーブは、特記なき限り、紙ボイドとする。紙ボイド使用の際は、配管前に必ず撤去のこと。

共通事項

- 陸上ポンプ、送排風機 (エアハン含む) の電動機は、すべて全閉防まつ形とする。
- 配管途中、要所にはフランジ接続箇所を設置し、取り外しを容易にすること。
- 系統が分かるように、必要箇所 (機械室、P S内等) に文字書き・矢印記入・バルブ札取付を行うこと。手書きもしくはカッティングシートとする。
- 機器・配管・支持金物には、絶縁処理を行うこと。
- 配管に空気が滞留する恐れのある箇所には、エア抜き弁を設置し、最寄りのドレン管に接続すること。
- 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、構造体鉄筋より取り出す。もしくはあと施工アンカー工法の類とする。使用アンカーについては、機器仕様書、耐震クラス等を確認すること。また、重量機器にあと施工アンカー工法を採用する場合、ケミカルアンカーを使用し施工すること。
- 機器・配管の耐震措置及び機器、ダクトの防振・消音については、標準仕様書、標準図、施工監理指針及び建築設備耐震設計・施工指針に基づき十分考慮すること。
- 雨がかり部に取付けるガラリのチャンバーには、水抜きを設けること。
- 屋外埋設管 (給水、消火、ガス) には、埋設シートを敷設し、曲がり・分岐部には、地中埋設機を施工すること。
- 冷水及び冷温水管の支持材には、合成樹脂製支持受けを使用すること。
- 水栓は、節水機構付きのものを使用すること。
- 冷媒管等防火区画貫通部は、建築基準法・消防法に適合する工法にて防火処理を行うこと。
- 地中埋設配管については、下記の沈下対策を講ずること。
  - 管は継ぎ手の組み合わせにより可とう性をたせる。
  - 接続箇所は必要に応じてコンクリートで保護する。
  - 土間配管は、土間筋に吊り下げるなど埋設配管を保持すること。
  - 呼び径100A以下はM10、125A~250AはM12、250A以上はM16のステンレス棒鋼を使用する。
- 屋外露出及び多湿箇所 (トレンチピット等) の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとすること。
- 屋外設置のマンホール類には用途名を入れること。
- 合成樹脂製カバーの仕上げについては、保温見切り箇所には菊座の取り付けを行うこと。
- 送風機用ベルトカバーには点検口を設けること。
- 建設発生土は場外自由処分とすること。

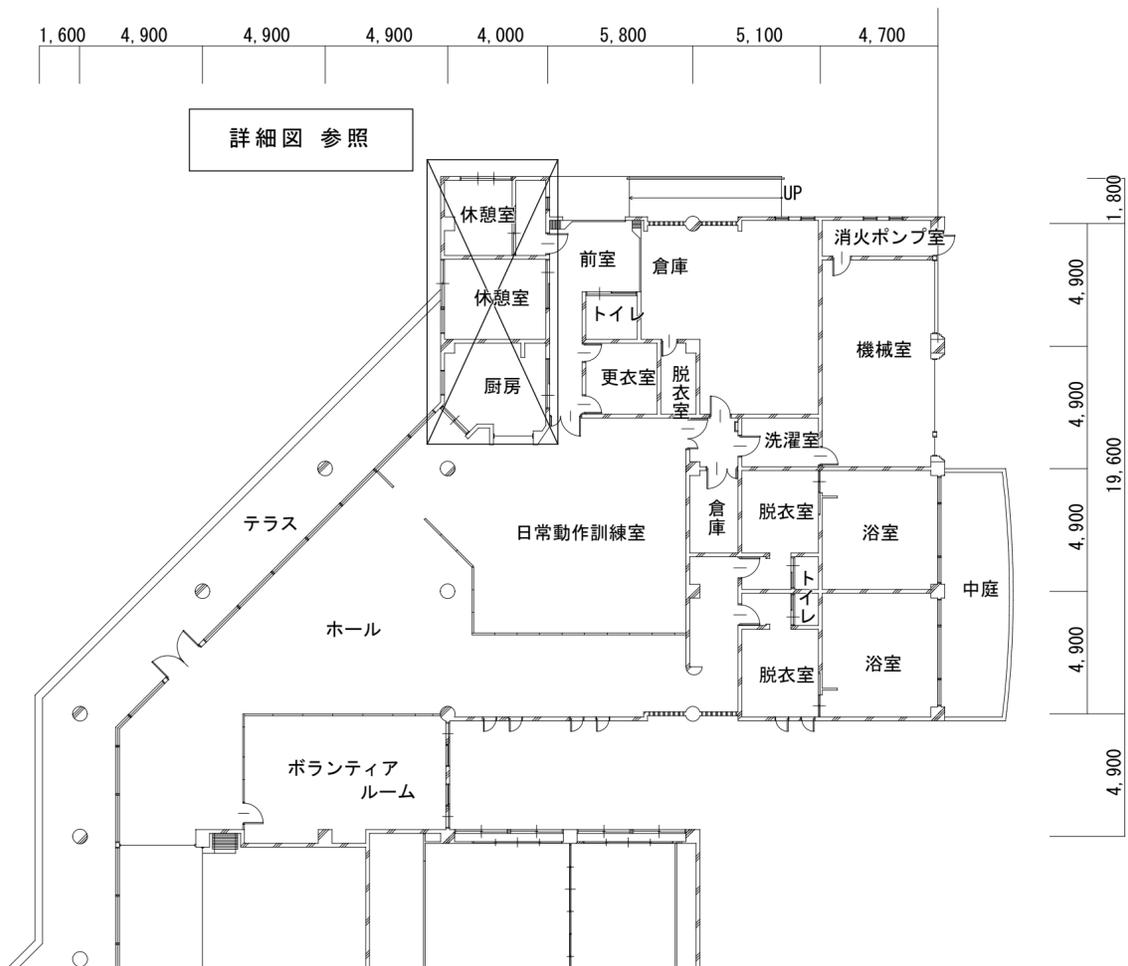
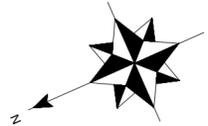
特記事項	
------	--

工事名称	津市サンデルタ香良洲外装改修工事
------	------------------

図面名称	機械設備特記仕様書 2
作成年月日	
縮尺	(原図 : A2)

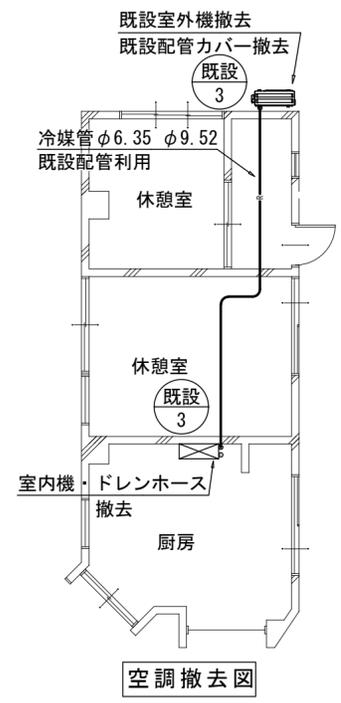
一級建築士事務所	大森建築設計事務所	図面番号	M-2
三重県津市久居藤ヶ丘町2604-5	事務所登録 三重県知事 第1-259号	管理建築士 大森幸路	一級建築士 大臣登録 143376号

図示記号		
記号	名称	備考
— — —	屋外給水管	
—   —	給湯配管	
— G —	ガス配管	
— R —	冷媒配管	

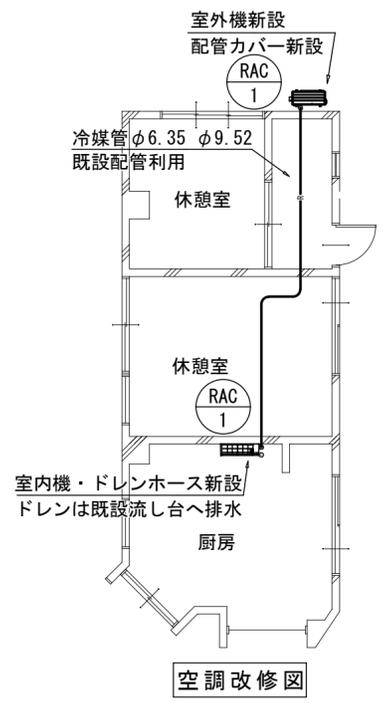
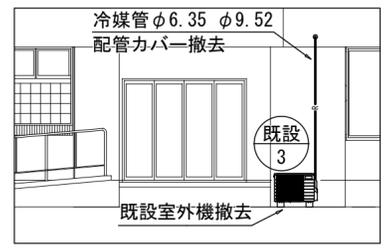


1階 平面図 : 1/200

記号	機器名称	冷房能力		暖房能力		電気容量				台数	参考品番	備考	
		k w	k w	相 (φ)	電圧 (V)	送風機出力 (KW)		圧縮機 (KW)	消費電力 (KW)				
新設 RAC-1	空冷ヒートポンプルームエアコン	3.6	4.2	単	100	室内機 0.028	室外機 0.022	0.95	1.15	1.07	1	S36TTCXS-W	厨房
撤去 既設-3	空冷ヒートポンプルームエアコン	3.2	4.5	単	100	0.026	0.035	0.95	0.925	1.175	1	S328TSX-W	厨房



空調撤去図



空調改修図

\*外壁改修工事後取付とする。  
\*配管カバーについては、新設する。

平面詳細図 : 1/100